magicolor® 2490MF

プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド

4556-9597-02K

1800798-014C

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2490MF は、Windows の環境でお使いいただくのに最適な複合機です。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。http://printer.konicaminolta.jp より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

法律で禁止されている紙幣などのコピーを防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。

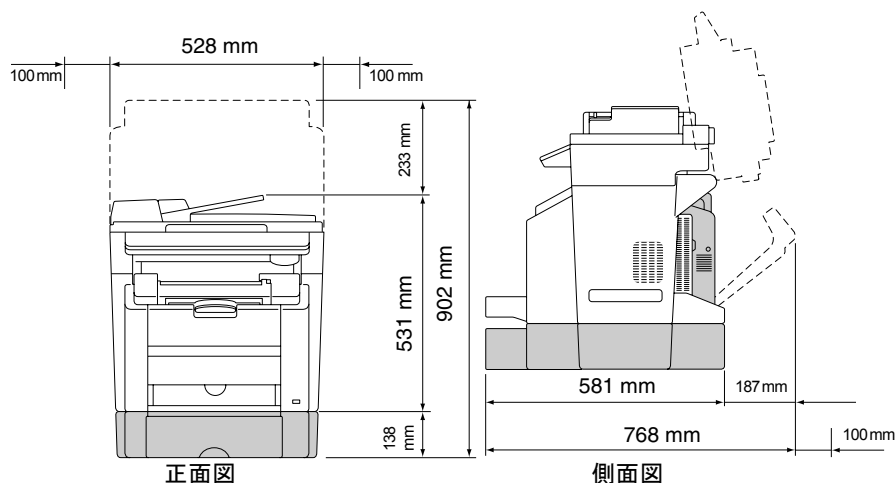
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ることがあります。ご了承ください。

もくじ

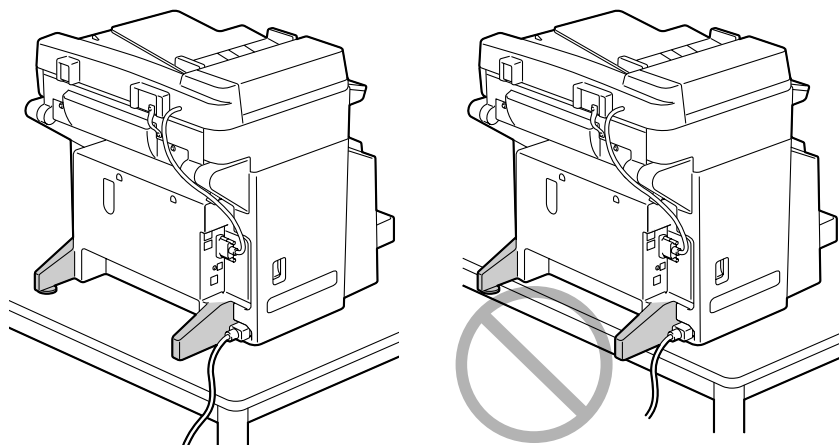
1 はじめに

お使いになる前に

設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

上記イラストの網掛け部はオプションです。

設置時の注意

本機を台の上に設置する場合は、支柱が台の外にはみ出ていないことを確認してください。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1 排紙トレイ

2 操作パネル

3 自動原稿送り装置（ADF）
3-a ADF カバー
3-b ガイド板
3-c 原稿給紙トレイ
3-d 原稿排紙トレイ

ステータスやエラーメッセージなどで、ADF を「ｹﾞﾝｺｳｵｻｴ」と表示する場合があります。

4 トップカバー

5 デジタルカメラ ダイレクトフォト印刷用ポート

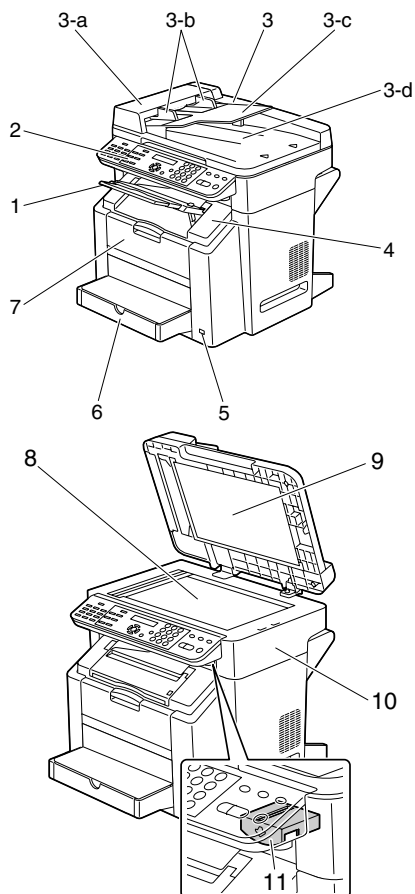
6 トレイ 1

7 正面カバー

8 原稿ガラス

9 原稿カバーパッド

10 スキャナユニット

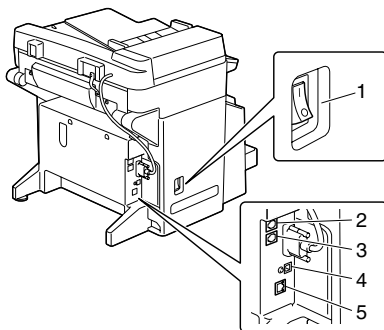
11 スキャナユニット解除レバー

背面

1 電源スイッチ

2 外付け電話機接続用コネクタ（TEL）

3 回線コネクタ（LINE）

4 USB ポート

5 10 Base - T/100 Base - TX（IEEE 802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

内部

1 定着ユニット

2 定着ユニット解除レバー

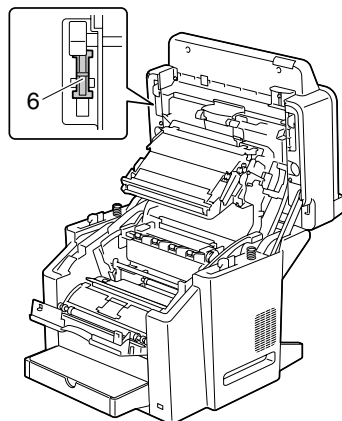
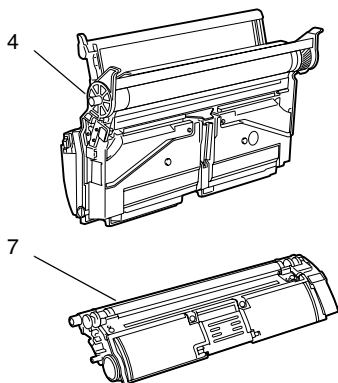
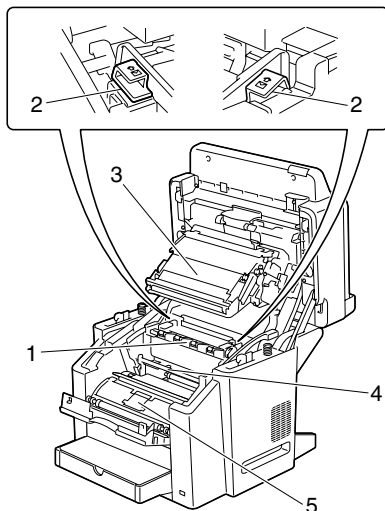
3 転写ベルト

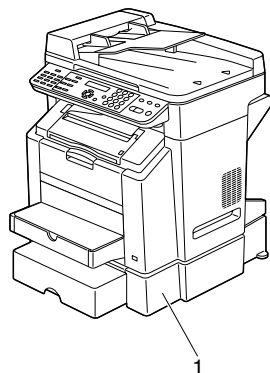
4 ドラムカートリッジ

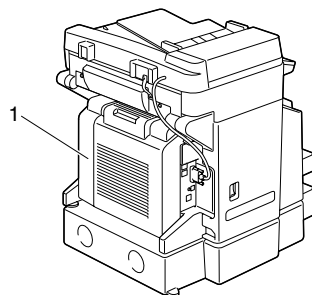
5 トナーカートリッジホルダー

トナーカートリッジ（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）をセットします。

6 スキャナロック

7 トナーカートリッジ

前面（オプション装着時）

1　トレイ 2

背面（オプション装着時）

1　自動両面ユニット

2 ソフトウェアについて

Drivers and Documentation CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/Sever 2003/2000/Me/98SE 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.27）をごらんください。

スキャナドライバ

スキャナドライバ	機能
スキャナドライバ （Windows XP/Sever 2003/2000/Me/98SE 用）	色の設定やサイズの調整など、スキャナの機能を設定できます。 詳しくは、「スキャナドライバの設定」（p.123）をごらんください。

ドライバのインストールについては、「magicolor 2490MF インストレーションガイド」をごらんください。

Applications CD-ROM について

アプリケーション

ユーティリティ	機能
LSU （Local Setup Utility）	コンピュータからファクスのワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルを作成、編集します。また、本機の状態をチェックします。詳しくは、「magicolor 2490MF リファレンスガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PaperPort	パソコン上でドキュメントや画像ファイルの整理、アクセス、共有、および管理ができる文書管理ソフトウェアです。詳しくは、magicolor 2490MF Applications CD-ROM に収録される PaperPort ユーザーズガイド（PaperPort¥2byte¥Docs¥Japanese¥UsrGuide.pdf）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨）
- オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows XP Home/Professional Edition（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Sever 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）, Windows Me, Windows 98SE
- 空きハードディスク容量：
  - 256 MB 以上
- メモリ：
  OS が推奨する以上の RAM
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10 Base - T/100 Base - TX（IEEE 802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート

Ethernet ケーブルと USB ケーブルは、本機には含まれておりません。

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定

本機を使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

プリンタドライバのインストールについては、「magicolor 2490MF インストレーションガイド」をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Professional/Sever 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

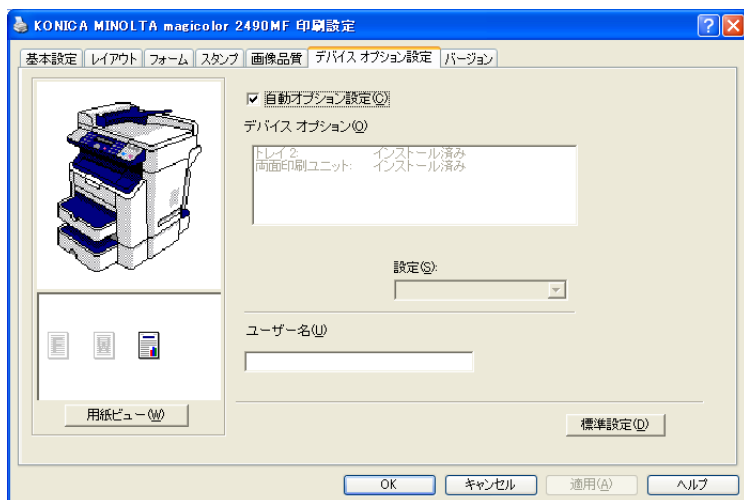
– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

– Windows Me/98SE の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「デバイス オプション設定」タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

「自動オプション設定」チェックボックスをクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。正しく認識されない場合は、手順 5 ～ 7 を行ってください。

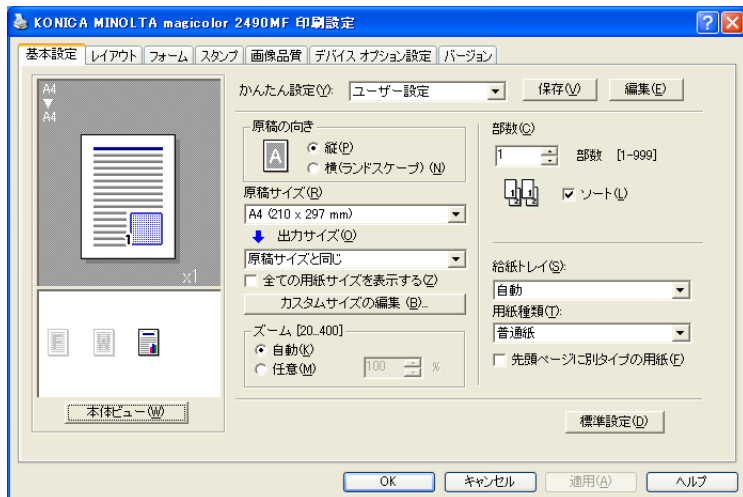
5 「自動オプション設定」チェックボックスのチェックを外します。

6 「デバイス オプション」リストから、装着したオプションを一つずつ選択して、「設定」から「インストール済み」を選択します。

装着されていないオプションは、リストから一つずつ選択して、「設定」から「未インストール」を選択してください。

7 ［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 「基本設定」タブをクリックし使用する用紙のサイズなど、本機の初期設定を変更します。

9 ［適用］をクリックします。

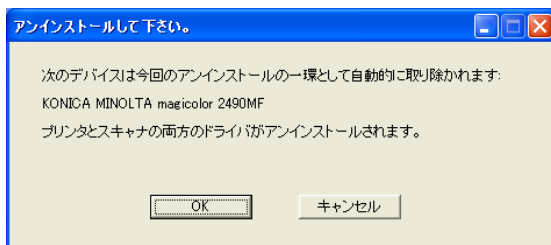
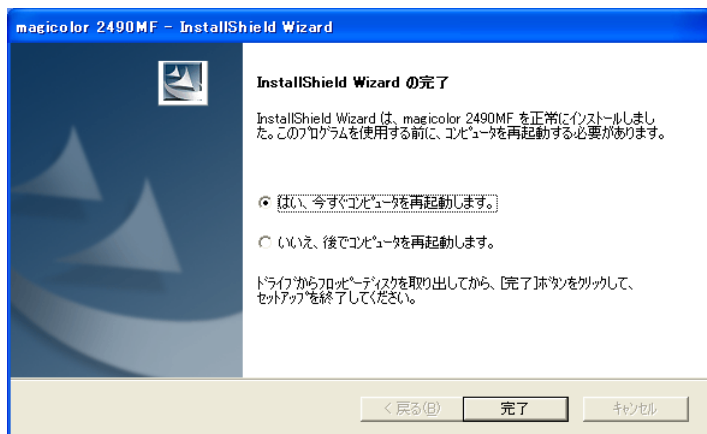
10 ［OK］をクリックし、印刷の設定画面を閉じます。

ドライバのアンインストール

ここでは、プリンタドライバおよびスキャナドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows XP Home/Professional/Sever 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」―「KONICA MINOLTA」―「magicolor 2490MF」―「アンインストール」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」―「KONICA MINOLTA」―「magicolor 2490MF」―「アンインストール」をクリックします。

2 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

3 処理が完了して下図のような画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動し、プリンタドライバおよびスキャナドライバがコンピュータからアンインストールされます。

プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Sever 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

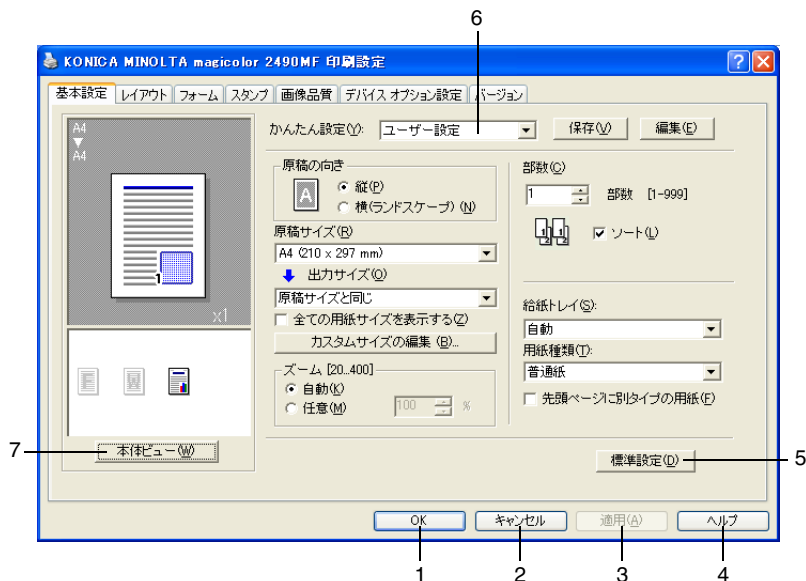
Windows 2000/Me/98SE

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタドライバの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. 標準設定

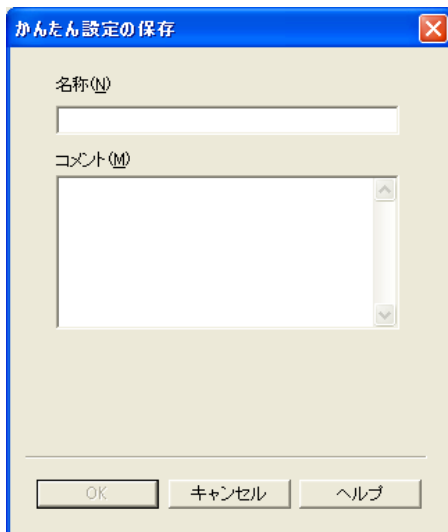
このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

6. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力して、［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

また、［編集］をクリックすると、かんたん設定の編集画面が表示され、保存した設定を変更できます。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「デバイス オプション」タブ、「バージョン」タブには表示されません。

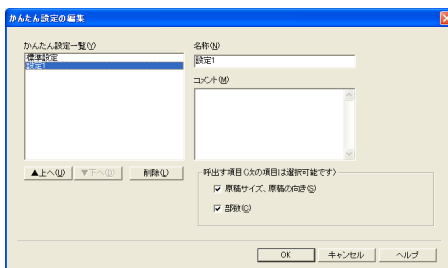
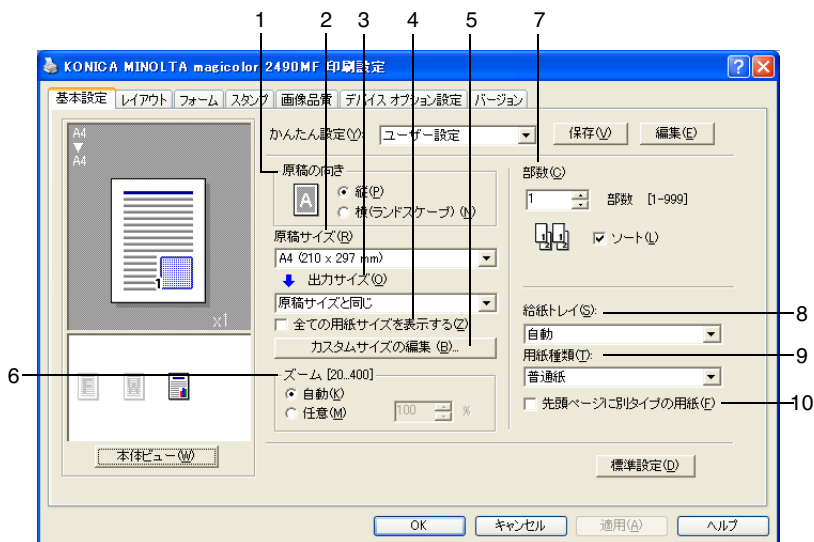
7. ページレイアウト/プリンタ図

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。

プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。

「スタンプ」タブでは、［スタンプビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［スタンプビュー］をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。

「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

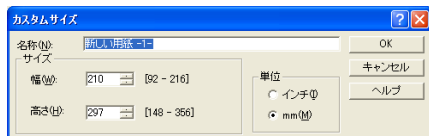
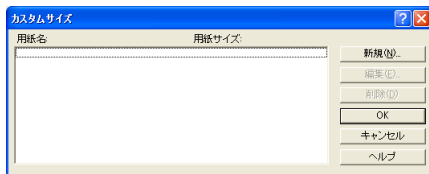
3. 出力サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

4. 全ての用紙サイズを表示する

全ての用紙サイズを「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示します。「全ての用紙サイズを表示する」のチェックボックスにチェックをしていないと、最も一般的な用紙サイズを表示します。

5. カスタムサイズの編集

カスタム定義する用紙サイズの追加、編集、削除を行うことができます。
カスタム定義する用紙サイズを追加する場合は、［新規］をクリックし、「名前」「サイズ」を設定します。
設定した名前が「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示されます。

6. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、20%から 400%の間で設定します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. 給紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
オプションのトレイ 2 を装着している場合は、「給紙カセット」のリストに「トレイ 2」が表示され、選択することができます。

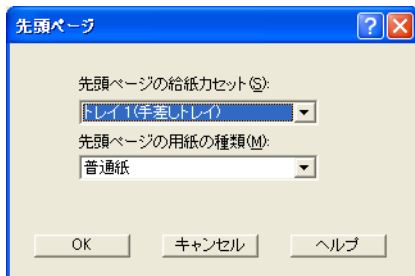
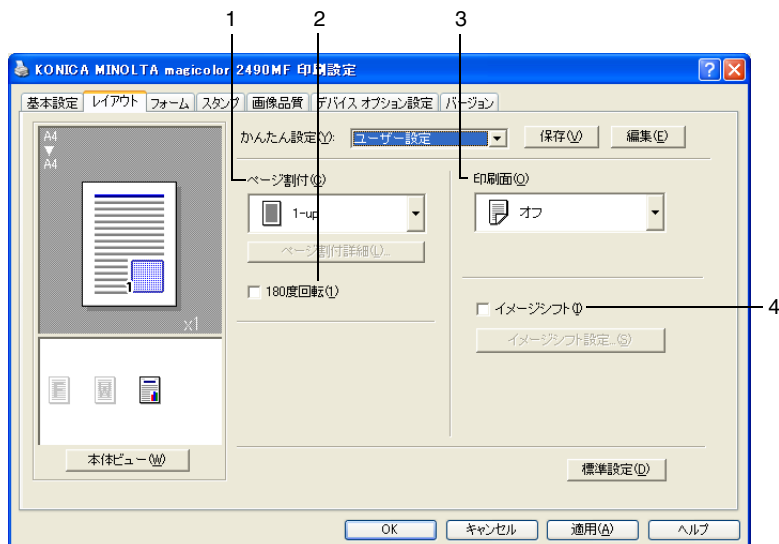
「トレイ 2」の項目は、オプションのトレイ 2 を装着し、プリンタドライバで正しく設定されている場合に有効です。トレイ 2 が正しく設定されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」（p.23）を参照して、設定を行ってください。

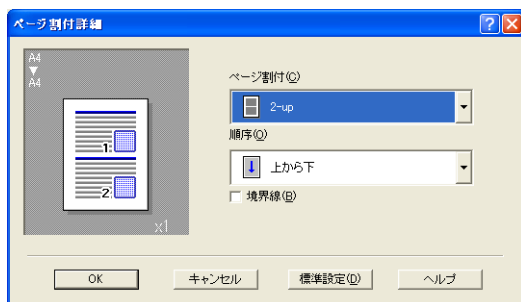
9. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

最適な印刷結果を得るためには、「用紙種類」で選択する項目とトレイにセットする用紙を一致させてください。

10. 先頭ページに別タイプの用紙

先頭ページに使用する用紙トレイ、用紙種類を選択します。
「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスをチェックすると、先頭ページの設定画面が表示されます。「先頭ページの給紙カセット」「先頭ページの用紙の種類」を設定します。

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「1-up」「2×2」「3×3」「4×4」「5×5」以外の設定を選択した場合、[ページ割付詳細] ボタンが有効になります。
[ページ割付詳細] をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

「小冊子」は、オプションの両面プリントユニットを装着している場合に有効です。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

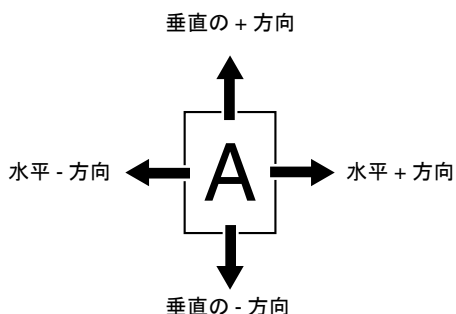
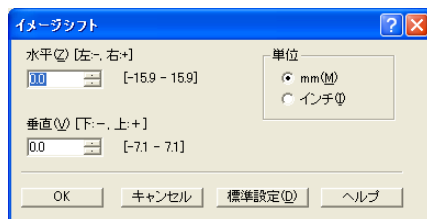
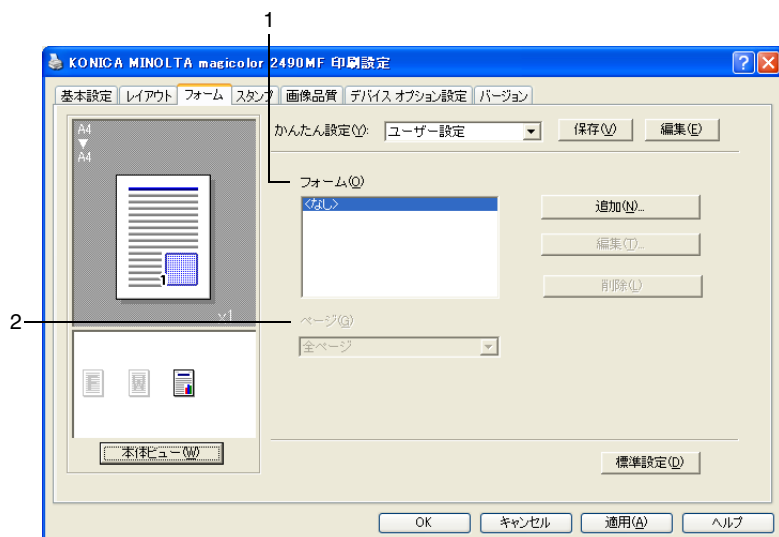
3. 印刷面

「オフ」(片面印刷)、「短辺綴じ」、「長辺綴じ」(両面印刷) かを選択します。

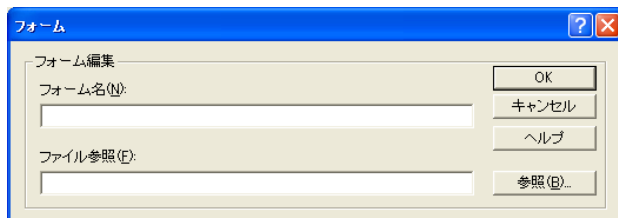
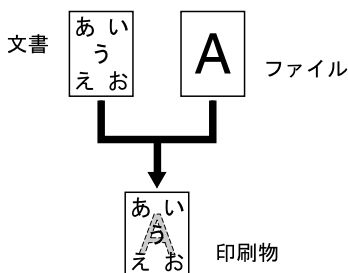
「両面」は、オプションの両面プリントユニットを装着している場合に有効です。

4. イメージシフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。
「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

「フォーム」タブ

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。リストから使用するフォームを選択します。
［追加］をクリックすると、フォーム画面が表示されます。新たに追加するフォーム名、ファイルの参照先設定を行います。

追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
追加したフォームファイルを編集する場合は、リスト内の編集したいフォームファイルを選択し、［編集］をクリックします。

フォーム名とファイル参照先を編集できます。フォームファイル自体を編集することはできません。

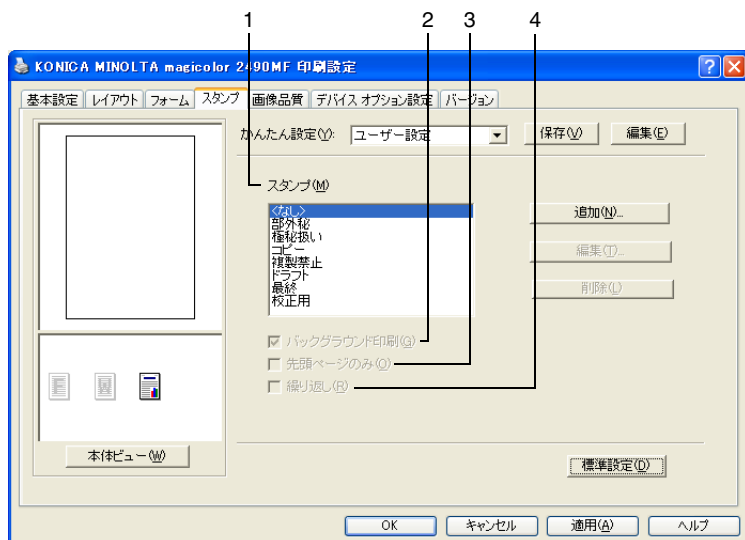
追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。

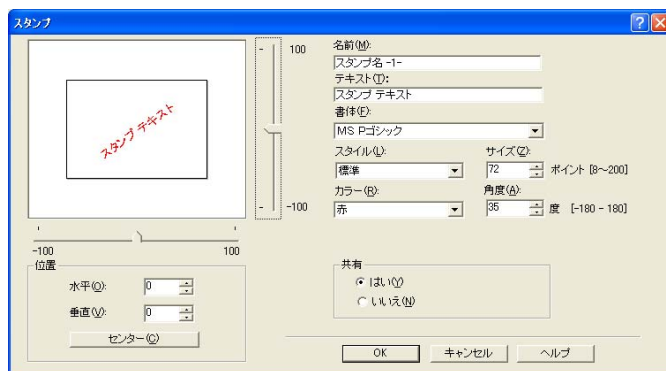
フォームを作成するには、任意のアプリケーションでデータを作成し、「ファイルに出力」オプションを選択して印刷を行います。
これにより作成される prn ファイルをフォームとして使用します。

フォームが複数のページにまたがる場合は、最初のページのデータだけがフォームとして使用されます。

2. ページ

フォームを印刷するページを「全ページ」、「先頭ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ

1. スタンプ

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプを作成、編集する画面が表示されます。新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

2. バックグランド印刷

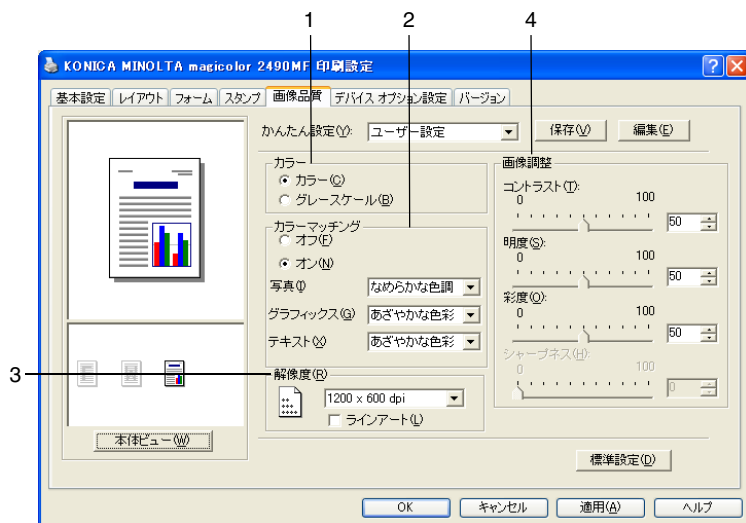
「バックグランド印刷」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

3. 先頭ページのみ

「先頭ページのみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

4. 繰り返し

1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

「画像品質」タブ

1. カラー

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. カラーマッチング

スクリーン上の色合いを忠実に表現するように本機の色合いを調整する、カラーマッチング機能を使用するかどうかを指定します。
「オン」を選択した場合は、写真（イメージ）、グラフィックス（表・図柄）、テキスト（文字）のそれぞれに対して、「なめらかな色調」「測色的に一致」「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択することができます。

DTP アプリケーション等で、アプリケーションの持つカラーマッチング機能を使って出力する場合には、この設定をオフにしてください。

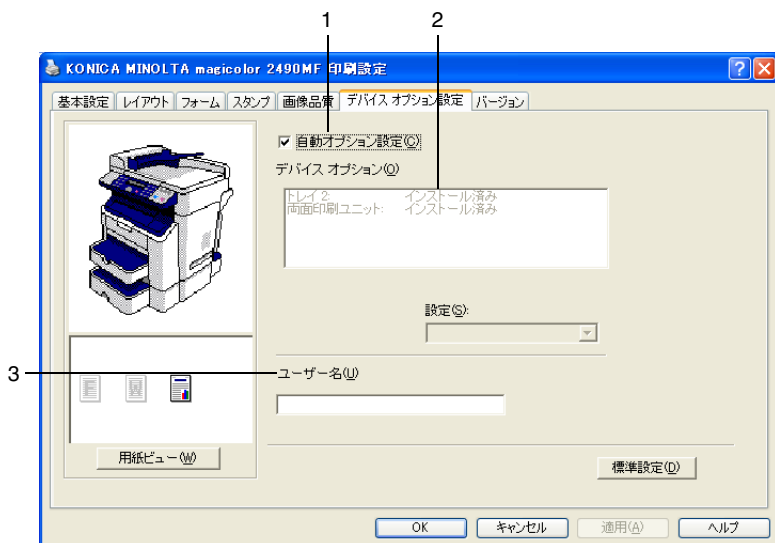
3. 解像度

印刷時の解像度を dpi（1 インチあたりの印字ドット数）で設定します。
「600 × 600dpi」「1200 × 600dpi」「2400 × 600dpi」から選択できます。
「ラインアート」をチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができますが、再現できる階調数が少なくなります。

4. 画像調整

印刷する画像のコントラスト、明るさ（明度）、鮮やかさ（彩度）、シャープネスを設定します。

このタブの「カラー」および「カラーマッチング」で選択した項目によって、調節可能な項目は異なります。

「デバイス オプション設定」タブ

1. 自動オプション設定

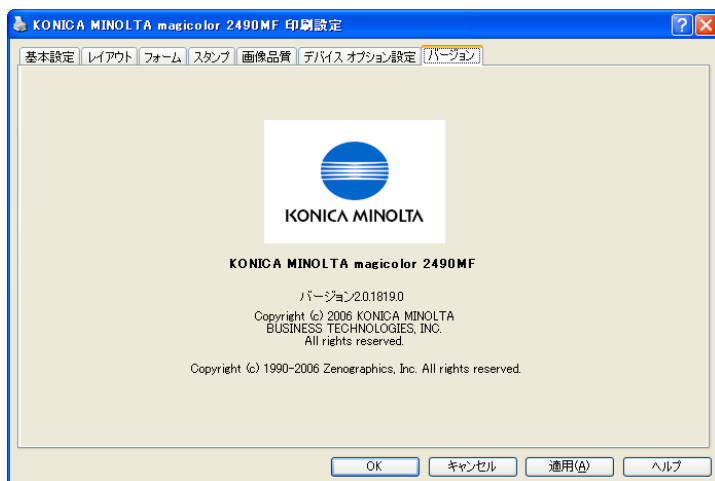
「自動オプション設定」のチェックボックスをチェックすると、プリンタに装着されたオプションを自動的に認識します。手動で設定する場合はチェックを外します。

2. デバイス オプション

プリンタに装着されたオプションを手動で設定します。
リストのオプションを選択し、「設定」から「インストール済み」または「未インストール」を選択します。

3. ユーザー名

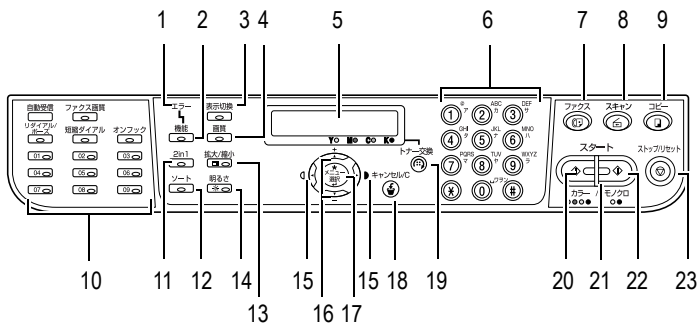
印刷ジョブのユーザ名を最大 8 文字で入力します。

「バージョン」タブ

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

操作パネルとメニュー

3

操作パネルについて

本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	エラーランプ	問題なし	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
2	機能キー	トレイ、両面コピー、ID カードコピーの設定をします。 *オプションのトレイ 2、自動両面ユニットが装着されていないと、トレイ、両面コピーの設定は表示されません。*

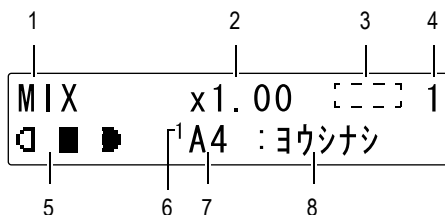
No.	キー	機能
3	**表示切換キー**	■ トナーカートリッジのおおよそのトナー残量を表示します。詳しくは、「トナー残量」(p.48)をごらんください。 ■ コピー、プリント、ファクス、スキャンのトータルページを表示します。詳しくは、「カウンタチェック」(p.48)をごらんください。 ■ ファクスの送受信結果を表示します。詳しくは、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」(Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル)をごらんください。 ■ ファクスに関わるレポートやリスト、本機の設定内容を印刷します。詳しくは、「本機の状態や設定内容を確認する」(p.48)をごらんください。
4	**画質キー**	コピーする原稿の種類と解像度を設定します。
5	**メッセージウィンドウ**	■ 用紙の種類、コピーの濃度、倍率などを表示します。詳しくは、「メッセージウィンドウの表示について」(p.45)をごらんください。 ■ エラー発生時には、エラーメッセージを表示します。詳しくは、「ステータス、エラー、サービスのメッセージ」(p.236)をごらんください。
6	**テンキー**	コピー枚数などの数値を入力します。
7	**ファクスキー**	ファクスが可能なときは、緑色に点灯します。ファクス機能については、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」(Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル)をごらんください。
8	**スキャンキー**	ネットワークでのスキャンが可能なときは、緑色に点灯します。スキャン機能については、「スキャン機能を使う」(p.121)をごらんください。
9	**コピーキー**	コピーが可能なときは、緑色に点灯します。 コピー機能については、「コピー機能を使う」(p.111)をごらんください。
10	**ファクス操作キー**	ファクスの操作で使用します。詳しくは、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」(Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル)をごらんください。
11	**2in1 キー**	2in1 コピーを行います。
12	**ソートキー**	コピーを部数ごとに分けて排紙します。

No.	キー	機能
13	**拡大 / 縮小キー**	拡大 / 縮小コピーの倍率をプリセットから選択します。
14	**明るさキー**	■ コピーの濃度を設定します。
15	**◀/▶キー**	■ コピーの濃度を設定します。 ■ 設定メニューの表示中は、項目を左右に移動します。
16	**▲ / ▼キー**	■ コピーの倍率を 0.01 刻みで設定します。（設定範囲：0.50 ～ 2.00） ■ 設定メニューの表示中は、項目を上下に移動します。
17	**メニュー選択キー**	■ 設定メニューを表示します。 ■ 表示されている設定を決定します。
18	**キャンセル /C キー**	■ 表示されている設定をキャンセルします。 ■ 設定したコピー枚数をクリアします。 ■ 設定メニューの各項目の先頭画面、またはメイン画面に戻します。 ■ プリント画面でプリントをキャンセルします。
19	**トナー交換キー**	トナーカートリッジの交換メッセージを表示します。詳しくは、「トナーカートリッジの交換」（p.164）をごらんください。
20	**スタート（カラー）キー**	フルカラーのコピーを開始します。
21	**スタートランプ**	コピーが可能なときは、緑色に点灯します。 ウォーミングアップ中、エラー発生時などコピーが不可能なときは、オレンジに点灯します。
22	**スタート（モノクロ）キー**	モノクロのコピーを開始します。

No.	キー	機能
23	**ストップ/リセットキー**	■ コピー、スキャン、ファクスの原稿の読み込みを中止します。 ■ 次の設定を初期値に戻します。 – 画質 – 明るさ – 拡大 / 縮小 – ソート – コピー枚数 – トレイの設定 ■ 次の機能を取り消します。 – 2in1 コピー – 両面コピー – ID カードコピー ■ トナー交換モードから通常モードに戻ります。

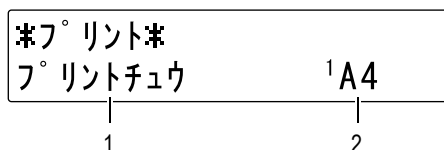
メッセージウィンドウの表示について

本機はメッセージウィンドウで装置の状態や、エラーメッセージなどを確認できます。

メイン画面

No.	表示	詳細
1	原稿の種類	画質キーと設定メニューで指定した、コピーする原稿の種類が表示されます。
2	倍率	拡大 / 縮小コピーの倍率が表示されます。

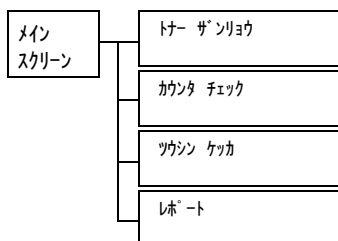
No.	表示	詳細
3	コピー機能で表示されるアイコン	：2in1 コピーを行います。 ：両面コピーを行います。 ：部単位でのコピー（ソート）を行います。 2in1 コピー、両面コピー、ソートについては「応用コピー」（p.116）、をごらんください。
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。
5	コピー濃度	コピー濃度を表示します。 ［A］は次の設定を行うと表示されます。 ■ 画質キーを押して、「ﾓｼﾞ」を選択した場合 ■ コピー設定メニューの「1 ﾓｰﾄﾞ」で「ﾓｼﾞ」を選択し、「ｵｰﾄ」を設定した場合
6	用紙トレイ	選択している用紙トレイが表示されます。
7	用紙サイズ	選択している用紙サイズが表示されます。
8	ステータス	用紙切れなどの時に、メッセージが表示されます。

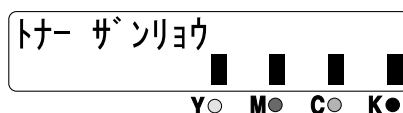
プリント画面

プリントジョブを受信すると、メイン画面のステータス領域に「PC:PRN」と表示されます。プリント画面を表示するには、表示切換キーを押してから、「ﾌﾟﾘﾝﾄ」が表示されるまで▶キーを押します。（次の画面が表示されます。）
プリントをキャンセルするには、プリント画面が表示されているときにキャンセル /C キーを押します。そして「YES= ｾﾝﾀｸ」を選択して、メニュー選択キーを押してください。

No.	表示	詳細
1	ステータス	印刷中などのメッセージが表示されます。
2	用紙トレイ / 用紙サイズ	選択している用紙トレイと用紙サイズが表示されます。

本機の状態や設定内容を確認する

表示切換キーを押し、本機の状態や設定内容を確認します。

確認する各項目は、表示切換キーを押して切り替えます。また、▲キーまたは▼キーを押しても切り替えられます。

トナー残量

トナーカートリッジのおおよそのトナー残量を表示します。

メインスクリーンに戻るにはキャンセル /C キーを押します。

カウンタチェック

ﾓﾉｸﾛ ｺﾋﾟｰ	モノクロコピーのトータル枚数を表示します。
ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ	カラーコピーのトータル枚数を表示します。
ﾓﾉｸﾛ ﾌﾟﾘﾝﾄ	モノクロプリントのトータル枚数を表示します。
ｶﾗｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ	カラープリントのトータル枚数を表示します。
ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ	ファクスプリントのトータル枚数を表示します。
ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾀ	スキャンした原稿のトータル枚数を表示します。

通信結果

ファクスの送受信結果を最大 60 通表示します。また、スタート（モノクロ）キーを押すと表示している送受信結果をプリントします。詳しくは、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

レポート

ファクス送受信結果や登録リスト、本機の設定内容を印刷します。

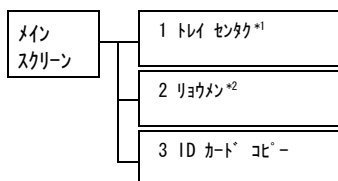
ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの送信結果を印刷します。
ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの受信結果を印刷します。
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの送受信結果を印刷します。
ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ	ファクスの送信待ち情報を印刷します。
ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ	ファクスの送信待ち情報と縮小した 1 ページ目を印刷します。
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ	ワンタッチダイアルに登録した送信先を印刷します。
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ	短縮ダイアルに登録した送信先を印刷します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ	グループダイアルのグループを印刷します。
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	メニュー一覧と設定内容を印刷します。
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	本機のおおよそのトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。
ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ	デモページを印刷します。

ファクスの送受信結果や登録リストについては、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

機能キーの機能を設定する

機能キーを押して、トレイ、両面コピー、ID カードコピーの設定をします。

ファクスキーとスキャンキーが緑色に点灯している場合は、コピーキーを押してください。

ファクス機能の機能キーについては、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

*1 オプションのトレイ 2 が装着されていないと表示されません。
*2 オプションの自動両面ユニットが装着されていないと表示されません。

1 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ	設定	ﾄﾚｲ1 / ﾄﾚｲ2
	使用する給紙トレイを選択します。詳しくは、「用紙トレイを選択する」（p.115）をごらんください。	
2 ﾘｮｳﾒﾝ	設定	ｵﾌ / ﾁｮｳﾍﾝ / ﾀﾝﾍﾟﾝ
	両面コピーを設定します。詳しくは、「両面コピーの設定」（p.118）をごらんください。	
3 ID ｶｰﾄﾞ ｺﾋﾟｰ	設定	ｵﾌ / ｵﾝ
	ID カードコピーを設定します。詳しくは、「ID カードコピーの設定」（p.117）をごらんください。	

操作パネルのメニュー一覧

本機の操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

メインメニュー

メインメニューを表示するには、メニュー選択キーを押します。キャンセル /C キーを押すと、各項目の先頭画面、またはメインスクリーンに戻ります。

ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ
1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ
2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
3 ﾍｯﾀﾞ
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ
4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
6 ﾌｯﾀ
7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ
2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ
3 PSTN/PBX
4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ
5 ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ
6 ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ
1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ
2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ
3 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ
4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
1 ｶﾞｿﾞｳ ﾋﾝｼﾂ
2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
1 IP ｱﾄﾞﾚｽ
2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
4 DNS ｾｯﾃｲ
ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
1 ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ
2 ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
3 SMTP ｻｰﾊﾞ
4 SMTP ﾎﾟｰﾄ No.
5 SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
6 ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
7 ｹﾝﾒｲ

本体設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。 ｵﾝを選択した場合、自動リセット機能がはたらくまでの時間を選択します。 時間の設定範囲 0.5、1、2、3、4、5 分 （工場出荷時の設定値は 1 分） ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。	
2 ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	設定	5/15/**30**/60
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 単位は分です。	
3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ	設定	ｳｽｲ ◀□■□□▶ ｺｲ
	メッセージウィンドウの明るさを設定します。	
4 Language	設定	English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese / Russian / Czech / Slovakian / Hungarian / Polish / **Japanese**
	メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。 *文字が正しく表示されないため、English および Japanese 以外の言語は選択しないでください。*	

項目		
5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ	設定	**ﾓｰﾄﾞ 1**/ ﾓｰﾄﾞ 2
	何も操作が行われなかった場合に、スキャナユニットのランプをオフにするまでの時間を設定します。 「ﾓｰﾄﾞ 1」に設定した場合は、本機が 4 時間操作が行われないとランプがオフになります。 「ﾓｰﾄﾞ 2」に設定した場合は、本機が節電モードに移行した時にランプがオフになります。	
6 ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵｵｷｲ / **ﾁｲｻｲ** / ｵﾌ
	キータッチ音、エラー発生時の警告音の音量を選択します。	
7 ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｺﾋﾟｰ** / ﾌｧｸｽ
	電源をオンにした時や、ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄした時の本機の状態を設定します。	
8 ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）/ ｵﾌ
	トナーがなくなった時、印刷、コピー、ファクスを中止するか、しないかを設定します。 ｵﾝに設定すると、トナーがなくなった時、印刷、コピー、ファクスを中止します。 ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）に設定すると、トナーがなくなった時、ファクスのみを中止します。 ｵﾌに設定すると、トナーがなくなっても印刷、コピー、ファクスを中止しません。	
9 ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	印刷で用紙サイズエラーになった場合、印刷を継続するか、停止するかを選択します。	
10 ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	画像階調を補正します。 ｵﾝに設定すると、画像階調の補正を開始します。	

トレイ設定メニュー

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ	用紙種類	**ﾌﾂｳｼ** /OHP ﾌｨﾙﾑ / ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ / ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ / ﾌｳﾄｳ / ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ / ｱﾂｶﾞﾐ / ｺｳﾀｸｼ
	用紙サイズ	封筒・官製はがき以外の場合：**A4** / B5 / A5 / ﾘｰｶﾞﾙ / ﾚﾀｰ / ｶﾞﾊﾞﾒﾝﾄﾚﾀｰ / ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ﾌｫﾘｵ （OHP ﾌｨﾙﾑ、ﾗﾍﾞﾙﾖｳｼ、ｱﾂｶﾞﾐ、ｺｳﾀｸｼを選択した場合、ﾘｰｶﾞﾙとﾌｫﾘｵは表示されません。） 封筒の場合：**COM10** / C5 / ﾖｳｹｲ 2ｺﾞｳ / DL / ﾖｳｹｲ 6ｺﾞｳ / ﾖｳｹｲ 0ｺﾞｳ / ﾖｳｹｲ 4ｺﾞｳ / ﾁｮｳｹｲ 4ｺﾞｳ 官製はがきの場合：**ｵｳﾌｸ ﾊｶﾞｷ** / ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ
	トレイ 1 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。 用紙の種類を設定した場合は、メッセージウィンドウに使用可能な用紙サイズが表示されます。	
2 ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ	用紙サイズ	ﾚﾀｰ /**A4**
	トレイ 2 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。 トレイ 2 にセットできる用紙の種類は普通紙のみです。	

コピー設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾓｰﾄﾞ	設定	**MIX**/ ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ
	コピーする原稿の種類を設定します。 「ﾓｼﾞ」を選択した場合、コピー濃度の設定を「ｵｰﾄ」または「ﾏﾆｭｱﾙ」に設定します。	
2 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ｵｰﾄ）	設定	ｳｽｲ ◁□■□▶ ｺｲ
	下地色の濃度を調整します。	
3 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ﾏﾆｭｱﾙ）	設定	ｳｽｲ ◁□□□■□□□▶ ｺｲ
	通常使用するコピー濃度を設定します。	
4 ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	通常使用するコピーのソート方法を設定します。	
5 ｶﾞｼﾂ	設定	**ﾉｰﾏﾙ** / ﾌｧｲﾝ
	プリントの解像度を設定します。	
6 ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ	設定	**ﾄﾚｲ 1**/ ﾄﾚｲ 2
	通常使用する給紙トレイを設定します。 トレイ 2 を装着していない場合は、＊ｺﾉ ｷﾉｳ ﾊ ﾂｶｴﾏｾﾝ＊と表示されます。	

「1 ﾓｰﾄﾞ」および「5 ｶﾞｼﾂ」は、画質キーで設定することもできます。
画質キーを 1 回押すと「1 ﾓｰﾄﾞ」の設定が表示され、2 回押すと「5 ｶﾞｼﾂ」の設定が表示されます。

「3 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ﾏﾆｭｱﾙ）」は、明るさキーで設定することもできます。

「4 ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ」は、ソートキーで設定することもできます。

「6 ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ」は、機能キーを押したあと、「1 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ」を選択して設定することもできます。

ファクス登録メニュー

1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、ワンタッチダイアルキーに登録します。ファクス番号またはメールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 ワンタッチダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「ワンタッチダイアルを登録する」（p.143）をごらんください。
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアル番号に登録します。ファクス番号またはメールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 短縮ダイアル番号は最大 100 件登録できます。 詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.149）をごらんください。
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使う同報相手先を、ワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すだけで、複数相手先を呼び出せきます。 1 つのグループダイアルに、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアルを登録する」（p.156）をごらんください。

送信設定メニュー

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｳｽｲ □□■□■ ｺｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿をスキャンするときの濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>STD / FINE / S/F / H/T</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャン解像度（ファクス画質）の初期値を選択します。
■ STD：手書きなどを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準）
■ FINE：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン）
■ S/F：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン：高精密）
■ H/T：写真などの濃淡のある原稿の場合に設定します。（ハーフトーン）
「H/T」を選択した場合は、「STD」、「FINE」、「S/F」を選択する画面が表示されます。
送信時に、ここで設定した初期値から解像度を変更する場合は、ファクス画質キーを押します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 ﾍｯﾀﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セクション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

受信設定メニュー

1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	機密文書の受信のため、メモリ受信する（ｵﾝ）かしない（ｵﾌ）かを設定します。メモリ受信モードが「ｵﾝ」の場合は、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたときに、出力されます。 メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。 詳しくは、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。	
2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	設定	0 ～ 15（初期値：2）
	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。 留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」について詳しくは「通信設定メニュー」（p.62）をごらんください。	
3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ / ｶｯﾄ
	本機の印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。 ■ ｵﾝ：縮小して印刷します。 ■ ｵﾌ：等倍で、分割して印刷します。 ■ ｶｯﾄ：用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。ただし、受信文書が印刷用紙よりも 24 mm 以上長い場合は、分割されます。	
4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ	設定	ﾒﾓﾘ RX/ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX
	受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。 ■ ﾒﾓﾘ RX: 全ページを受信後、印刷を開始します。 ■ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX: 1 ページ目を受信後、印刷を開始します。	

<table>
<tr><td rowspan="2">5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵｰﾄ RX/ ﾏﾆｭｱﾙ RX</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。
■ ｵｰﾄ RX：ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。
■ ﾏﾆｭｱﾙ RX：ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるかオンフックキーを押してから、スタートキーを押すと、受信が開始されます。
手動受信については、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6 ﾌｯﾀ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ﾄﾚｲ 1：ｷﾝｼ / ｷｮｶ
ﾄﾚｲ 2：ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書やレポートを印刷するときに、どちらの給紙トレイを使うか選択します。
トレイ 2 がインストールされていない場合は、「ﾄﾚｲ 2」は表示されません。</td></tr>
</table>

通信設定メニュー

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ</td><td>設定</td><td>**ﾄｰﾝ** / ﾊﾟﾙｽ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。
ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。
ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲの「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」の場合、設定は変更できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ</td><td>設定</td><td>ｵｵｷｲ / **ﾁｲｻｲ** / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線モニタ音の音量を選択します。
設定が「ｵﾌ」の場合でも、オンフックキーを押したときにはモニタ音が聞こえます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 PSTN/PBX</td><td>設定</td><td>**PSTN** / PBX</td></tr>
<tr><td colspan="2">「PSTN」または「PBX」は、ご利用の環境に合わせて選択してください。
「PSTN」: ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択してください。
「PBX」 : ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / **ｵﾌ**</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切り替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。
■ ｵﾝ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。
■ ｵﾌ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5 ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ</td><td>設定</td><td>5 / 10 / 15 / **20** / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 240</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話の呼び出し時間 (秒) を設定します。「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」の場合に設定が有効になります。</td></tr>
</table>

6 ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。 *ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」は「ｵﾌ」に設定してください。*	

レポート設定メニュー

1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。「ｵﾝ」に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。 通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。	
2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）** / ｵﾌ
	ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ：送信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）：エラーになった送信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ：エラーになったときでも印刷しません。	
3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）** / ｵﾌ
	ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ：受信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）：エラーになった受信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ：エラーになったときでも印刷しません。	

ユーザー設定メニュー

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ	設定	Japan / Korea / Malaysia / Mexico / Netherlands / New Zealand / Norway / Philippines / Poland / Portugal / Russia / Saudi Arabia / Singapore / Slovakia / South Africa / Spain / Sweden / Switzerland / Taiwan / Turkey / USA / UK / Argentina / Australia / Austria / Belgium / Brazil / Canada / China / Czech / Denmark / Europe / Finland / France / Germany / Greece / Hong Kong / Hungary / Ireland / Israel / Italy
	本機を設置した国を設定します。	
2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ	設定	ｼﾞｶﾝﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 23 ﾌﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 59 ﾈﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 99 （2000 ～ 2099） ﾂｷ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 12 ﾋ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 31
	現在の日時をテンキーで入力します。 「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」または「Canada」に設定されている場合は、サマータイムに合わせて自動的に変更されます。（開始日：4 月の第 1 日曜日午前 2 時、終了日：10 月の最終日曜日午前 2 時）	
3 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ	設定	**MM/DD/YY** / DD/MM/YY / YY/MM/DD
	レポートやリストの日時表示の形式を選択します。	
4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ	設定	ｲﾝﾁ / **ﾒﾄﾘｯｸ**
	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	
5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、- で 20 桁まで入力できます。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	
6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ	発信元名を入力します。32 桁まで入力できます。 ここで設定した発信元名が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	

ダイレクトプリントメニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

本機の設定よりカメラの設定が優先される場合があります。

<table>
<tr><td rowspan="5">1 ｶﾞｿﾞｳ ﾋﾝｼﾂ</td><td>設定</td><td>ﾄﾞﾗﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾌｧｲﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラダイレクトプリントの画像解像度を選択します。
ﾄﾞﾗﾌﾄ：600 dpi × 600 dpi
ﾉｰﾏﾙ：1200 dpi × 600 dpi
ﾌｧｲﾝ：2400 dpi × 600 dpi</td></tr>
<tr><td>ﾄﾚｲ</td><td>ﾄﾚｲ 1/ ﾄﾚｲ 2*</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>ﾄﾚｲ 1 を選んだ場合、用紙の種類を選択します。
ﾌﾂｳｼ / ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ / ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ / ｱﾂｶﾞﾐ / ｺｳﾀｸｼ</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td>ﾄﾚｲ 2 を選んだ場合、A4 またはﾚﾀｰのみ選択できます。
A4 / B5 / A5 / ﾚﾀｰ / ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ
用紙種類で「ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ」を選択した場合は、ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷも選択できます。
用紙種類で「ｺｳﾀｸｼ」を選択した場合は、ﾌｫﾄ ｻｲｽﾞ 4 × 6″、ﾌｫﾄ ｻｲｽﾞ 10 × 15、ﾚﾀｰ 2UP SPL、A4 4UP SPL、A4 2UP SPL も選択できます。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">カメラダイレクトプリントで使用するトレイ、用紙種類、用紙サイズを選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ</td><td>設定</td><td>1/2/3/4/6/8</td></tr>
<tr><td colspan="2">1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。
この設定はトレイ 2 が装着されておらず、そのうえダイレクトプリントメニューの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」が「A4」または「ﾚﾀｰ」以外の場合は設定できません。</td></tr>
</table>

Note: row "2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ" spans the ﾄﾚｲ, 用紙種類, 用紙サイズ rows and the description row.

* 「ﾄﾚｲ 2」はオプションのトレイ 2 装着時のみ表示されます。

ネットワーク設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	**ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ** / ｺﾃｲ
	IP アドレスを自動取得するか、入力して設定するかを選択します。使用する IP アドレスについて詳しくは、ネットワーク管理者に連絡してください。	
2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	接続されているネットワークのサブネットマスクを入力します。 「1 IP ｱﾄﾞﾚｽ」で「ｵｰﾄ」を選択していると、サブネットマスクは設定できません。	
3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ	接続されているネットワークのゲートウェイを入力します。 「1 IP ｱﾄﾞﾚｽ」で「ｵｰﾄ」を選択していると、ゲートウェイは設定できません。	
4 DNS ｾｯﾃｲ	設定	**ｷﾝｼ** / ｷｮｶ
	DNS（ドメインネームシステム）を禁止するか、許可するかを選択します。	

入力された文字を編集または削除するにはキャンセル /C キーを押してください。設定を取り消す場合は、キャンセル /C キーを 1 秒以上押し、もう一度キャンセル /C キーを押してください。

メール設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ	メールの送信者名を入力します。送信者名は 20 文字まで入力することができます。 初期値は「magicolor 2490MF」です。 *カタカナは入力することができません*	
2 ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ	メール送信者のメールアドレスを入力します。メールアドレスは 64 文字まで入力することができます。	
3 SMTP ｻｰﾊﾞ	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレス、ホスト名は 64 文字まで入力することができます。	
4 SMTP ﾎﾟｰﾄ No.	設定	1-65535（Default：25）
	SMTP サーバのポートを設定します。	
5 SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	30-300（Default：60）
	SMTP サーバのタイムアウト時間を秒数で設定します。	
6 ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	指定されたテキストを、メッセージの本文に挿入するかしないかを選択します。 ■ ｵﾝ：以下のテキストが、メッセージの本文に挿入されます。 Image data（TIFF format）has been attached to the email. ■ ｵﾌ：画像データは添付できます。しかし、テキストは、メッセージの本文に挿入されません。	
7 ｹﾝﾒｲ	メッセージの題名を入力します。題名は 20 文字まで入力することができます。 初期値は「From mc2490MF」です。 *カタカナは入力することができません*	

入力された文字を編集または削除するにはキャンセル /C キーを押してください。設定を取り消す場合は、キャンセル /C キーを 1 秒以上押し、もう一度キャンセル /C キーを押してください。

スキャナ設定メニュー

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	設定	150 ×150 / **300 ×300** / 600 ×600
	メールで送信するスキャンデータの解像度を設定します。	
2 ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ	設定	**TIFF** / PDF
	スキャンしたデータをメールで送信するときのファイル形式を選択します。 PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader で開くことができます。 カラーまたはグレーの TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer では開くことができません。これらのファイルは、アプリケーション（例えば PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging または ACDsee）で画像処理すると開くことができます。	
3 ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ	設定	**MH** / MR / MMR
	スキャンしたデータをメールで送信するときの圧縮方法を選択します。 MMR は圧縮比が高いですが、受取人のファクスで互換性を持たない可能性があります。MH は圧縮比が低いですが、大部分のファクスで互換性を持ちます。受取人のファクスにふさわしい圧縮方法を選んでください。	

用紙の取り扱い

使用できる出力用紙サイズ

本機では以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面	コピー	印刷	カメラダイレクト印刷	ファクス
	ミリ（mm）	インチ（in.）						
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2	○	○	○	○	○
B5（JIS）	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1	×	○	○	○	×
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1	×	○	○	○	×
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1	×	○	○	×	○
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2	○	○	○	○	○
ステートメント	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5	1	×	○	○	○	×
エグゼクティブ	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	1	×	○	○	×	×
フォリオ	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0	1	×	○	○	×	×
レタープラス	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1	×	×	○	×	×
UK クァトロ	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1	×	×	○	×	×
フールスキャップ	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1	×	×	○	×	×
ガバメントリーガル	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0	1	×	×	○	×	×
開 16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1	×	×	○	×	×
開 32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1	×	×	○	×	×
ガバメントレター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1	×	○	○	×	×
16K	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	1	×	×	○	×	×
フォトサイズ 4 × 6″	101.6 × 152.4	4.0 × 6.0	1	×	×	○	○	×
フォトサイズ 10 × 15	100.0 × 150.0	3.9 × 5.9	1	×	×	○	○	×
官製ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×	○	○	○	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1	×	○	○	×	×
B5（ISO）	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	1	×	○	○	×	×
封筒 Com10	104.7 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×	○	○	×	×
封筒 C5	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0	1	×	○	○	×	×
封筒 DL	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7	1	×	○	○	×	×
封筒洋形 6 号	98.4 × 190.5	3.875 × 7.5	1	×	○	○	×	×
封筒洋形 2 号	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4	1	×	○	○	×	×
封筒洋形 0 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×	○	○	×	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面	コピー	印刷	カメラダイレクト印刷	ファクス
	ミリ（mm）	インチ（in.）						
封筒長形 4 号	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	1	×	○	○	×	×
封筒洋形 4 号	105.0 × 235.0	4.1 × 9.3	1	×	○	○	×	×
フリーサイズ（最小値）	92.0 × 148.0	3.6 × 5.8	1	×	×	○	×	×
フリーサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	×	×	○	×	×
厚紙は A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズのみに対応しています。								
備考： * トレイ 1 は汎用 トレイ 2 は普通紙（リサイクル）専用								

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本機で利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（リサイクル）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙 （リサイクル）	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	対応しています。	

以下の用紙を使用してください。

- 販売店で取り扱っている OA 用紙、リサイクル紙など、プリンタとコピー対応の普通紙（リサイクル）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、本機の故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  - インクジェットプリンタで印刷された用紙
  - モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  - 熱転写プリンタで印刷された用紙
  - 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙	
坪量	91 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ トレイ 1 の中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル用紙

ラベル用紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル用紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル用紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル用紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
両面印刷	対応していません。	

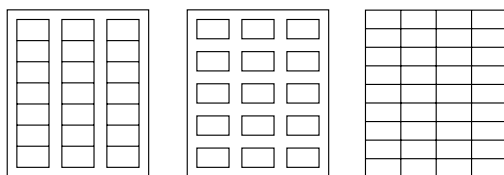
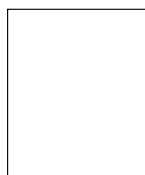
以下のラベル用紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル用紙

以下のようなラベル用紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル用紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル用紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル用紙

レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1</td><td>50 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>対応しています。</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">レターヘッド</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">対応しています。</td></tr>
</table>

官製はがき

官製はがきには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがって官製はがき用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	官製ハガキ	
両面印刷	対応していません。	

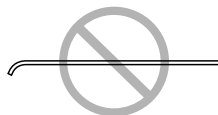
以下の官製はがきを使用してください。

- 官製はがき（100 × 148 mm）
（市販の官製はがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用官製はがき
- 切り込みやミシン目のある官製はがき
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（官製はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

官製はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

- 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.181）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムにも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません。	

OHP フィルムを使用する場合、初めに少ない枚数で試し印刷を行い、問題が起こらないことを確認してください。

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

光沢紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	光沢紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ トレイ 1 の中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

以下のような光沢紙は使用しないでください。

■ インクジェットプリンタ用のもの

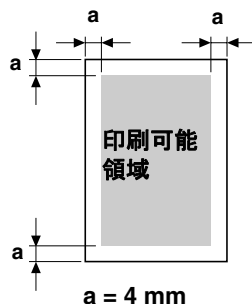
印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

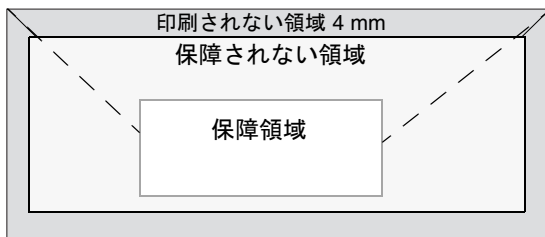
すべての用紙サイズで、用紙の上下左右から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

リーガル印刷時には、用紙下の余白が 18 mm になります。

光沢紙印刷時には、用紙上の余白が 10 mm になります。

封筒の印刷保証領域

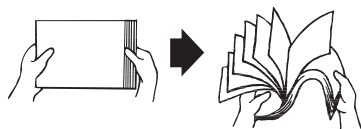
封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

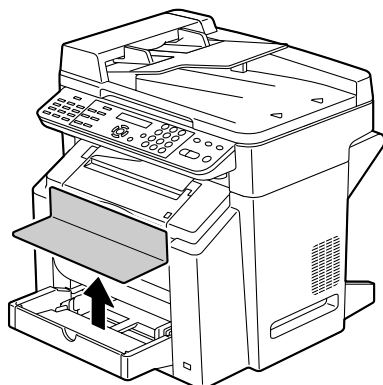
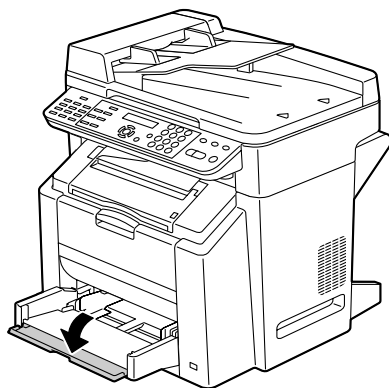
本機は、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル用紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したり本機の寿命が短くなる場合があります。

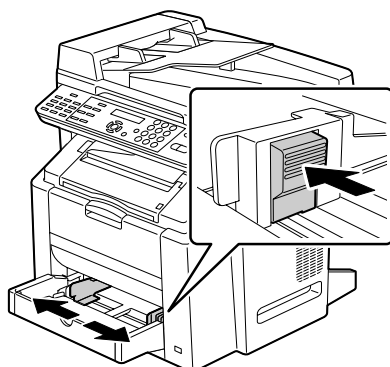
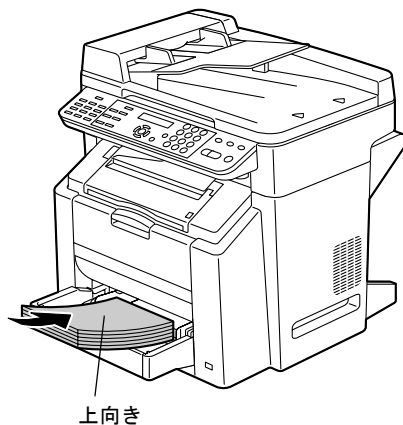
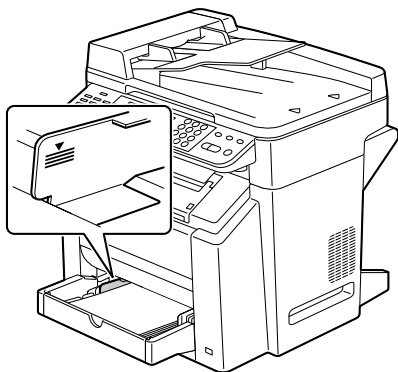
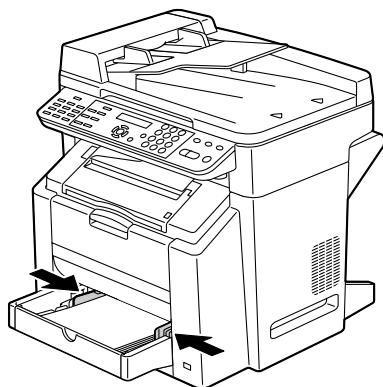
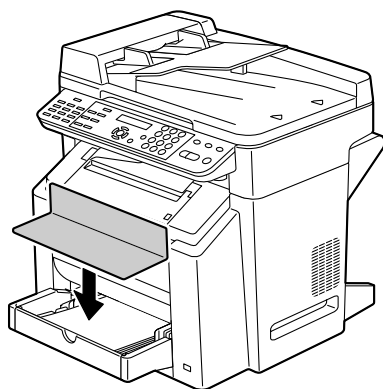
用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（手差しトレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。

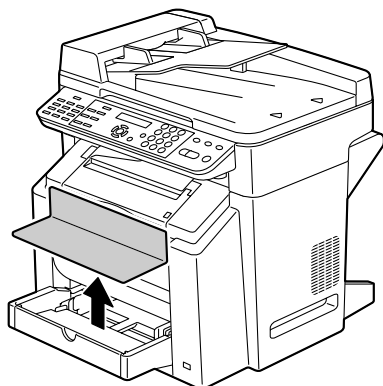
普通紙の場合

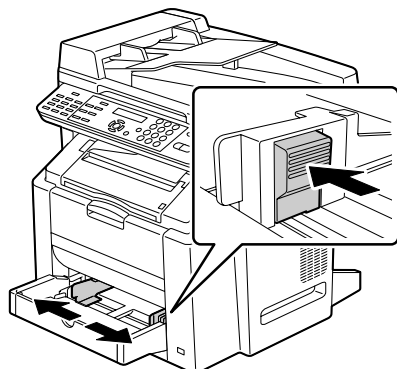
1 ダストカバーのふたを取り外します。

トレイ 1 にリーガルサイズの用紙をセットする場合は、トレイ 1 前面のパネルを開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。

3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は 1 度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

5 ダストカバーのふたを取り付けます。

その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、OHP フィルムなど）

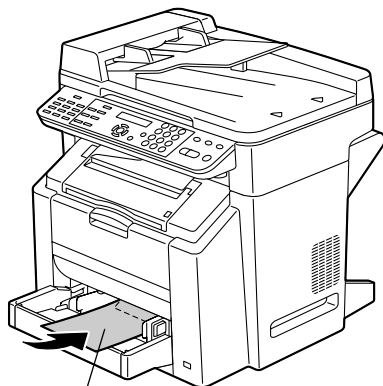
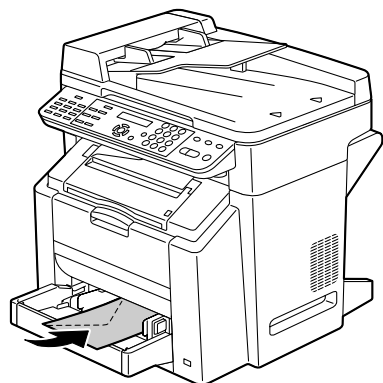
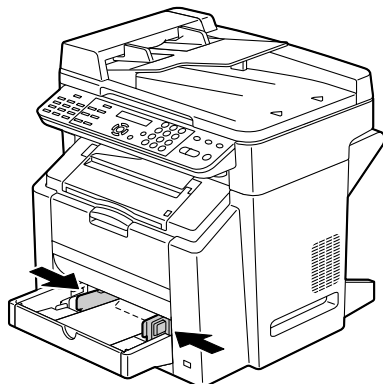
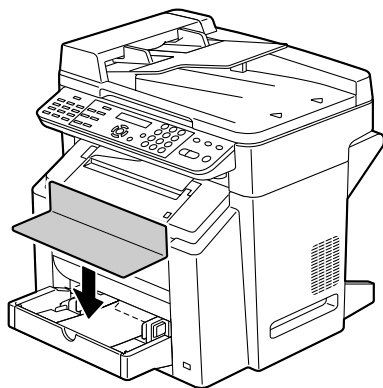
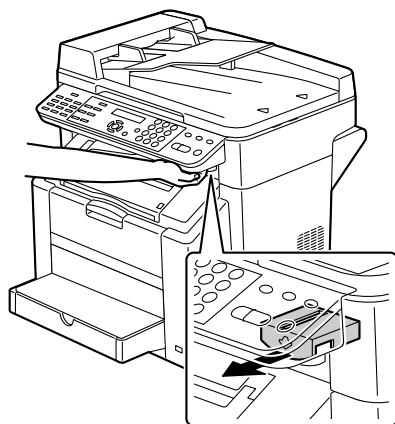
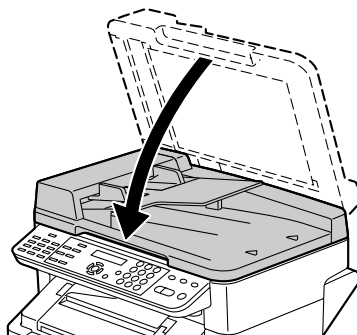
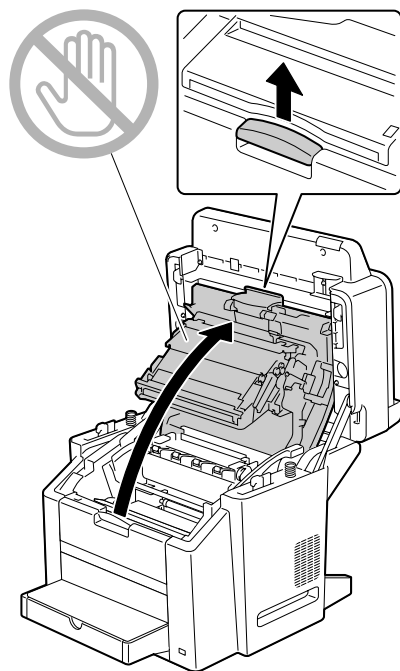
封筒の場合

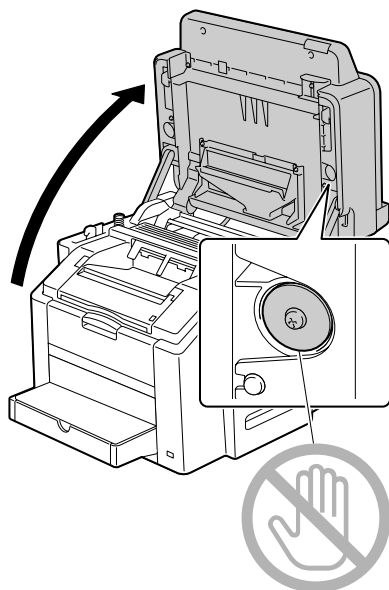
1 ダストカバーのふたを取り外します。

2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。

3 フタの面を下にして用紙をセットします。

セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわができたり、紙づまりの原因になります。

封筒は 1 度に 10 枚までセットできます。

封筒のフタが長辺にある場合は、フタを左側にしてセットしてください。

4 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。

5 ダストカバーのふたを取り付けます。

6 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。

スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。

7 スキャナユニットを開きます。

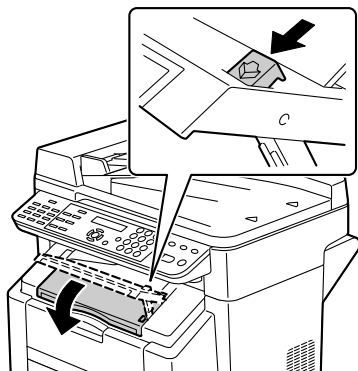
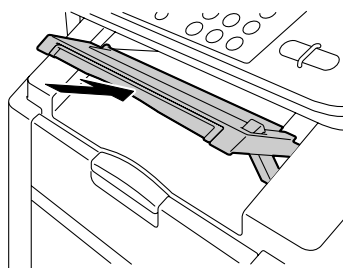
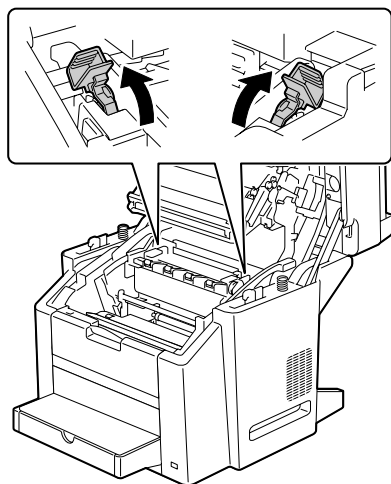
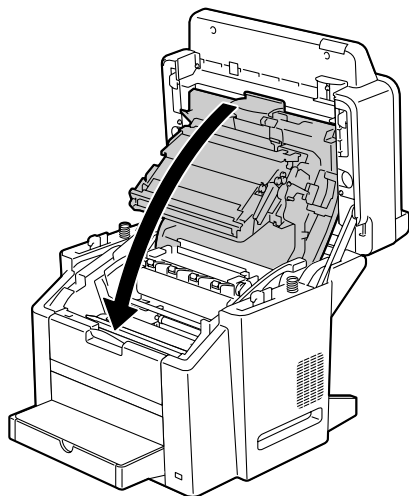
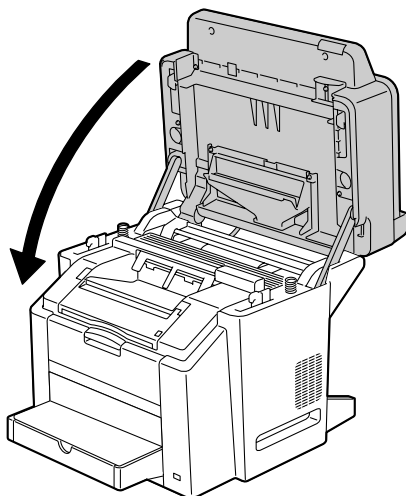
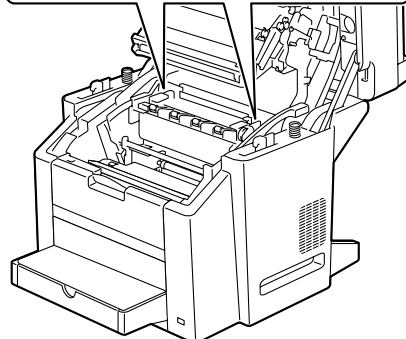
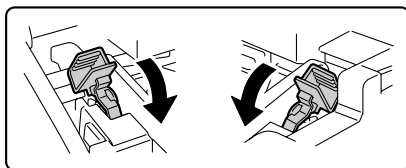
ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

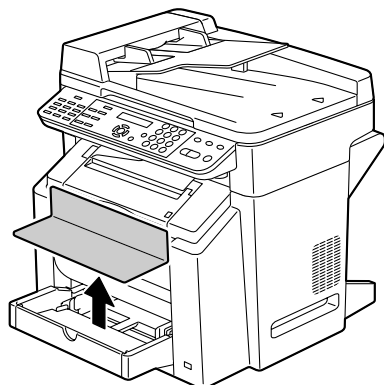
8 レバーを引いてトップカバーを開きます。

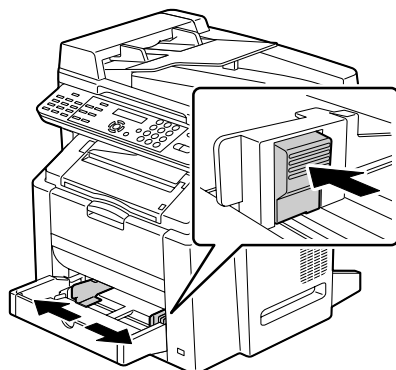
ご注意

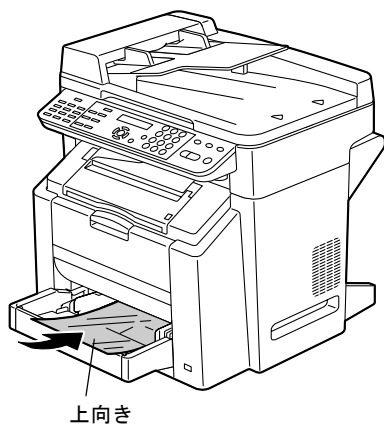
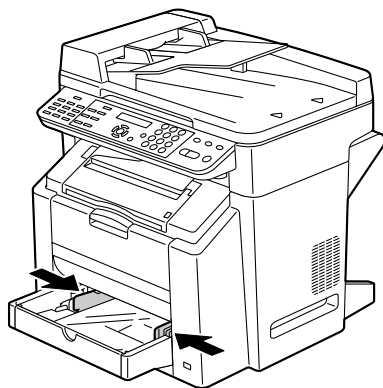
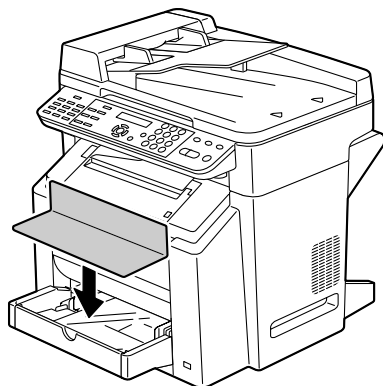
転写ベルトに手を触れないでください。

排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きの角度にセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。

9 左右にある定着ユニット解除レバーを奥に倒します。

10 トップカバーを閉じます。

11 スキャナユニットを閉じます。

封筒以外の用紙に印刷する場合は、左右にある定着ユニット解除レバーを必ず元の位置に戻してからプリントしてください。

ラベル用紙／官製はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

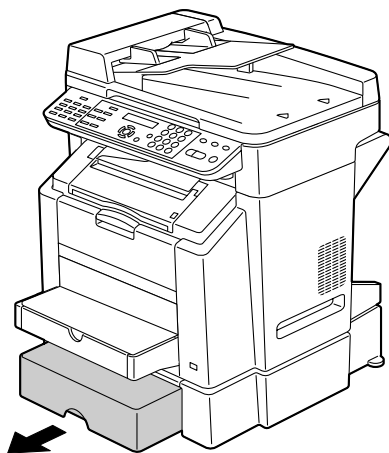
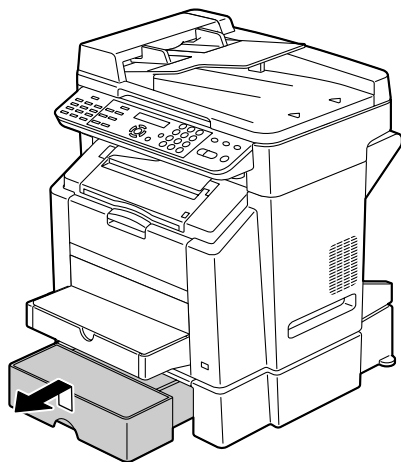
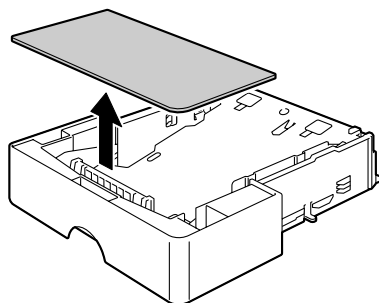
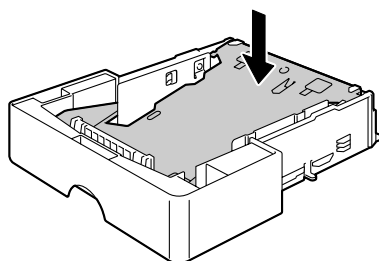
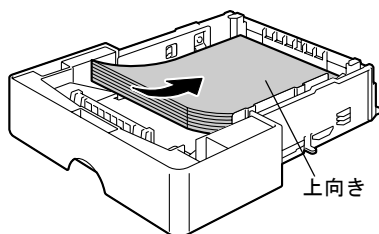
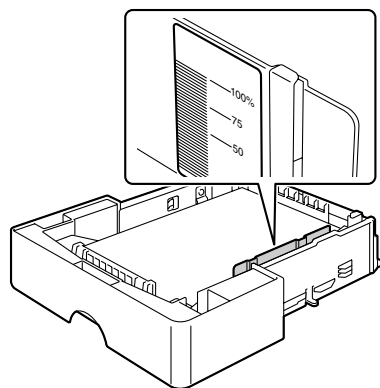
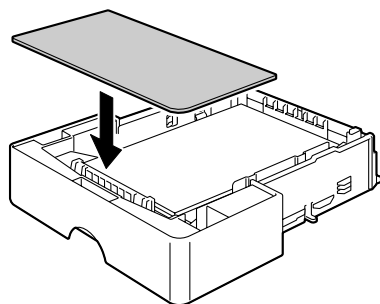
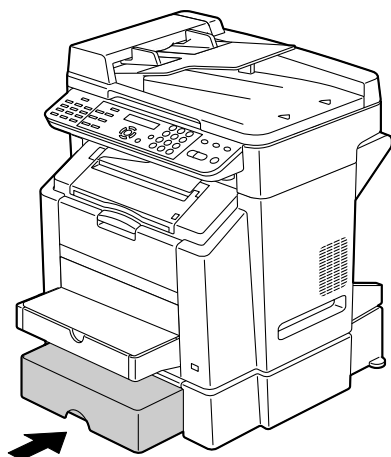
1 ダストカバーのふたを取り外します。

2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。

3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は 1 度に 50 枚までセットできます。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

5 ダストカバーのふたを取り付けます。

トレイ 2

 トレイ 2 は普通紙のみセットできます。

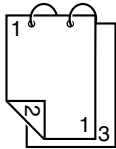
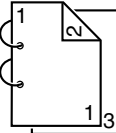
普通紙の場合

1 トレイ 2 を引き出します。

2 トレイ 2 を軽く持ち上げながら、完全に引き抜きます。

3 トレイ２のカバーを取り外します。

4 トレイ内部の金属板を、戻らなくなる位置まで押し下げます。

5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は 100% の線を超えないようにセットしてください。普通紙は 1 度に 500 枚（80 g/m²）までセットできます。

6 トレイ 2 のカバーを取り付けます。

7 トレイ 2 を本機にセットします。

両面印刷について

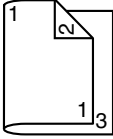
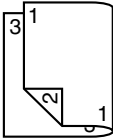
両面印刷には自動両面ユニット（オプション）が必要です。取り付け方法は「自動両面ユニットの取り付け」（p.247）をごらんください。
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。
「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。

厚紙、封筒、ラベル用紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

自動両面ユニットが本機に装着されている状態で、両面印刷を行います。

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷

両面印刷の設定には以下のレイアウトがあります。

	「短綴じ」に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	「長辺綴じ」に設定すると、横にめくるレイアウトになります。

小冊子

「ページ割付」の「小冊子」を選択した場合、自動的に両面印刷になります。
「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	「左とじ」に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます。
	「右とじ」に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます。

1 トレイ 1 に普通紙をセットします。
2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。
3 ［OK］をクリックします。

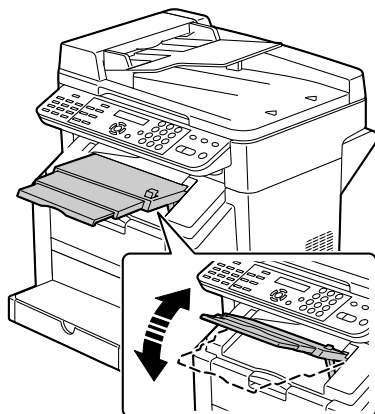
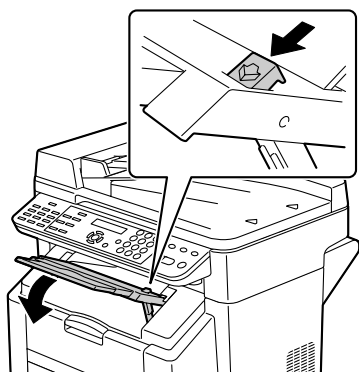
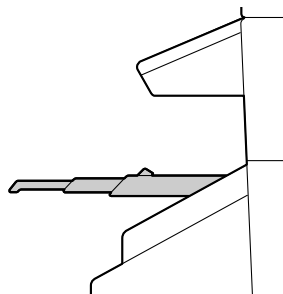
自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

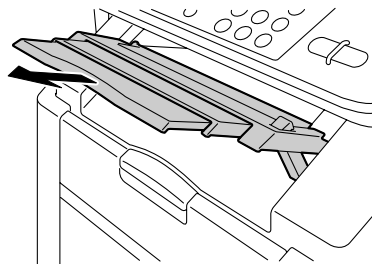
排紙トレイ

どの用紙も本機前部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 100 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

排紙トレイは、図のように 2 種類の角度に調整できます。

トレイを水平位置にセットするには、排紙トレイの右側にあるボタンを押します。

官製はがきに印刷する場合は、必ず排紙トレイを水平位置にセットしてからプリントしてください。
トレイを斜めにしたまま印刷すると、はがきがカールし積載量 10 枚に達する前にエラーが表示される可能性があります。

排紙トレイを引き出し、長さを 2 段階に延長することができます。

印刷する用紙サイズに合わせた位置で使用してください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

原稿について

原稿ガラスにセットできる原稿

原稿ガラスにセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類	単票用紙 / 本など
最大原稿サイズ	リーガル
最大積載量	3 kg

原稿ガラスに原稿をセットする場合、以下の点にご注意ください。

■ 質量が 3 kg を超えるものを原稿ガラスに乗せないでください。ガラスが破損する原因となります。

■ 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。ガラスが破損する原因となります。

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類 / 坪量	普通紙：60 ～ 128 g/m²
原稿サイズ	最大：リーガル 幅　：140 mm ～ 216 mm、長さ：148 mm ～ 356 mm
最大積載量	50 枚

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

■ 用紙サイズが不揃いの原稿

■ しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿

■ OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿

■ カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿

■ 128 g/m² 以上の厚手の原稿

■ クリップ、ステープルなどでとじられた原稿

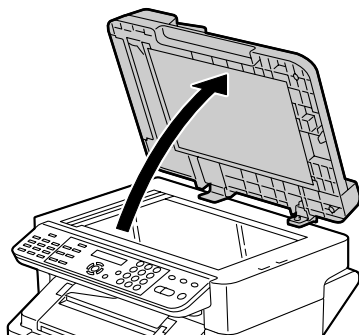
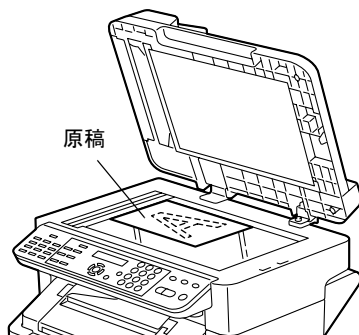
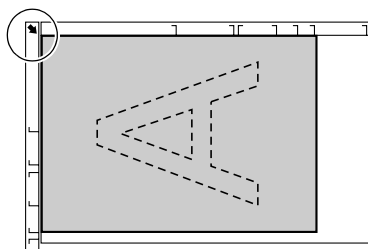
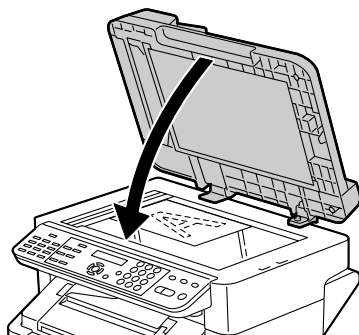
■ 本など製本されている原稿

■ のりなどで貼り合わせてある原稿

- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル用紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿

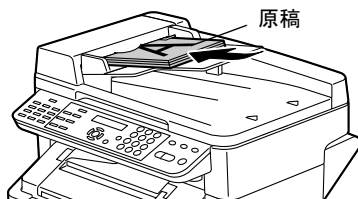
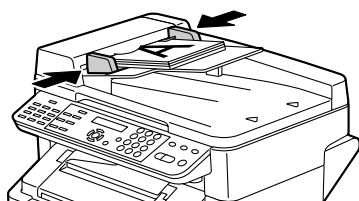
原稿をセットする

原稿ガラス上に原稿をセットする

1 ADF を開きます。

2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。

原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。また、原稿の端は原稿ガラスの左奥に合わせてください。

3 ADF を閉じます。

ADF 上に原稿をセットする

1 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。

 ADF に原稿をセットする時は、必ず原稿ガラスに残っている原稿を取り除いてください。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。

セットした原稿をコピーする手順については「コピー機能を使う」（p.111）、スキャンする手順については「スキャン機能を使う」（p.121）をごらんください。

カメラダイレクト

カメラダイレクト印刷をする

PictBridge（1.0 以降）対応のデジタルカメラと本機を USB で接続し、デジタルカメラに納められた画像を直接印刷することができます。

デジタルカメラの操作方法については、デジタルカメラの取扱説明書をごらんください。

本機では、下記の機能をサポートしません。
・DPOF 印刷
・フチなし印刷
・DPOF ケーブル接続エラーの回復
インデックスプリントおよび N-UP レイアウトは、用紙サイズがレターまたは A4 の場合にのみ使用できます。

ダイレクトプリントメニューの「2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」で選択した用紙サイズと、トレイにセットした用紙が同じであるか確認してください。

カメラダイレクト印刷で使用可能な用紙の種類は、普通紙、厚紙、ラベル用紙、光沢紙、官製はがきです。

デジタルカメラから直接印刷する

1 必要に応じて本機の操作パネルで、ダイレクトプリントメニューの「ｶﾞｿﾞｳ ﾋﾝｼﾂ」、「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」、「N-UP ﾚｲｱｳﾄ」を設定します。

デジタルカメラ側でこれらの設定（用紙種類および用紙サイズの設定は除く）が出来る場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。デジタルカメラでの設定が操作パネルの設定より優先されます。
操作パネルでの詳しい設定については、「ダイレクトプリントメニュー」（p.65）をごらんください。

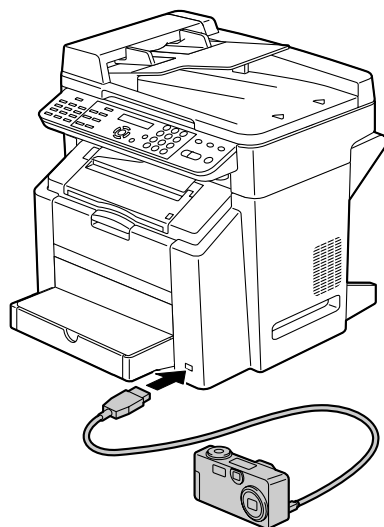
カメラ上で設定された用紙サイズ（画像サイズ）がカメラダイレクトメニューの「ﾖｳｼｻｲｽﾞ」で設定したサイズよりも大きい場合、印刷はできません。

「N-UP ﾚｲｱｳﾄ」はトレイ 2 が装着されておらず、そのうえダイレクトプリントメニューの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」が「A4」または「ﾚﾀｰ」以外の場合は設定できません。

2 デジタルカメラと、カメラダイレクトフォト印刷ポートを USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルは本機には同梱されていません。お使いのデジタルカメラに USB ケーブルが同梱されていない場合は、別途お買い求めください。

3 デジタルカメラから、印刷したい画像と枚数の設定をします。

4 デジタルカメラで印刷を開始します。

コピー機能を使う

基本コピー

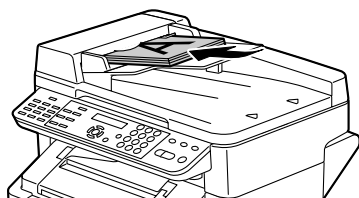
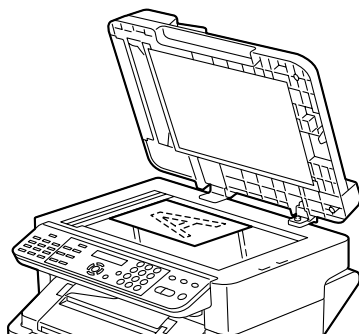
ここでは、基本的なコピーの手順と、コピーの倍率や明るさなどの設定方法について説明します。

コピーを行うとき、ファクスキーまたはスキャンキーが緑色に点灯している場合は、コピーキーを押してください。

用紙サイズの変更は、「ﾄﾚｲ ｾｯﾃｲ」で行います。詳しくは、「トレイ設定メニュー」（p.56）をごらんください。

コピーの基本操作

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

2 必要に応じて各機能の設定をします。

画質の設定については、「画質を設定」(p.113) をごらんください。
倍率の設定については、「倍率の設定」(p.113) をごらんください。
濃度の設定については、「コピーの濃度を設定する」(p.114) をごらんください。
用紙トレイの設定については、「用紙トレイを選択する」(p.115) をごらんください。
2in1 コピーの設定については、「2in1 コピーの設定」(p.116) をごらんください。
ID カードコピーの設定については、「ID カードコピーの設定」(p.117) をごらんください。
両面コピーの設定については、「両面コピーの設定」(p.118) をごらんください。
部単位でのコピー（ソート）の設定については、「部単位でのコピー（ソート）の設定」(p.119) をごらんください。

3 テンキーでコピー部数を入力します。

コピー部数を誤って入力してしまった場合は、キャンセル /C キーを押してから、正しいコピー部数を入力し直してください。

4 カラーコピーをとる場合は、スタート / カラーキーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、スタート / モノクロキーを押します。

コピー中にストップ / リセットキーを押すと、「ｽﾀｰﾄｷｰｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｻｲｶｲｼﾏｽ」と表示されます。コピーを続ける場合は、スタート / カラーキーまたはスタート / モノクロキーを押してください。コピーを中止する場合は、ストップ / リセットキーを押してください。

画質を設定

コピー原稿の内容に合わせ、コピーの画質を設定します。

1 画質キーを押します。
2 ◀、▶キーで「MIX」、「ﾓｼﾞ」、「ｼｬｼﾝ」のいずれかを選択し、メニュー選択キーを押してください。
メッセージウィンドウが、メイン画面表示に戻ります。

倍率の設定

コピーの倍率を設定する場合には、あらかじめ設定されたプリセット倍率から選択するか、カスタム設定で倍率を指定します。

プリセット倍率を選択する

1 メッセージウィンドウに目的の倍率が表示されるまで、拡大 / 縮小キーを何回か押します。

拡大 / 縮小キーを押すごとに、倍率の設定は以下の順序で切り替わります。

「ﾕｰｻﾞ ｾｯﾃｲ / ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ」を「ﾒﾄﾘｯｸ」に設定している場合：1.15 → 1.41 → 2.00 → 0.50 → 0.70 → 0.81
「ﾕｰｻﾞ ｾｯﾃｲ / ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ」を「ｲﾝﾁ」に設定している場合：1.29 → 1.54 → 2.00 → 0.50 → 0.64 → 0.78
テンキーでは倍率を入力できません。

選択したプリセット倍率によっては、その倍率で行える用紙サイズの変換（「B5 → A4」など）が、メッセージウィンドウ右下隅のステータスエリアに表示されます。

カスタム倍率を選択する

1 メッセージウィンドウに目的の倍率が表示されるまで、▲または▼キーを押します。

▲キーを押すと拡大側、▼キーを押すと縮小側に、×0.01 単位で倍率を変更できます。
設定可能な倍率の範囲は 0.50 ～ 2.00 です。
テンキーでは倍率を入力できません。

コピーの濃度を設定する

メッセージウィンドウに［A］が表示されている場合は、明るさキーを 2 回押すとコピーの濃度を設定できます。

1 目的の濃度になるまで、◀、▶キーを押します。

←薄い　濃い→

操作パネルの明るさキーでも、コピーの濃度を設定することができます。
明るさキーを押し、濃度の画面を表示します。◀、▶キーで濃度を設定し、メニュー選択キーを押してください。

用紙トレイを選択する

用紙トレイは、オプションのトレイ 2 を装着している場合に選択できます。

1 機能キーを押します。

2 「1. ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

3 ◀、▶キーを押して「ﾄﾚｲ 1」または「ﾄﾚｲ 2」を選択し、メニュー選択キーを押します。

応用コピー

ここでは、2in1 コピー、ID カードコピー、両面コピー、部単位でのコピー（ソート）について説明します。

2in1 コピー、ID カードコピー、両面コピー、部単位でのコピー（ソート）の 2 つ以上を同時に行うことはできません。

2in1 コピーの設定

2in1 コピーは、2 枚の原稿を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

2in1 コピーを行う場合、原稿を ADF にセットする必要があります。

1 2in1 キーを押します。
メッセージウィンドウに ■ が表示されます。

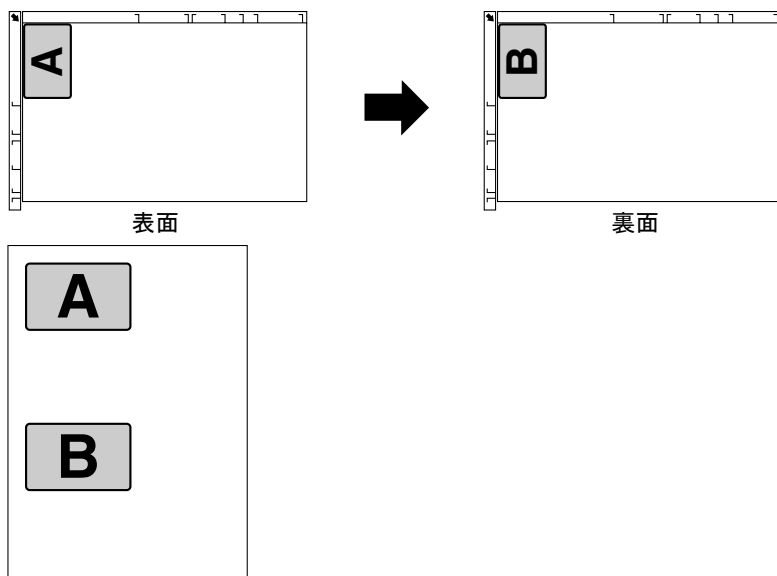
2in1 キーを押すと、コピー倍率は画像欠損しない倍率に自動で設定されます。

コピーの倍率は、この後で変更できます。

ADF を開いていると、2in1 コピーを設定できません。

用紙種類が封筒で 2in1 によるコピー倍率が 50% 以下になる場合は、50% が設定されます。

ID カードコピーの設定

ID カードコピーを行うと、証明書などの裏表を 1 枚の用紙に 100% でコピーすることができます。

ID カードコピーを設定すると、倍率は変更できません。

ID カードコピーは、原稿ガラスでのみ行うことができます。ID カードは原稿ガラスの左奥に合わせて置いてください。
上、左から 4mm は印字されません。ID カードの位置を調整してください。

ID カードコピーを行うことができる用紙サイズは、A4、レター、リーガルです。

1 原稿ガラスに ID カードの表面をセットします。

2 機能キーを押します。

3 ▲、▼キーで「3 ID ｶｰﾄﾞ ｺﾋﾟｰ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

4 ◀、▶キーで「ｵﾝ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

5 カラーコピーをとる場合は、スタート / カラーキーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、スタート / モノクロキーを押します。
ID カードのスキャンが開始されます。

6 「ﾂｷﾞ ﾉ ﾍﾟｰｼﾞ」が表示されたら、表面と同じ位置に裏面をセットし、スタート / カラーキーまたはスタート / モノクロキーを押します。
裏面をスキャンした後、印刷が自動的に始まります。
メッセージウィンドウが、メイン画面表示に戻ります。

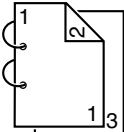
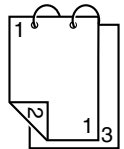
両面コピーの設定

両面コピーは、2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。

両面コピーはオプションの自動両面ユニットを装着している場合に設定できます。

1 機能キーを押します。

2 ▲、▼キーで「2 ﾘｮｳﾒﾝ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

3 ◀、▶キーで「ﾁｮｳﾍﾝ」または「ﾀﾝﾍﾟﾝ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

メッセージウィンドウに が表示されます。

フルカラーの両面コピーをとる場合には、原稿のスキャンが終わってから、印刷が開始されるまで 30 〜 50 秒がかかります。

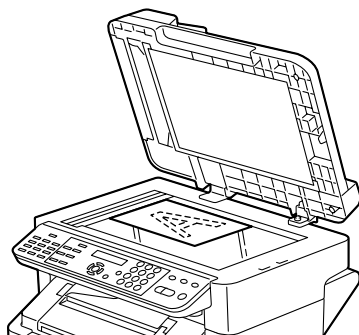
両面コピーの設定には以下の種類があります。

	「ﾁｮｳﾍﾝ」に設定すると、横にめくるレイアウトになります。
	「ﾀﾝﾍﾟﾝ」に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。

原稿ガラスを使用した両面コピー

原稿ガラスに原稿をセットして、両面コピーを行うこともできます。

1 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

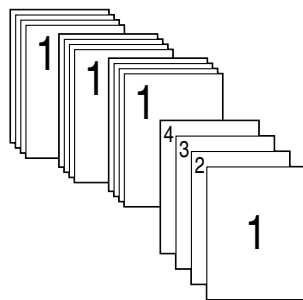
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）をごらんください。

2 機能キーを押し、両面コピーの設定をします。

3 カラーコピーをとる場合は、スタート / カラーキーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、スタート / モノクロキーを押します。
原稿のスキャンが開始されます。

4 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ」と表示されたら、原稿ガラスに次の原稿をセットして、スタート / カラーキーまたはスタート / モノクロキーを押します。
2 枚目のページ（裏面）のスキャンが完了すると、印刷が自動的に開始されます。
メイン画面表示に戻ります。

部単位でのコピー（ソート）の設定

ソートを設定すると、複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 部ずつページ順に揃えて印刷することができます。

 ソートを行う場合、原稿を ADF にセットする必要があります。

1 ソートキーを押します。
メッセージウィンドウに が表示されます。

「ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ / ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ」が「ｵﾝ」に設定されている場合は、ソートキーを押さないでください。

ADF が開いていると、ソートを設定できません。

7 スキャン機能を使う

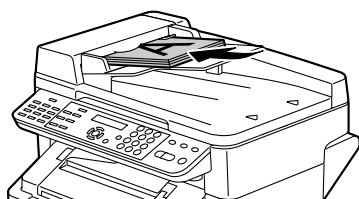
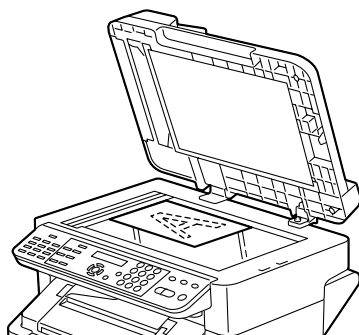
基本スキャン

USB でスキャンデータをコンピュータに取り込む

スキャンは TWAIN 対応のアプリケーションから行えます。ここでは Adobe Photoshop の例で説明します。

スキャンしたデータをメールで送信する場合は、スキャンキーを押してください。詳しくは、「スキャンしたデータをメールで送信する」（p.125）をごらんください。

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

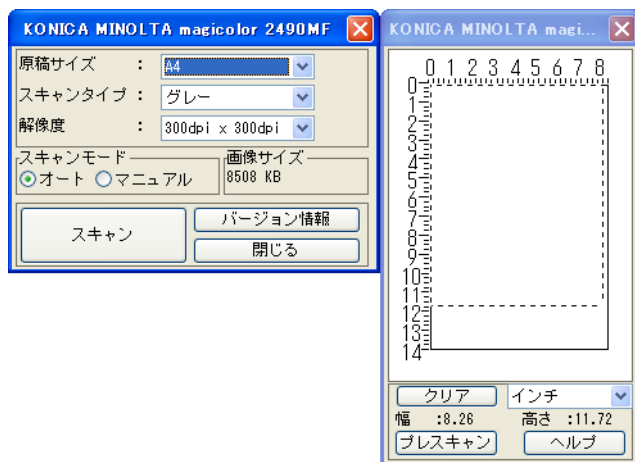
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）および「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

2 スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動します。

3 ［ファイル］メニューから［読み込み］を選択し、スキャナドライバを起動します。

アプリケーションからスキャン画像を読み込む場合、スキャナドライバは「KONICA MINOLTA magicolor 2490MF」と表示されます。

4 必要に応じてスキャナドライバの設定をします。

5 スキャナドライバの［スキャン］をクリックします。

スキャナドライバの設定

原稿サイズ

原稿サイズを指定します。

スキャンタイプ

トゥルーカラー、グレー、写真、白黒から選択します。

解像度

150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi から選択します。

スキャンモード

オートまたはマニュアルを選択します。マニュアルを選択すると、回転、明るさ / コントラスト、鮮明さ、カーブ、レベル、カラーバランス、色相 / 彩度を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。

画像サイズ

スキャン画像のデータサイズを表示します。

スキャン

スキャンを開始します。

バージョン情報

バージョン情報を表示します。

閉じる

スキャナドライバのウィンドウを閉じます。

プレビューウィンドウ

スキャンのプレビューを表示します。

クリア

プレビューを削除します。

幅 / 高さ

スキャンする範囲の幅と高さを表示します。

プレスキャン

プレビューウィンドウにプレビューを表示します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

スキャンしたデータをメールで送信する

スキャンしたデータは、メールサーバを経由して送信されます。

スキャンしたデータをメールで送信するには、ネットワークの設定、メールの設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定メニュー」（p.66）、「メール設定メニュー」（p.67）をごらんください。

ユーザ認証を必要とする SMTP サーバについて、この機能はサポートしていません。

メールで送信できる用紙サイズはリーガル（LG）、レター（LT）、ステートメント（ST）、A4、A5、B5 のみです。

スキャンしたデータをメールで送信する

1 スキャンキーを押します。

2 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

原稿をカラーでスキャンする場合は、原稿ガラスに原稿をセットしてください。

3 以下の操作から、相手先のメールアドレスを指定し、メニュー選択キーを押します。

- メールアドレスを入力する
- ワンタッチダイアルキーを使用する
- 短縮ダイアルを使用する
- リストから相手先を選択する
- 検索して相手先を探す

相手先を指定する操作について詳しくは、「相手先を指定する」（p.128）をごらんください

1個のTOアドレスと124個のCCアドレスで、合計125人の相手先を指定することができます。

スキャンキーを押した後に指定したメールアドレスは、メールの宛先として送信されます。

4 タイトル（件名）を入力し、メニュー選択キーを押します。

5 以下の操作から、CC で送信したい相手先のメールアドレスを指定し、メニュー選択キーを押します。

- メールアドレスを入力する
- ワンタッチダイアルキーを使用する
- 短縮ダイアルを使用する
- リストから相手先を選択する
- 検索して相手先を探す

相手先を指定する操作について詳しくは、「相手先を指定する」（p.128）をごらんください

複数の相手先に CC で送信する場合は、メニュー選択キーを押して相手先を指定します。すべての相手先の指定が終わるまで、手順 5 を繰り返します。

6 CC で送信したい相手先の指定が終了したら、メニュー選択キーを押します。

7 ◀、▶キーでカラー設定（「ｶﾗｰ」「ｸﾞﾚｰ」「ｼﾛｸﾛ」）を選択し、メニュー選択キーを押します。

原稿を ADF からスキャンする場合、「ｶﾗｰ」に設定しないでください。「ｶﾗｰ」に設定すると、原稿のスキャンが自動的に原稿ガラスに変更されます。

8 ◀、▶キーで画質（「150 × 150」「300 × 300」「600 × 600」）を選択し、メニュー選択キーを押します。

手順 7 で「ｶﾗｰ」「ｸﾞﾚｰ」を選択した場合は、「600 × 600」は選択できません。

読み取りの詳細を設定する場合は、▼キーを押してください。詳しくは、「読み取りモードの設定を変更する」（p.140）をごらんください。

9 原稿を ADF にセットした場合は、手順 10 へ進んでください。
原稿を原稿ガラスにセットした場合は、手順 11 へ進んでください。

10 ◀、▶キーを押して、「ADF（XXX）」を選択します。
手順 14 へ進んでください。

読み取りのサイズを変更する場合は、▼キーを押してください。詳しくは、「読み取りサイズの設定変更をする」（p.141）をごらんください。

11 ◀、▶キーを押して、「ﾌﾞｯｸ（XXX）」を選択します。

手順 7 で「ｶﾗｰ」を選択した場合、「ﾌﾞｯｸ ｽｷｬﾝ（XXX）」と表示されます。

読み取りのサイズを変更する場合は、▼キーを押してください。詳しくは、「読み取りサイズの設定変更をする」（p.141）をごらんください。

12 メニュー選択キーを押します。
スキャンが開始されます

13 複数枚の原稿を読み取る場合は、「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ」が表示されたら次の原稿を原稿ガラスにセットし、メニュー選択キーを押します。
原稿の枚数分、手順 13 を繰り返します。

14 スタートキーを押します。
原稿を ADF にセットした場合は、スキャンを開始し、データが相手先に送信されます。
原稿を原稿ガラスにセットした場合は、スキャンしたデータが相手先に送信されます。

スキャンを中止する場合は、ストップ / リセットキーを押してください。ジョブをキャンセルする画面で、「YES =ｾﾝﾀｸ」を選択して、メニュー選択キーを押します。

スキャンしたデータが送信できなかったとき、送信結果が印刷される場合があります。

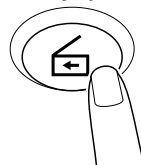
相手先を指定する

相手先の指定のしかたには、以下の方法があります。

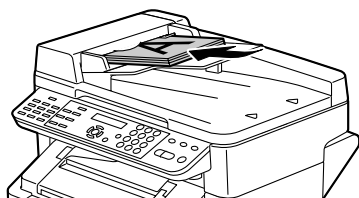
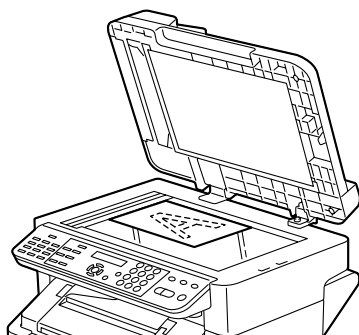
- 直接入力する：テンキーで直接メールアドレスを入力します。
- ワンタッチダイアルキーを使う：ワンタッチダイアルキーに登録された相手先を呼び出します。
- 短縮ダイアル番号を使う：短縮ダイアル番号に登録された相手先を呼び出します。
- 検索機能（リスト／検索）を使う：ワンタッチダイアルや短縮ダイアルに登録された相手先を検索し、指定します。

メールアドレスを直接入力して送信する

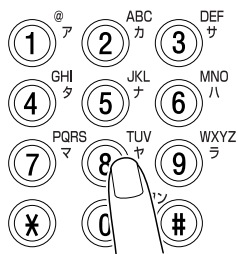
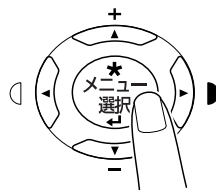
テンキーを使ってメールアドレスを入力します。

1 スキャンキーを押して、スキャンモード画面を表示させます。

ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ

2 原稿をセットします。

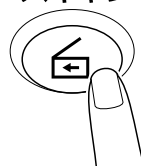
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

3 テンキーを使って、相手先のメールアドレスを入力します。

文字の入力/修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

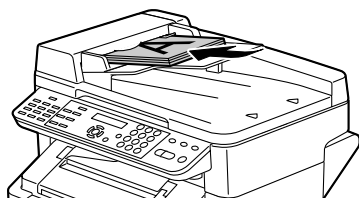
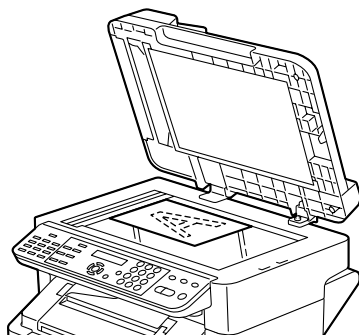
入力したメールアドレスを消去するには、キャンセル / C キーを 1 秒程度長押しをするか、ストップ / リセットキーを押します。

4 メニュー選択キーを押します。入力した相手先にメールを送信する操作については、「スキャンしたデータをメールで送信する」（p.125）をごらんください。

ワンタッチダイアルキーを使って送信する

よく使うメールアドレスを、ワンタッチダイアルキーに登録します。メールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

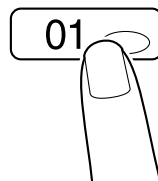
相手先は、前もってワンタッチダイアルキーに登録されている必要があります。詳しくは、「ワンタッチダイアルを登録する」（p.143）をごらんください。

1 スキャンキーを押して、スキャンモード画面を表示させます。

ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

3 目的のワンタッチダイアルキーを押します。

相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。

指定した相手先にメールを送信する操作については、「スキャンしたデータをメールで送信する」（p.125）をごらんください。

To=ABC
OK=ｾﾝﾀｸ　　ｿｳｼﾝ=ｽﾀｰﾄ

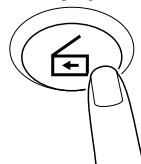
複数の相手先を指定したい場合は、グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーを押してください。

メールアドレスが登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ ﾃﾞﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。また、何も登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。メールアドレスが登録されているワンタッチダイアルキーを押してください。

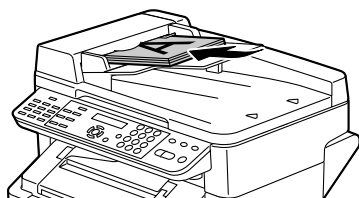
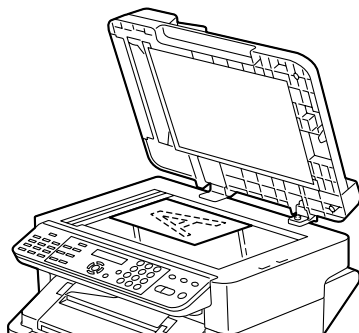
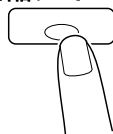
短縮ダイアルキーを使って送信する

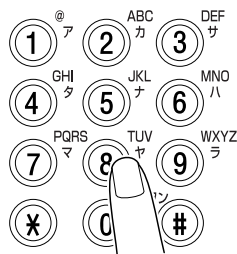
よく使うメールアドレスを、短縮ダイアルに登録します。メールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もって短縮ダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.149）を参照ください。

1 スキャンキーを押して、スキャンモード画面を表示させます。

ﾒｰﾙ　ｿｳｼﾝ
ｰｹﾞﾝｺｳ　ｦ　ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

3 短縮ダイアルキーを押します。

タンシュク ダ゛イアル=

4 テンキーで、目的の短縮ダイアル番号（3 桁）を入力します。
相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。
指定した相手先にメールを送信する操作については、「スキャンしたデータをメールで送信する」（p.125）をごらんください。

短縮ダイアル番号を間違えた場合には、キャンセル /C キーを押します。

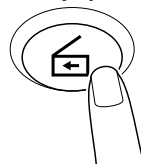
To=ABC
OK=センタク　ソウシン=スタート

メールアドレスが登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ ﾃﾞﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。また、何も登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。メールアドレスが登録されている短縮ダイアル番号を入力してください。

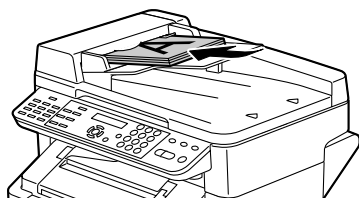
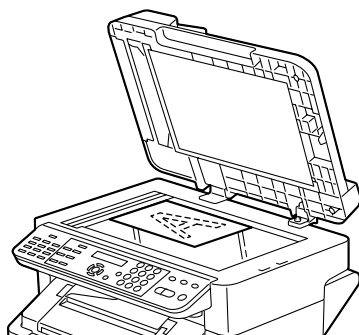
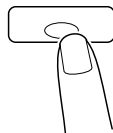
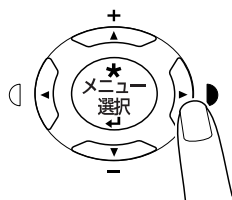
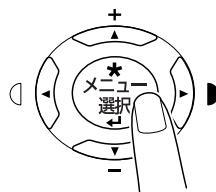
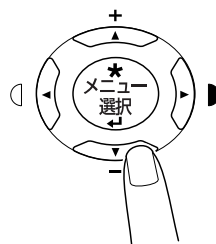
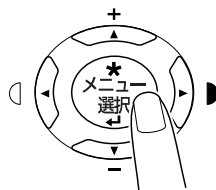
リスト機能で検索して送信する

ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

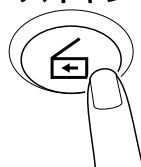
リスト機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

1 スキャンキーを押して、スキャンモード画面を表示させます。

ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

2 原稿をセットします。

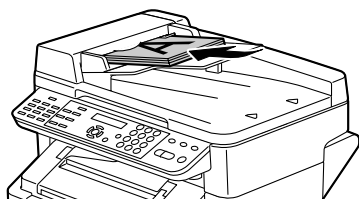
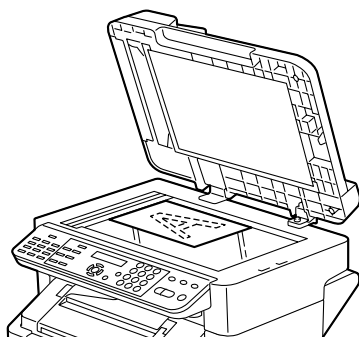
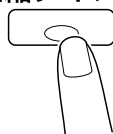
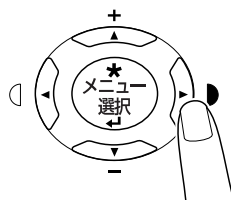
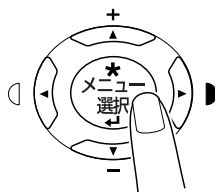
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

3 短縮ダイアルを 2 回押します。

4 ◀または▶キーを押して、「ﾘｽﾄ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
ワンタッチダイアルおよび短縮ダイアルに登録された相手先のリストが表示されます。

*リスト　　　　　ケンサク
◄, ►　&　センタク

5 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。

6 メニュー選択キーを押します。
指定した相手先にメールを送信する操作については、「スキャンしたデータをメールで送信する」（p.125）をごらんください。

検索機能で検索して送信する

ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

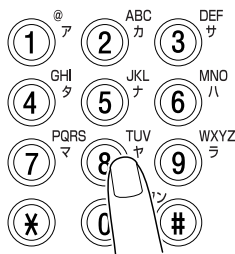
検索機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

1 スキャンキーを押して、スキャンモード画面を表示させます。

```
ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

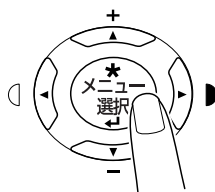
2 原稿をセットします。

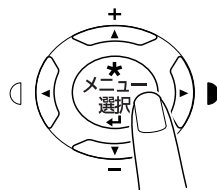
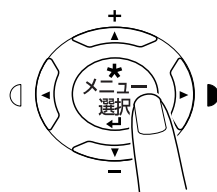
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.106）をごらんください。

3 短縮ダイアルを 2 回押します。

4 ◀または▶キーを押して、「ｹﾝｻｸ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
検索文字を入力する画面が表示されます。

*リスト　　　　ケンサク
◄, ► & センタク

5 テンキーで、検索したい相手先の名前の一部を入力します。

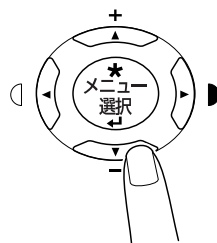
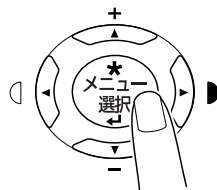
ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアル番号に登録している名前を入力してください。文字の入力については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

10 文字を検索文字として入力できます。

ケンサク−>>A_
OK=センタク　　　　[1]

6 メニュー選択キーを押します。
手順 5 で入力した検索文字に該当する相手先が表示されます。

該当する名前がワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルから検索されなかった場合は、「(0)」が表示されたあと、検索文字入力画面が表示されます。

A (2)
ケンサク=センタク　ヒョウシ゛=▼▲

7 検索結果から相手先を選択する場合は、手順 9 へ進みます。
または検索結果をさらに絞り込んで検索する場合は、メニュー選択キーを押し、検索文字を入力します。

8 メニュー選択キーを押します。

9 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。

目的の相手先名が検索結果に表示されなかった場合、キャンセル /C キーを 2 回押し、検索文字入力画面に戻ります。別の検索文字を入力してみてください。

10 メニュー選択キーを押します。
指定した相手先にメールを送信する操作については、「スキャンしたデータをメールで送信する」(p.125) をごらんください。

読み取りモードの設定を変更する

1 画質（「150 × 150」「300 × 300」「600 × 600」）を選択する画面で、▼キーを押します。
データ形式を選ぶ画面が表示されます。

2 ◀、▶キーでメールに添付するデータの形式（「TIFF」「PDF」）を選択し、▼キーを押します。

PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader で開くことができます。

カラーまたはグレーの TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer では開くことができません。これらのファイルは、アプリケーション（例えば PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging または ACDsee）で画像処理すると開くことができます。

選択をキャンセルする場合は、キャンセル /C キーを押します。カラー設定の画面が表示されます。

カラー設定で「ｸﾞﾚｰ」または「ｶﾗｰ」を選択した場合は、手順 3、4 の設定は表示されません。

3 ◀、▶キーでスキャン濃度を設定し、▼キーを押します。

4 ◀、▶キーで圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

5 設定した後、▲キーを押して画質を選択する画面まで戻します。

読み取りサイズの設定変更をする

1 原稿のセット（「ADF」「ﾌﾞｯｸ」）を選択する画面で、▼キーを押します。

2 ◀、▶キーで、読み取りサイズ（「A4」「B5」「ST」「LT」「LG」「A5」）を選択し、メニュー選択キーを押します。

設定をキャンセルする場合は、キャンセル /C キーを押します。原稿のセットを選択する画面に戻ります。

相手先を登録する

メールアドレス登録機能について

頻繁に使うメールアドレスは、ワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルとして登録でき、送信時に簡単に呼び出すことができます。また、登録することで、メールアドレスの入力エラーを防ぐことができます。

登録には、以下の種類があります。

- ワンタッチダイアル：ワンタッチダイアルキーにメールアドレスを登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、メールアドレスを呼び出すことができます。登録のしかたについては、「ワンタッチダイアル」（p.143）をごらんください。
- 短縮ダイアル：短縮ダイアルにメールアドレスを登録します。短縮ダイアルキーを押し、短縮ダイアル番号をテンキーで入力すると、メールアドレスを呼び出すことができます。登録のしかたについては、「短縮ダイアル」（p.149）をごらんください。
- グループダイアル：複数の相手先をグループとしてまとめて、ひとつのワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、グループを呼び出すことができます。登録のしかたについては、「グループダイアル」（p.156）をごらんください。

相手先をワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録すると、検索機能を使用して、相手先を検索できるようになります。検索機能の使用方法については、「リスト機能で検索して送信する」（p.134）または「検索機能で検索して送信する」（p.136）をごらんください。

ワンタッチダイアル

ワンタッチダイアルを登録する

頻繁に使うメールアドレスは、ワンタッチダイアルに登録します（最大 9 件）。

メール送信時には、ワンタッチダイアルキーを押して、メールアドレスを呼び出します。

複数の相手先を 1 つのワンタッチダイアルキーに登録する場合は、グループダイアルとして登録してください。グループダイアルの登録のしかたは、「グループダイアルを登録する」（p.156）をごらんください。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

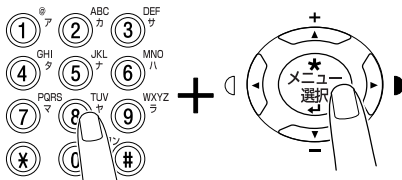
3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 メールアドレスを登録したいワンタッチダイアルキーを押します。

選択したワンタッチダイアルキーにすでにメールアドレスが登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

5 ワンタッチダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.259) をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、ワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

☎=ABC_
OK=ｾﾝﾀｸ [A]

メールアドレスには、50桁まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.259) をごらんください。

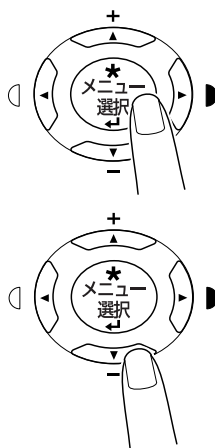
登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。(名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。)

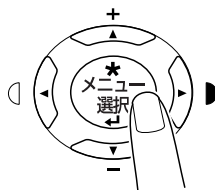
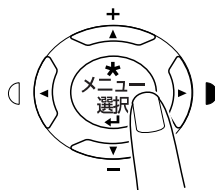
ワンタッチ01
トウロク シマシタ*

ートウロクスル キー ヲ センタクー
(トウロク カンリョウ=キャンセル)

7 続けて別のワンタッチダイアルを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押して、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
登録を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

ワンタッチダイアルを変更、削除する

登録したワンタッチダイアルの情報は修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 修正または削除したいワンタッチダイアルが登録されているキーを押します。

ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!　ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
OK=ｾﾝﾀｸ　ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ

5 キャンセル /C キーを押します。

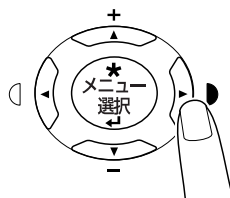
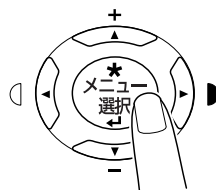
キャンセル/C

グループダイアルが登録されているワンタッチダイアルキーを押すと、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ」というメッセージが画面の右上に表示されます。グループダイアルを削除する場合は、キャンセル /C キーを押します。

グループダイアルを修正する場合は、「グループダイアルを変更、削除する」（p.159）をごらんください。

6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

*ﾍﾝｼｭｳ　　　　ｼｮｳｷｮ
◀, ▶ & ｾﾝﾀｸ

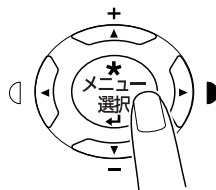
「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

グループダイアルに使われているワンタッチダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

ﾜﾝﾀｯﾁ01
ｼｮｳｷｮ　ｼﾏｼﾀ*

7 名前、メールアドレスを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

編集しようとしたワンタッチダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージ「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾆ ﾎｼﾞ ｼﾏｽｶ」が表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

ﾜﾝﾀｯﾁ01
ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*

-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)

9 続けて別のワンタッチダイアルの情報を変更する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。
または
変更を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

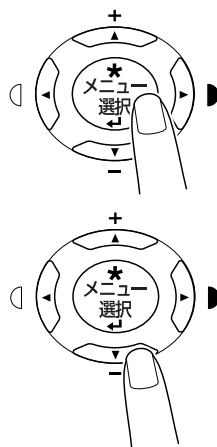
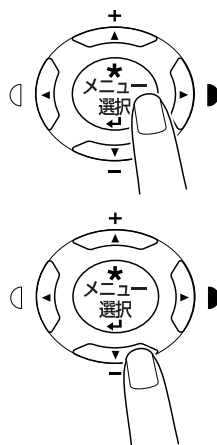
キャンセル/C

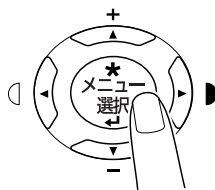
短縮ダイアル

短縮ダイアルを登録する

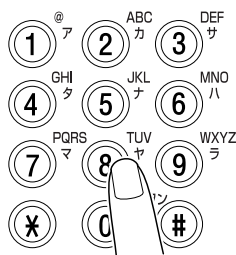
頻繁に使うメールアドレスは、短縮ダイアルに登録します（最大 100 件）。

メール送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、メールアドレスを呼び出します。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

4 テンキーで 3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。（例：011）

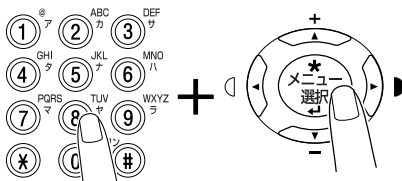
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=_

選択した短縮ダイアル番号にすでにメールアドレスが登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていない番号を押してください。

5 短縮ダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

ﾅﾏｴ=ABC_
OK=ｾﾝﾀｸ [A]

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、短縮ダイアル番号に登録され、短縮ダイアル番号を入力する画面が表示されます。

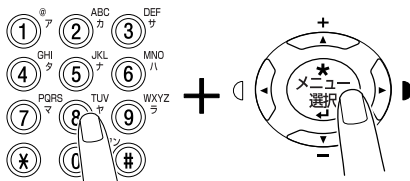
☎=ABC_
OK=ｾﾝﾀｸ [A]

メールアドレスには、50桁まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

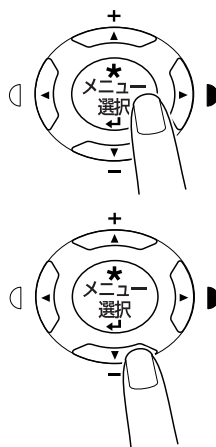
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ003
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*

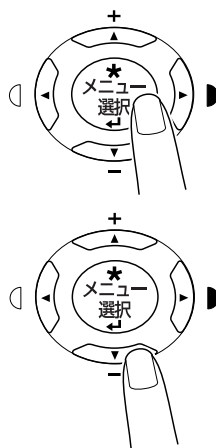
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=_
（ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ）

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

7 続けて別の短縮ダイアルを登録する場合は、短縮ダイアル番号を入力して、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
登録を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

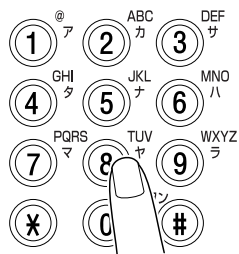
キャンセル/C

短縮ダイアルを変更、削除する

登録した短縮ダイアルの情報は修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```

4 修正または削除したい短縮ダイアル番号を入力します。

```
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
 OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ
```

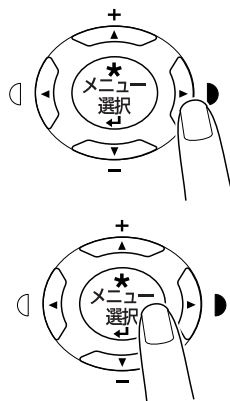
5 キャンセル /C キーを押します。

6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ        ｼｮｳｷｮ
 ◀, ▶  &  ｾﾝﾀｸ
```

「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、短縮ダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

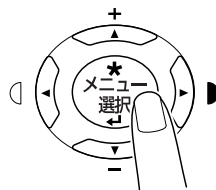
「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、短縮ダイアルに登録された情報が削除され、短縮ダイアル入力画面が表示されます。

グループダイアルに使われている短縮ダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
        ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 名前、メールアドレスを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

編集した短縮ダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
短縮ダイアル入力画面が表示されます。

```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ002
          ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*
```

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=_
 (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

9 続けて別の短縮ダイアルの情報を変更する場合は、短縮ダイアル番号を入力し、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
変更を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

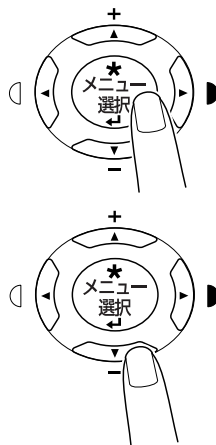
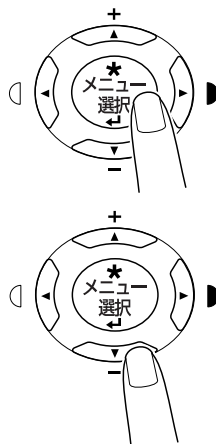
キャンセル/C

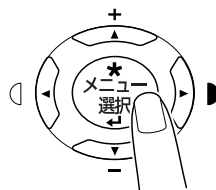
グループダイアル

グループダイアルを登録する

頻繁に使う同報送信のメールアドレスは、短縮ダイアルに登録します。1 つのワンタッチダイアルキーに最大 50 件登録可能です。

メール送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、同報送信のメールアドレスを呼び出します。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを 2 回押します。

3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

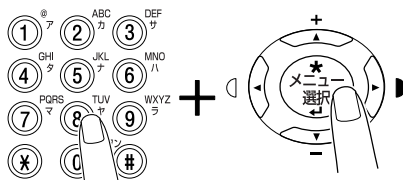
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

4 グループダイアルを登録したいワンタッチダイアルキーを押します。

ｰﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸｰ

選択したワンタッチダイアルキーにすでにメールアドレスが登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

5 グループダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 ワンタッチダイアルキーまたは短縮ダイアル番号を使って、相手先を指定します。

No.001=ABC
OK=ｾﾝﾀｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｽﾀｰﾄ

短縮ダイアル番号を指定する場合は、短縮ダイアルキーを押し、3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。

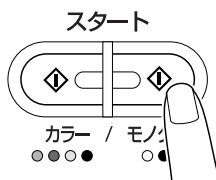
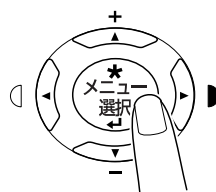
現在選択している相手先をキャンセルしたい場合は、キャンセル /C キーを押します。

7 メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

目的の相手先をすべて指定するまで、手順 6 ～ 7 を繰り返してください。

グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーも指定できます。この場合、指定したワンタッチダイアルに登録されている相手先がすべて追加されます。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されるまで押します。

8 目的の相手先の登録がすべて完了したあと、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

```
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
        ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*
```

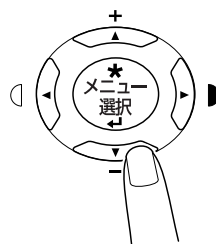
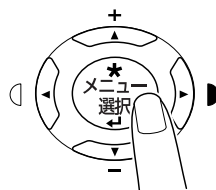
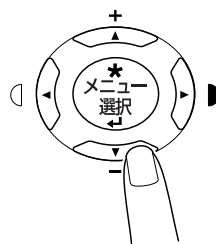
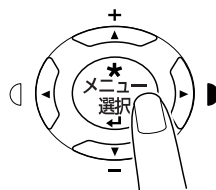
```
-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

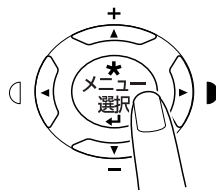
9 別のグループキーを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押し、手順 5 からを繰り返します。
または
登録を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

キャンセル/C

グループダイアルを変更、削除する

登録したグループダイアルの情報を修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを2回押します。

3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

4 修正または削除したいワンタッチダイアルキーを押します。

ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ

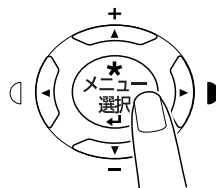
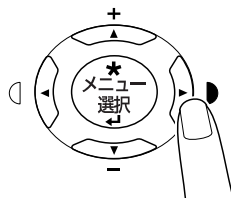
5 キャンセル /C キーを押します。

キャンセル/C

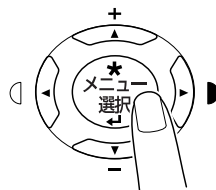
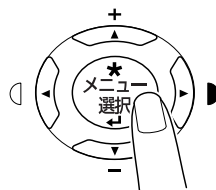
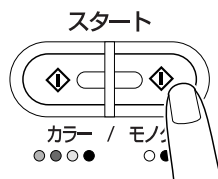
6 ◀キーまたは▶キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ヘンシュウ        ショウキョ
 ◀,▶ & センタク
```

「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、グループダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルキーに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

```
*グ゛ループ゜ ダ゛イアル01
          ショウキョ シマシタ*
```

7 グループ名を変更したい場合は、新しいグループ名を入力して、メニュー選択キーを押します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.259）をごらんください。

8 表示されている相手先を削除するには、キャンセル /C キーを押します。
または
表示されている相手先を保持するには、メニュー選択キーを押します。

9 変更が終了したら、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*

-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)

10 続けて別のグループダイアルの情報を変更する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。
または
変更を終了して、スキャンモード画面に戻る場合は、スキャンモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

消耗品の交換

トナーカートリッジの交換

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本機ではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーが本機や手などにこぼれないように注意してください。

トナーを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアされません。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。トナーカートリッジ製品番号は本体内部のラベルでご確認ください。

トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-001
トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-002
トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-003
大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710588-004
大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-005
大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-006
大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-007

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

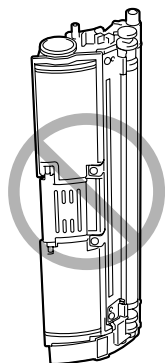
トナーカートリッジは以下のように保管してください。

■ トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。

■ 日光を避け、冷暗所に保管してください。

■ 気温 35°C 以下､湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。

■ 水平な状態で保管してください。
トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

■ 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

ご注意

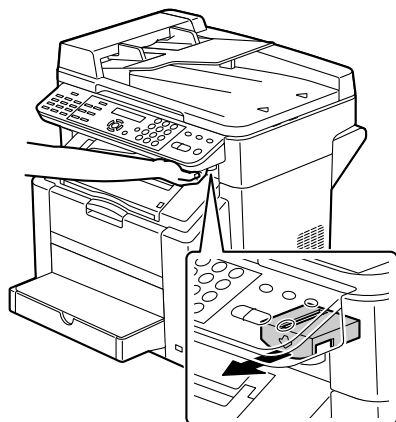
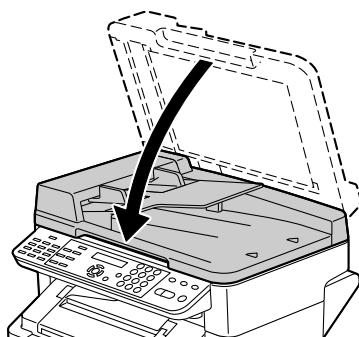
トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

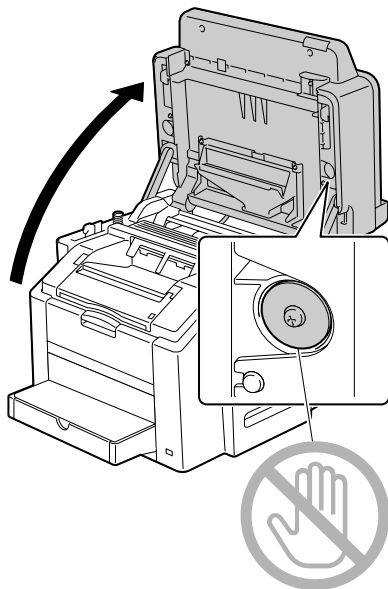
トナーがなくなると、「X ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ」（X はトナーの色を表します）と「X ﾄﾅｰ ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが交互に表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。ここではシアントナーカートリッジを例に説明します。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。

2 トナー交換キーを押します。
メッセージウィンドウに「ｺｳｶﾝ ﾓｰﾄﾞ」と「C ﾄﾅｰ ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が交互に表示され、シアントナーカートリッジが交換位置に移動します。

トナー交換キーを 1 回押すと、シアントナーカートリッジが交換位置に移動します。さらにトナー交換キーを押すたびに、ブラック、イエロー、マゼンタの各トナーカートリッジが交換位置に移動します。

3 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。

スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。

4 スキャナユニットを開きます。

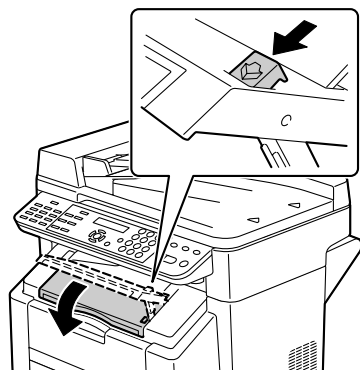
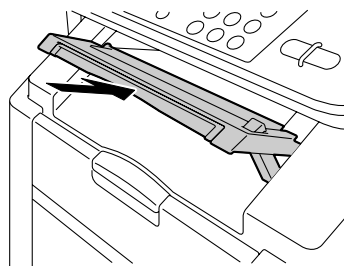
ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

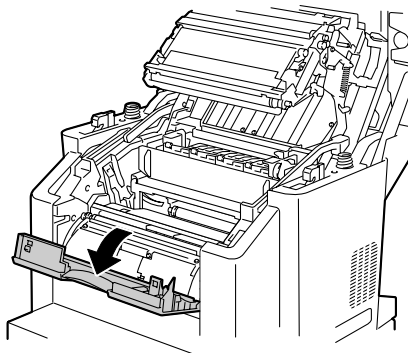
5 レバーを引いてトップカバーを開きます。

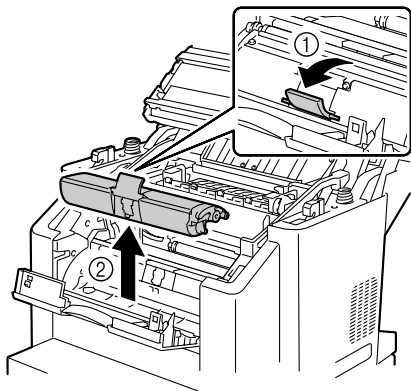
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きにセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。

6 正面カバーを手前に開きます。

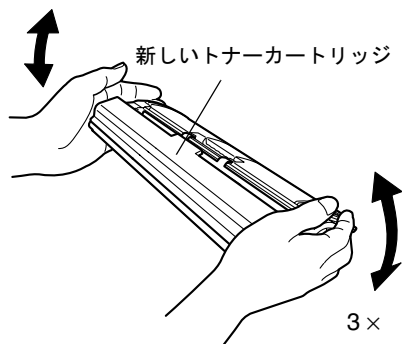
トナーカートリッジの色は、ハンドル部分の色と、ハンドルに刻印された文字（C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー、K：ブラック）で区別できます。

7 トナーカートリッジのハンドルを起こし、上へ持ち上げて取り外します。

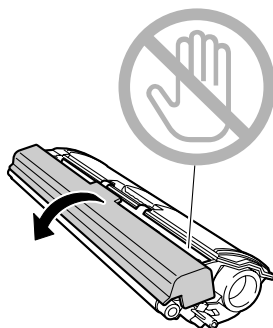
手動でトナーカートリッジホルダーを回転させないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。

ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

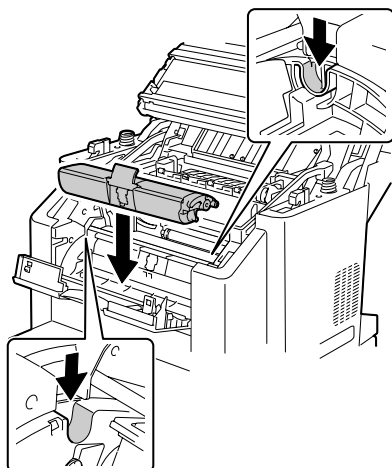
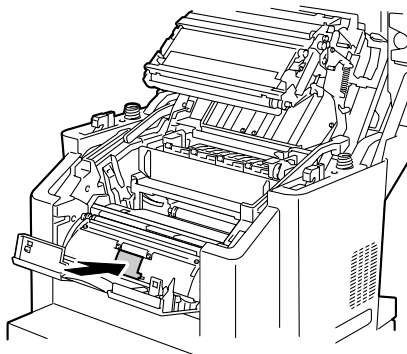
8 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

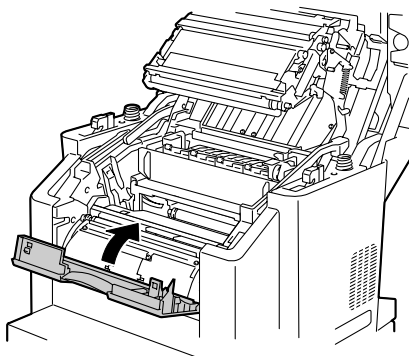
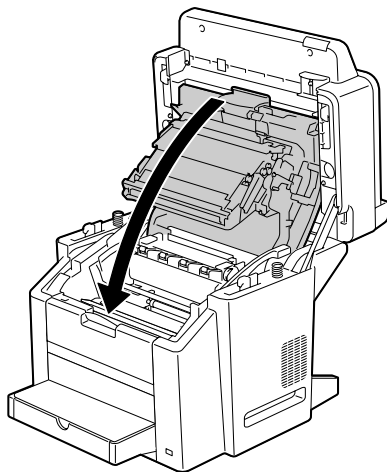
9 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

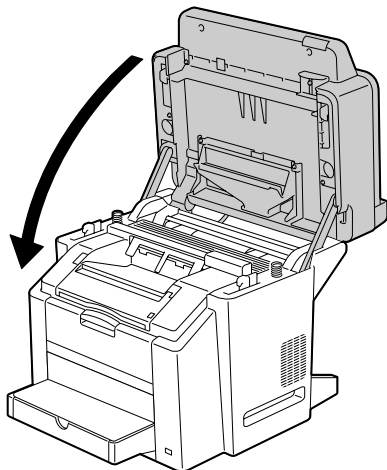
トナーカートリッジを降る前に、トナーローラーカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。

10 トナーカートリッジからトナーローラーカバーを取り外します。

 トナーローラーに手を触れたり傷を付けないでください。印刷品質低下の原因になります。

11 トナーカートリッジを、トナーカートリッジホルダーにセットします。

 トナーカートリッジ両側の軸がホルダーの溝にはまるようにセットしてください。

トナーカートリッジをセットする前に、カートリッジの色とホルダーのラベルの色が合っていることを確認してください。

12 トナーカートリッジのハンドルを倒します。

13 正面カバーを閉じます。

トップカバーを閉じる前に、必ずフロントカバーを閉じてください。

14 トップカバーを閉じます。

15 スキャナユニットを閉じます。

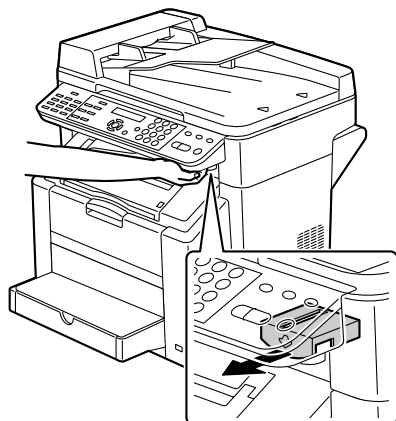
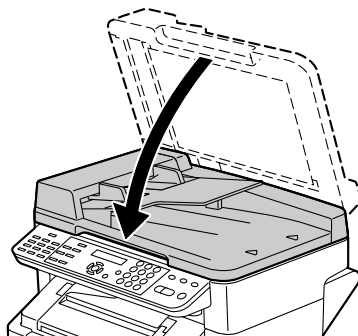
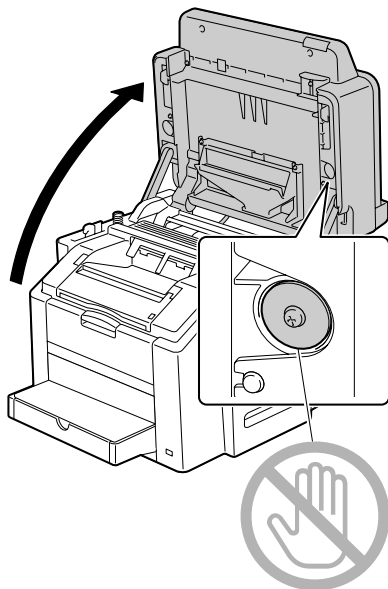
スキャナユニットを閉じると、ブラックトナーカートリッジが自動的に交換位置に移動します。トナー交換キーを押すたびに、他の色のトナーカートリッジが交換位置に移動します。

16 ストップ / リセットキーを押します。
メッセージウィンドウの表示がクリアされて本機がリセットされ、印刷ができる状態になります。

スキャナユニットを閉じてから30秒以上何も操作が行われなかった場合、本機は自動的にリセットされ、印刷ができる状態になります。

トナーカートリッジ交換後、本機はキャリブレーション（2 分間未満）を行います。キャリブレーション中に前面カバーを開けると、キャリブレーションが停止し、前面カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命に達すると、メッセージウィンドウに「ﾄﾞﾗﾑ ﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷ」と「ﾄﾞﾗﾑ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが交互に表示されます。以下の手順に従ってドラムカートリッジを交換してください。

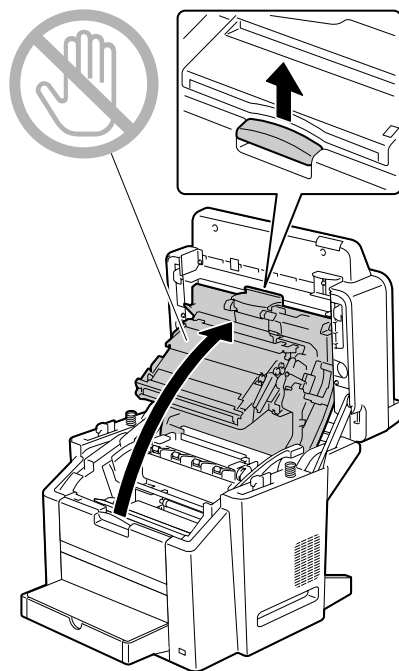
1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。

スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。

2 スキャナユニットを開きます。

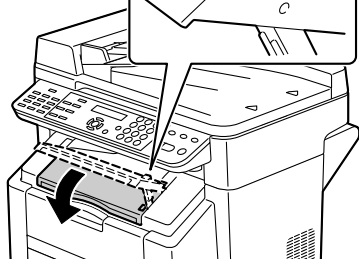
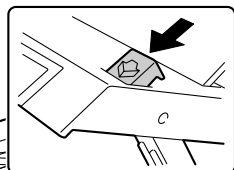
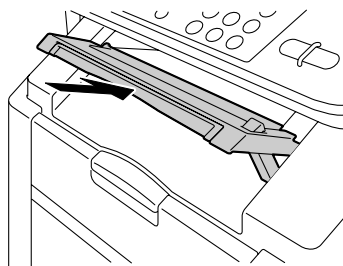
ご注意

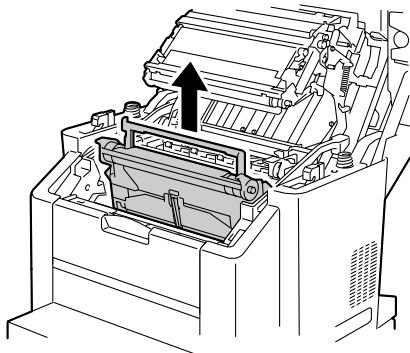
スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

3 レバーを引いてトップカバーを開きます。

ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

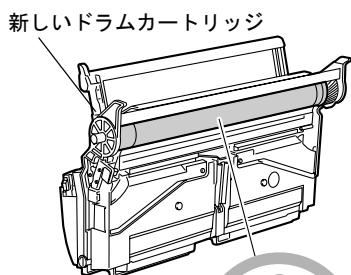
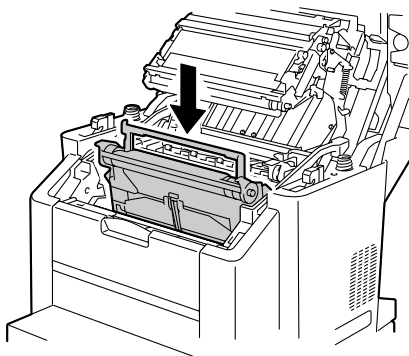
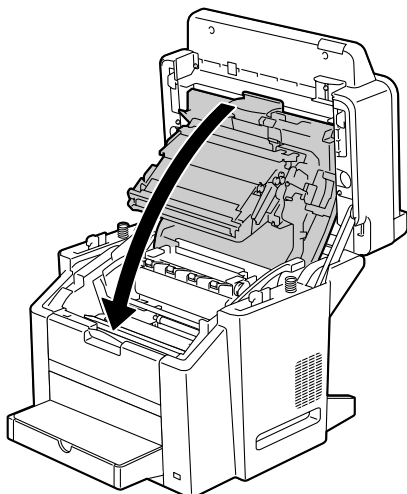
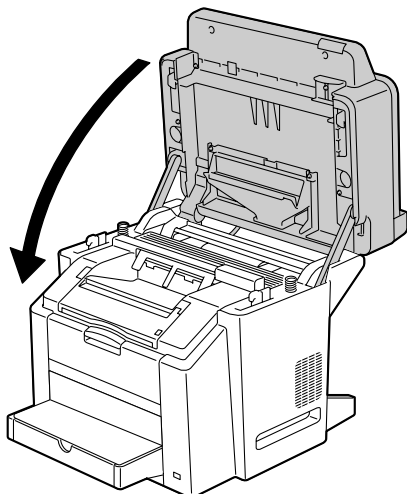
排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きにセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。

4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

ドラムカートリッジは、ハンドル部分を持って引き抜いてください。

ご注意

使用済みドラムカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

5 新しいドラムカートリッジを用意します。

OPC ドラムに手を触れたり傷を付けないでください。印刷品質低下の原因になります。

6 新しいドラムカートリッジをセットします。

7 トップカバーを閉じます。

8 スキャナユニットを閉じます。

トナーカートリッジ交換後、本機はキャリブレーション（2 分間未満）を行います。キャリブレーション中に前面カバーを開けると、キャリブレーションが停止し、前面カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

メンテナンス 9

装置のメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルは装置のドア内部や装置本体の内部にあります。

装置を長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片が装置内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的に装置の清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

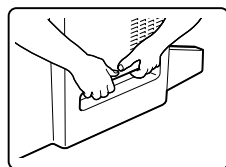
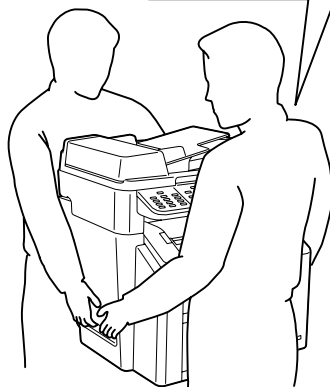
警告

清掃前には、装置の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
装置内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。装置の損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

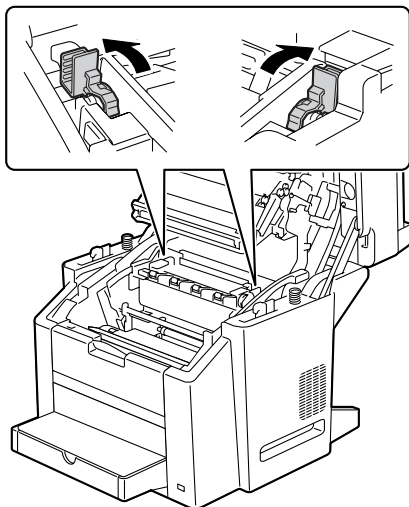
- 装置内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- 装置の上に物を置かないでください。
- 装置の清掃には柔らかい布を使用してください。
- 装置の表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。装置のすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- 装置の清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、装置の目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- 装置の清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- 装置のカバーはゆっくり閉めて下さい。装置に振動を与えないようにしてください。
- 装置を使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、装置の温度が下がるまで待ってください。

- 装置のドアを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中は装置のいずれのドアも開けないでください。
- 用紙を装置の上部にあててそろえないでください。
- 装置に油をさしたり、分解しないでください。
- 装置を傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。装置の故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- 装置を移動するときは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。トナーがこぼれないよう装置を水平にして運んでください。
- 装置を運ぶ時は、必ず図に示す位置を持って運んでください。

オプションのトレイ 2 が装着されている場合は、トレイ 2 の部分を持って運ばないでください。

- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- 装置の電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

■ 装置を２週間以上使用しない（電源を入れない）場合は、定着ユニット解除レバーを奥に倒してください。

装置の清掃

注意

清掃前には装置の電源を切り、電源ケーブルを外してください。

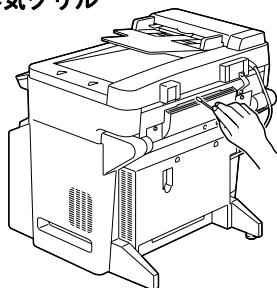
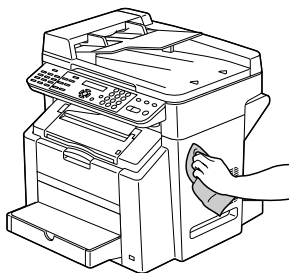
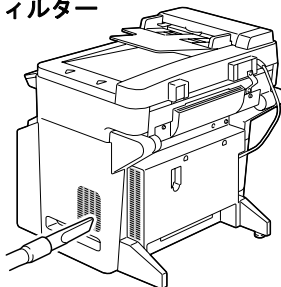
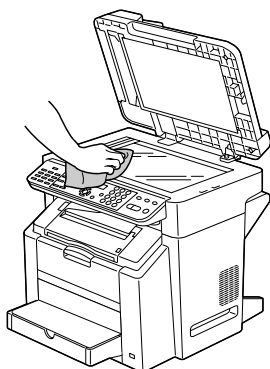
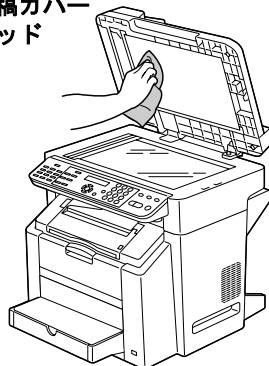
清掃は柔らかく乾いた布で行ってください。

装置外側の清掃

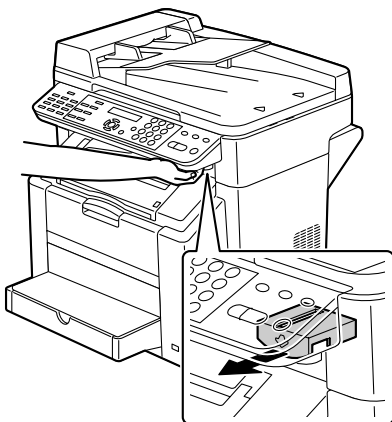
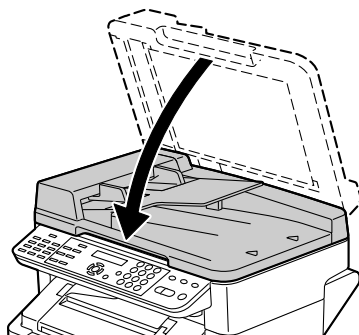
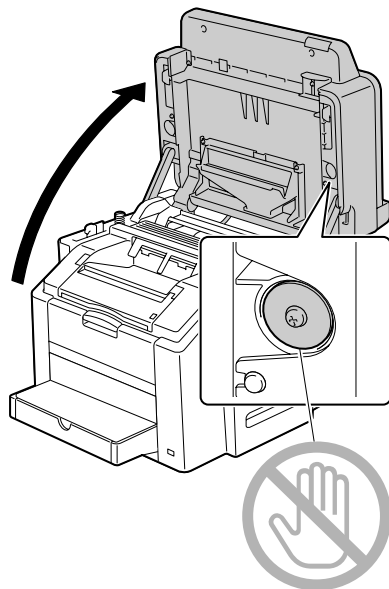
操作パネル

装置の外側

原稿ガラス

排気グリル

フィルター

原稿カバーパッド

装置内部の清掃

給紙ローラーとレーザーレンズの清掃

1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。

スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。

2 スキャナユニットを開きます。

ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

---

3 レバーを引いてトップカバーを開きます。

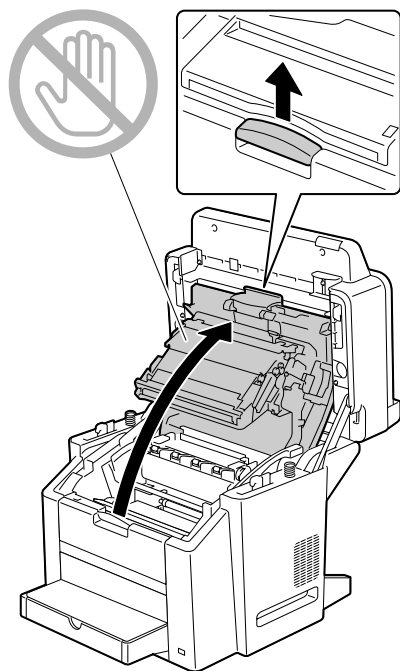
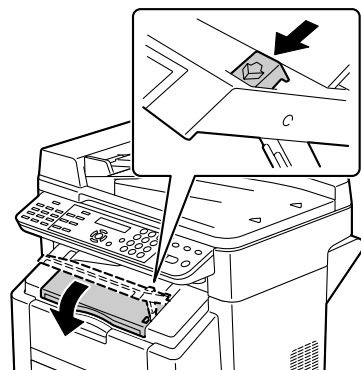
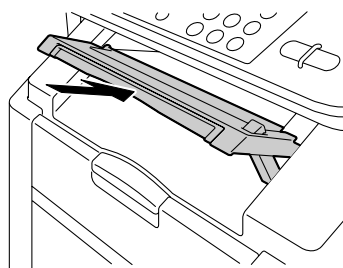
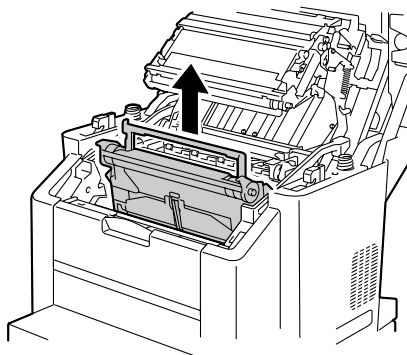
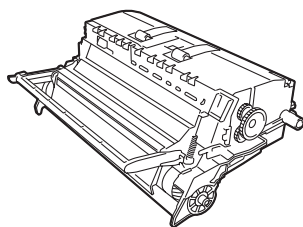
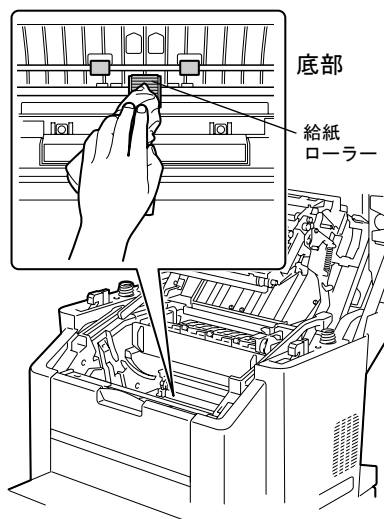
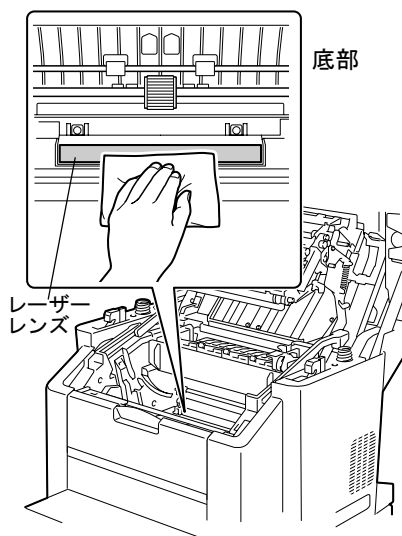
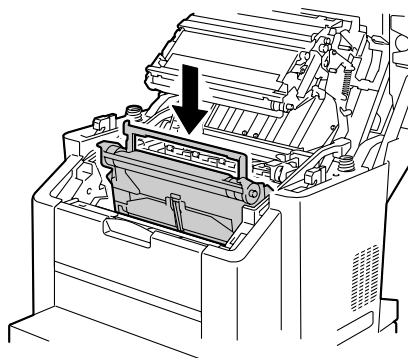
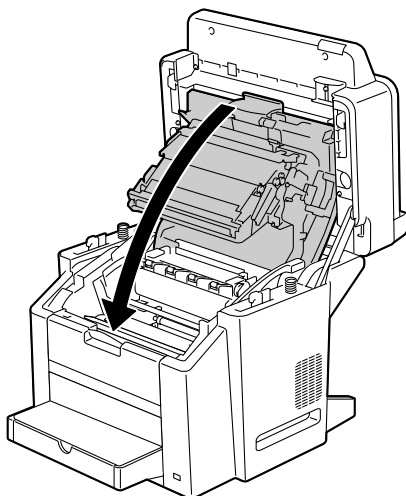
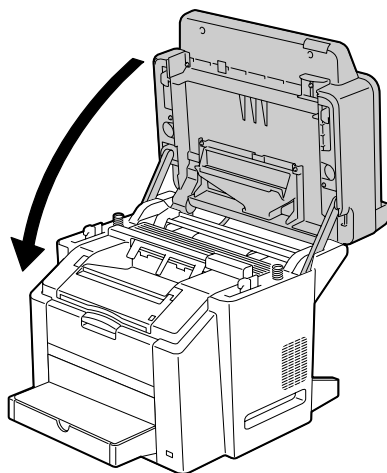
ご注意

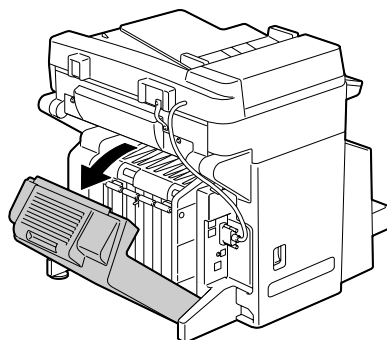
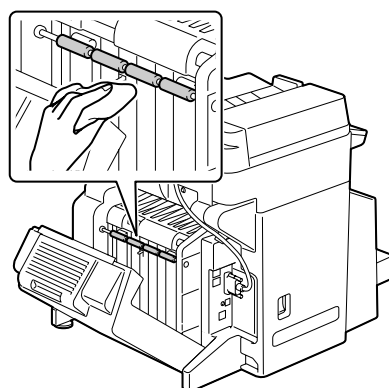
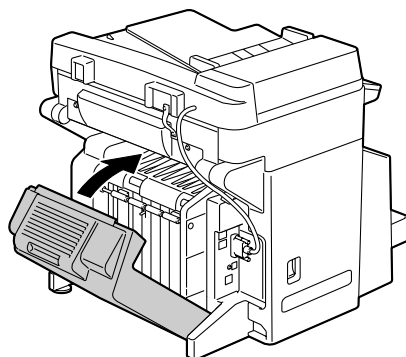
転写ベルトに手を触れないでください。

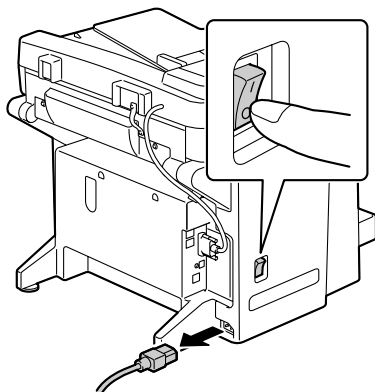
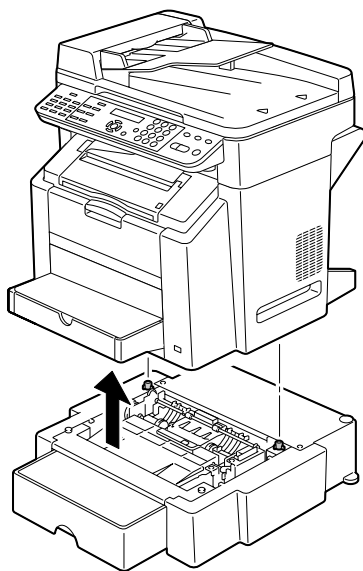
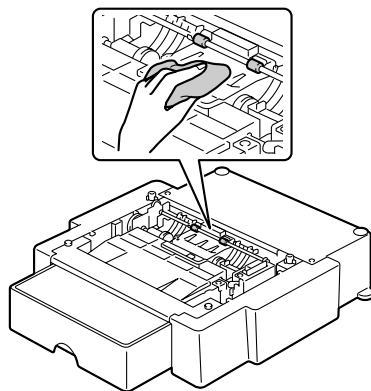
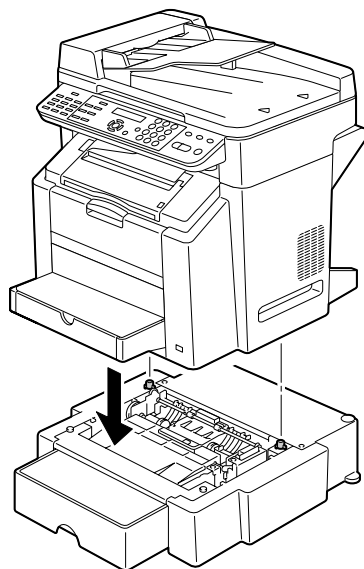
排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

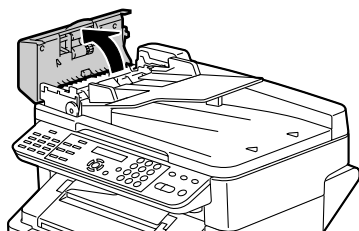
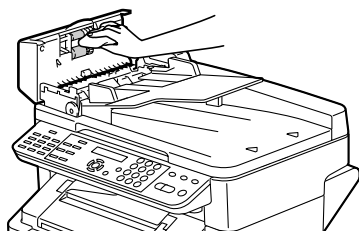
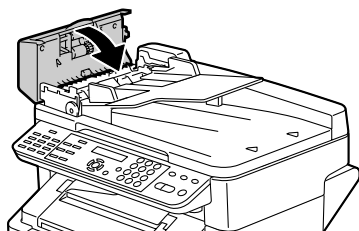
トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。

4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

ご注意

取り外したドラムカートリッジは、汚れていない場所に、右図の向きで水平に置いてください。
取り外したドラムカートリッジは、15 分以上放置しないでください。また、日光などが直接当たる場所には置かないでください。

5 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

6 やわらかい乾いた布でレーザーレンズの汚れを拭き取ります。

7 ドラムカートリッジをセットします。

8 トップカバーを閉じます。

9 スキャナユニットを閉じます。

自動両面ユニットの搬送ローラーの清掃

1 両面カバーを開きます。

2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。

3 両面カバーを閉じます。

トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

1 本機の電源を切り、電源ケーブルを取り外します。

2 本体を垂直に持ち上げ、トレイ 2 を取り外します。

3 やわらかい乾いた布でトレイ 2 の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

4 本体をトレイ 2 に正しくセットします。

ADF の給紙ローラーの清掃

1 ADF カバーを開きます。

2 やわらかい乾いた布で、カバー裏側の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 ADF カバーを閉じます。

10 トラブルシューティング

はじめに

この章では、本機使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙は本機の仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
本機は表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
官製はがきを印刷する場合、排紙トレイは水平位置になっていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、本機の破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

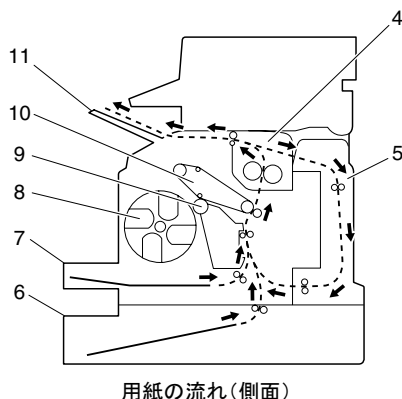
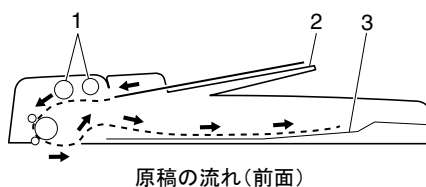
避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 100 枚まで排紙できます。100 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

本機内部での用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1 ADF 給紙ローラー
2 原稿給紙トレイ
3 原稿排出トレイ
4 定着ユニット
5 自動両面ユニット（オプション）
6 トレイ 2（オプション）
7 トレイ 1
8 トナーカートリッジホルダー
9 ドラムカートリッジ
10 転写ベルト
11 排紙トレイ

原稿の流れ（前面）

用紙の流れ（側面）

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片が本機内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、本機内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

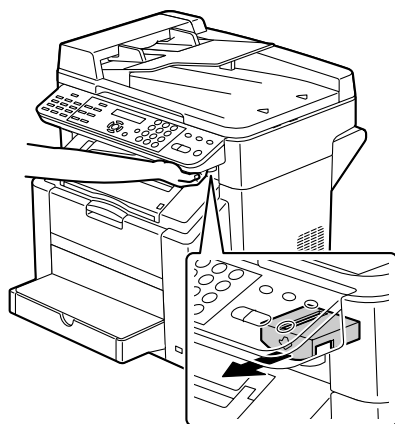
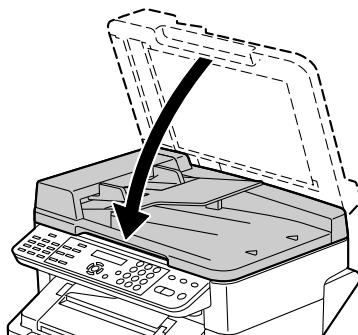
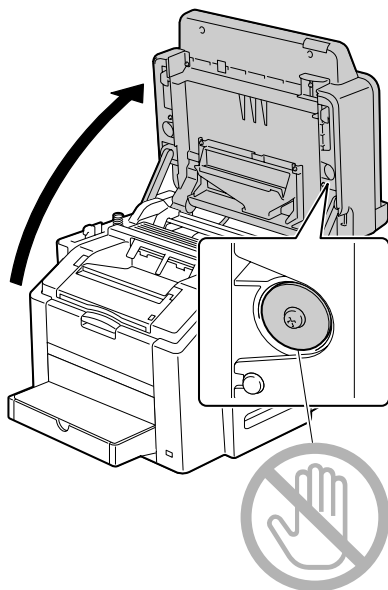
トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、本機のドアの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

紙づまりメッセージ	参照ページ
ｷｭｳｼ ﾐｽ ↕（交互に表示） ﾏｴｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 203
ﾖｳｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ﾏｴｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 203
ﾖｳｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 214
ｹﾞﾝｺｳ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ｷｭｳｼｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 215

装置内部での紙づまり処理

1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。

スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。

2 スキャナユニットを開きます。

ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

3 レバーを引いてトップカバーを開きます。

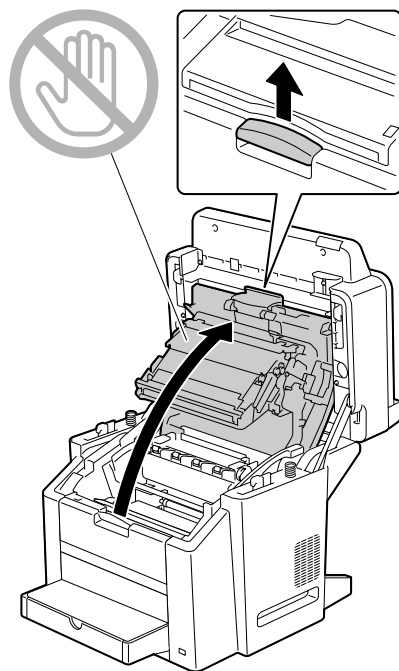
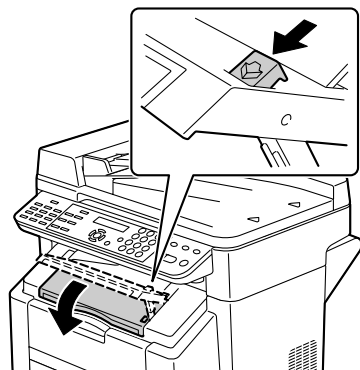
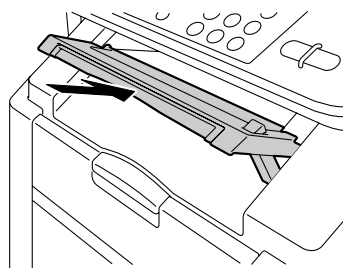
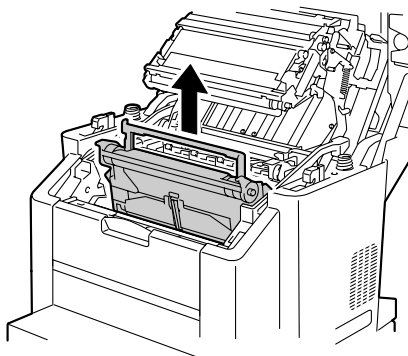
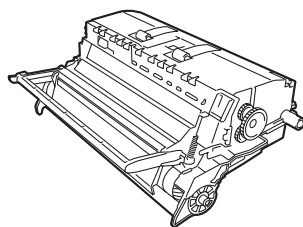
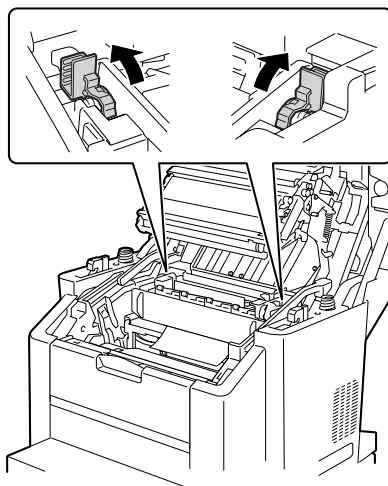
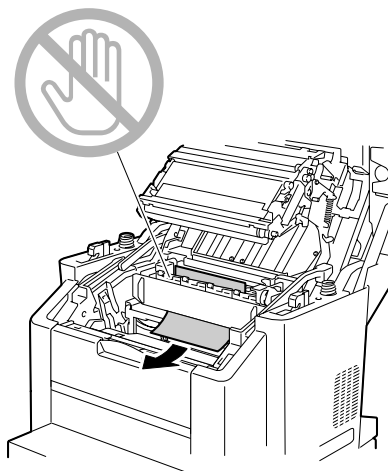
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

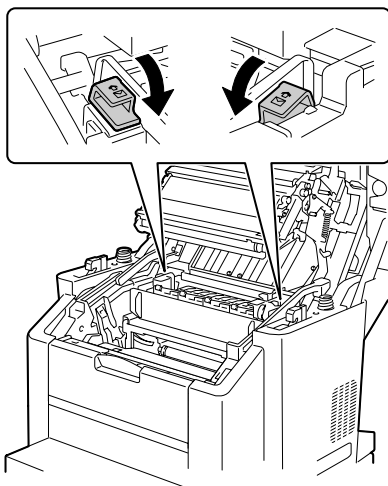
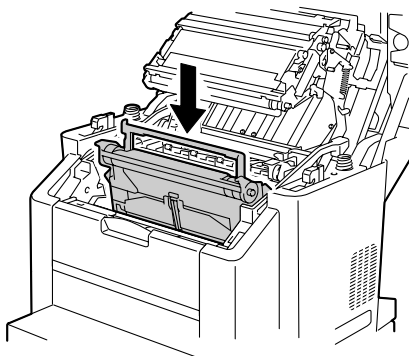
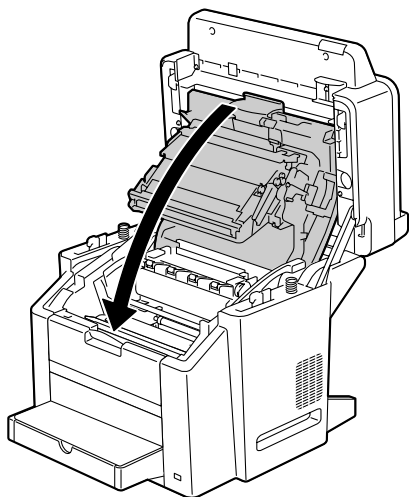
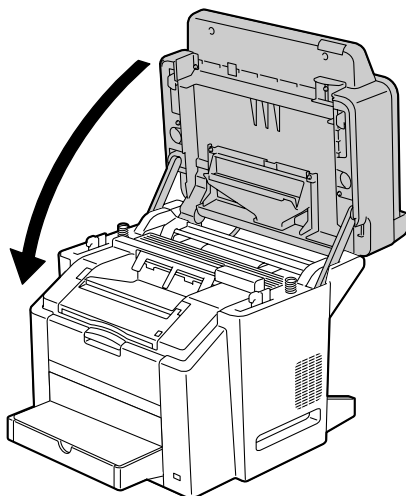
トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。

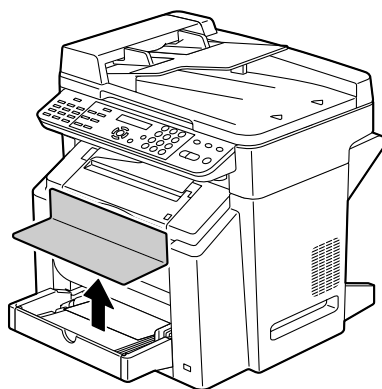
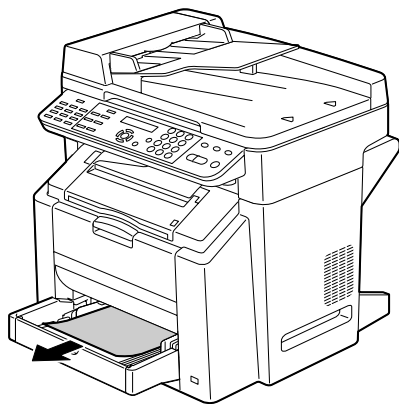
4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

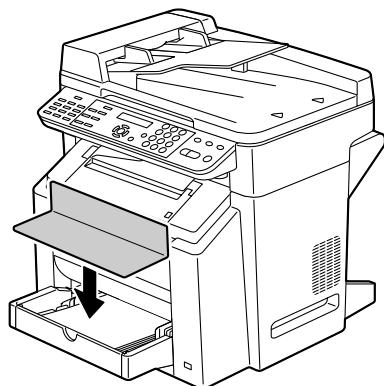
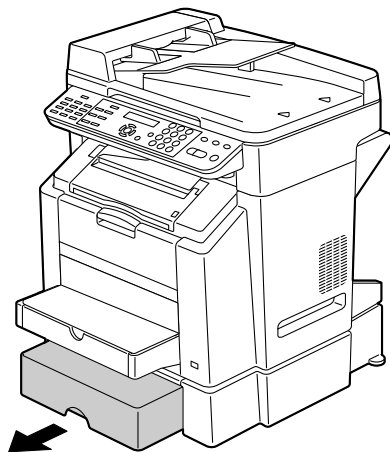
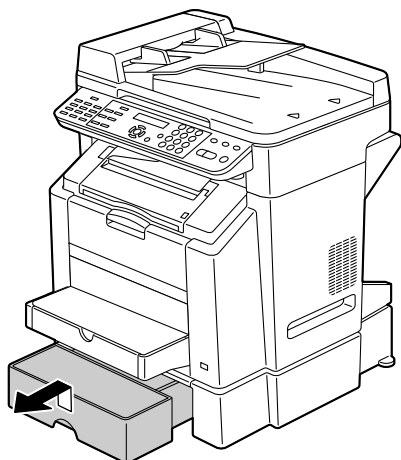
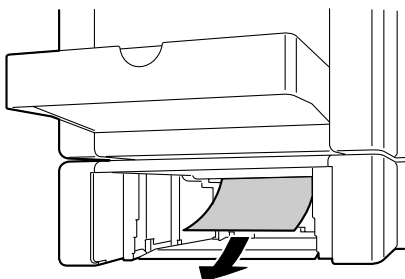
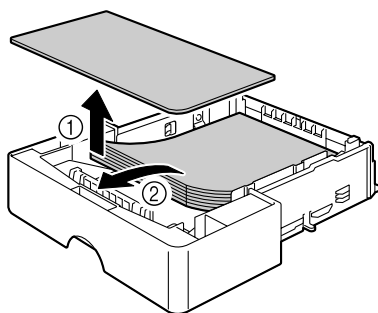
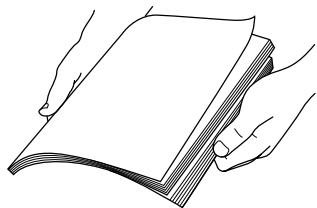
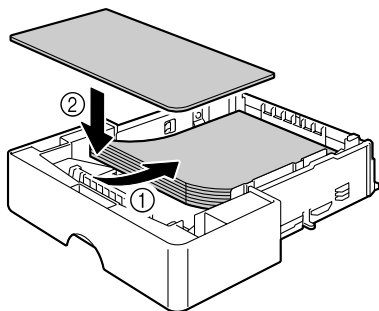
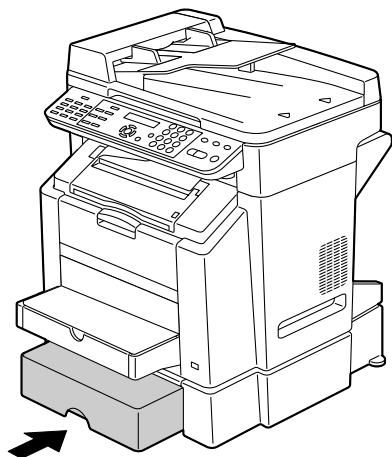
ご注意

取り外したドラムカートリッジは、汚れていない場所に、右図の向きで水平に置いてください。
取り外したドラムカートリッジは、15 分以上放置しないでください。また、日光などが直接当たる場所には置かないでください。

5 左右にある定着ユニット解除レバーを奥に倒します。

6 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

注意

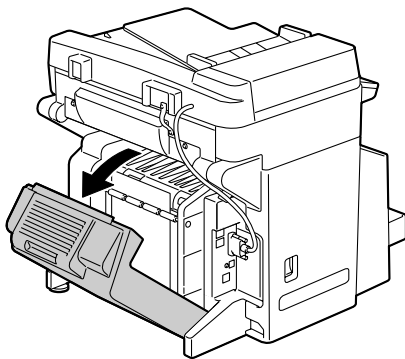
定着ユニット周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたレバー以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

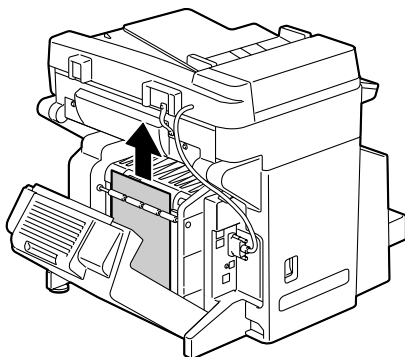
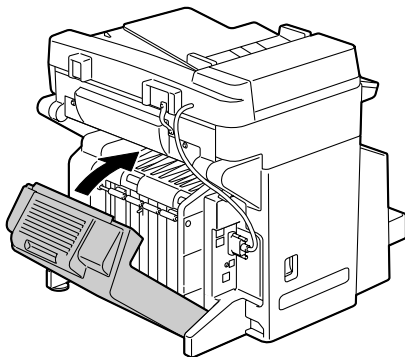
用紙は必ず図に示した向きに引き出してください。

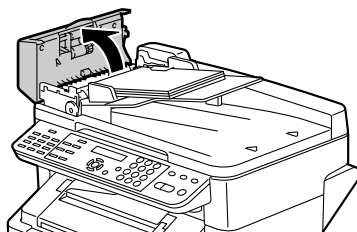
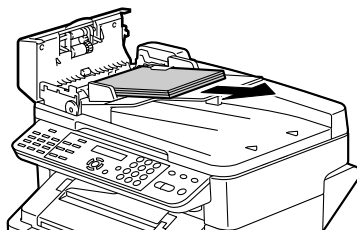
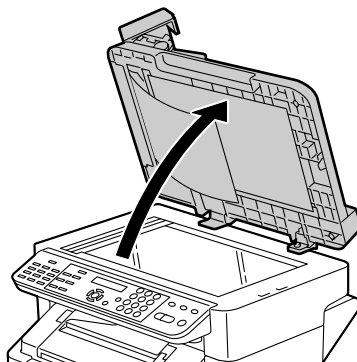
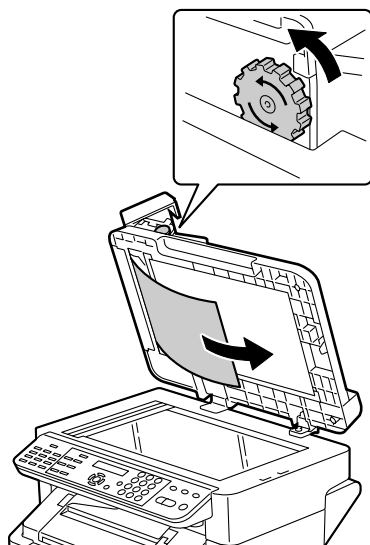
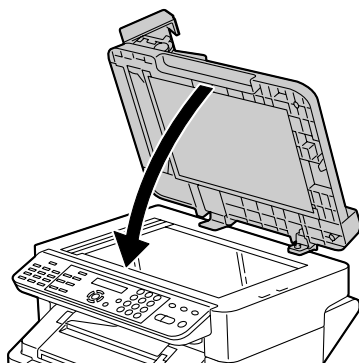
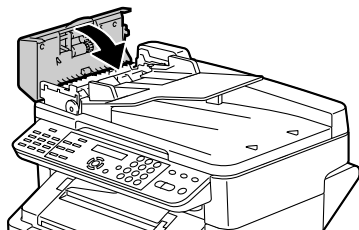
7 左右の定着ユニット解除レバーを元の位置に戻します。

8 ドラムカートリッジをセットします。

9 トップカバーを閉じます。

10 スキャナユニットを閉じます。

トレイ 1/2 での紙づまり処理

1 ダストカバーのふたを取り外します。

2 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

3 ダストカバーのふたを取り付けます。

トレイ 2 を使用中に紙づまりが起こった場合は、手順 4 から操作を始めてください。

4 トレイ 2 を引き出します。

5 トレイ 2 を軽く持ち上げながら、完全に引き抜きます。

6 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

7 トレイ 2 のカバーを取り外し、トレイ内部に残っている用紙を取り出します。

8 取り出した用紙を軽くさばきます。

9 トレイ 2 に用紙をセットし、カバーを取り付けます。

10 トレイ 2 を本機にセットします。

自動両面ユニットでの紙づまり処理

1 両面カバーを開きます。

2 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

用紙は必ず図に示した向きに引き出してください。

3 両面カバーを閉じます。

ADF での紙づまり処理

1 ADF カバーを開きます。

2 残っている原稿を取り除きます。

3 スキャナユニットを開きます。

4 原稿送りダイアルを図の方向に回し、原稿を取り出します。

5 スキャナユニットを閉じます。

6 ADF カバーを閉じます。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙や原稿を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
ADF で紙づまりが起きている	ガイド板の幅が、原稿サイズに合うように調節されていない。	ADF のガイド板を原稿サイズに合うように調節してください。 詳しくは「原稿をセットする」（p.105）をごらんください。
	原稿の枚数が最大積載量を超えている。	最大積載量を超えている原稿を取り除き、ADF の原稿枚数を減らしてセットしなおしてください。 最大積載量については、「原稿について」（p.103）をごらんください。
	対応していない原稿を使用している。	本機が対応する原稿を使用してください。原稿の種類については、「原稿について」（p.103）をごらんください。
紙づまりが起きる	OHP フィルムがトレイで静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1 にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
	OHP フィルムまたはラベル用紙が、トレイ 1 に逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベル用紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「装置内部の清掃」（p.186）をごらんください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
	トレイ 2 に不定形紙、封筒、ラベル用紙、官製はがき、厚紙、光沢紙、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを上側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを右側にしてセットしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのメッセージが消えない	装置内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
	装置をリセットする必要がある。	トップカバーを開閉してリセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	厚紙や封筒、ラベル用紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、60 ～ 90 g/m² の普通紙で両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
2in1 コピーを行うと画像が欠ける	用紙種類が封筒でコピー倍率が 50% 以下になる場合は、50% に設定されます。	▲キーまたは▼キーで縮小率を調整してください。
ADF から 600dpi でスキャンしたら、画像が薄くなり、下地が黒ずんだ。	電源を入れた直後などは、ランプ光量が上がっているため、画像が薄くなり、下地が黒ずむ可能性がある。	画像が薄く、黒ずむ場合は、原稿ガラスからスキャンしてください。また電源を入れ、1 時間半以上ランプを点灯させてから、スキャンしてください。
ADF からコピーまたはスキャンしたとき、用紙や画像の後端（5、6mm）に帯が入る。	ADF 搬送時に何らかの不具合が発生した可能性があります。	コピーで用紙に帯が入る場合は、コピー濃度を 1 ステップ濃くしてください。 スキャニングで画像に帯が入る場合は、原稿ガラスからスキャンしてください。
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	6 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 2490MF リファレンスガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

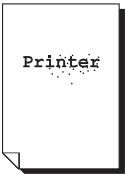
症状	原因	処置のしかた
異常音がする	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	装置内に異物がある。	本機の電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
印刷されないページがある	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2490MF 以外のプリンタドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、magicolor 2490MF のプリンタドライバで書き出したオーバーレイファイルを使用してください。
	［キャンセル］キーが押された。	プリントジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで「用紙種類」が普通紙に設定されているか確認してください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ」と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
	装置が節電中になっている。	本機が節電中の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
設定リストが印刷されない	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
装置の電源が入らない	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数が装置の仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.254）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。

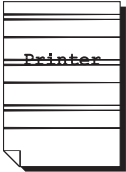
症状	原因	処置のしかた
デジタルカメラからの印刷ができない	デジタルカメラの転送モードがPictBridge に設定されていない。 *PictBridge に対応したデジタルカメラのみサポートしています。*	デジタルカメラの転送モードをPictBridge に設定してください。
	デジタルカメラとプリンタの印刷設定が違うと、印刷できない場合があります。	デジタルカメラから印刷設定を「プリンタの設定に従う」に変更して再度、印刷を行ってください。
	デジタルカメラで設定した用紙サイズと本機で設定した用紙サイズが合っていない。 デジカメにエラーメッセージが表示される。本機にはエラーメッセージが表示されない。	デジタルカメラで設定した用紙サイズと、本機で設定した用紙サイズを同じにしてください。
	レイアウト印刷で本機の用紙サイズを「A4」または「ﾚﾀｰ」以外に設定している。 本機にはエラーメッセージが表示されない。	本機の用紙サイズを「A4」または「ﾚﾀｰ」に設定してください。
トレイ 1 の用紙種類または用紙サイズを変更すると、「ﾌｧｸｽ ﾁｭｳｲ」が表示される	ファクスを受信したとき、設定されている用紙種類または用紙サイズでは印刷できない。 しかし、コピー、印刷はできる。	受信されたファクスを印刷するには、用紙種類を、「ﾌﾂｳｼ」に、用紙サイズを「A4」、「ﾚﾀｰ」または「ﾘｰｶﾞﾙ」に変更してください。

症状	原因	処置のしかた
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで「用紙種類」が、本機にセットされている用紙と合っているか確認してください。
頻繁に装置がリセットされたり電源が切れたりする	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
ページ割付設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	ページ割付設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
	封筒の印刷を、定着ユニット解除レバーが普通紙の位置で行っている。	封筒に印刷する場合、定着ユニット解除レバーを封筒の位置にセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ」が表示される	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.254）をごらんください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。 両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル用紙、官製はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「デバイス オプション設定」タブで両面印刷ユニットが「インストール済み」に設定されているか確認してください。
		プリンタドライバの「レイアウト」タブの「印刷面」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		ページ割付設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
		両面コピーの設定を正しく行ってください。 詳しくは、「両面コピーの設定」（p.118）をごらんください。
		両面プリントユニットが装着されているか確認してください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	コピーの濃度設定が薄すぎる。	コピーの濃度を濃く設定してください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル用紙、官製はがき、厚紙、コート紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙種類」を指定してください。
	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
印刷が濃い	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっている	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。 詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.105）をごらんください。
	コピーの濃度設定が濃すぎる。	コピーの濃度を薄く設定してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ」または「X ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トップカバーがしっかり閉まっていない。	トップカバーをしっかり閉じてください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない	ドラムカートリッジを取り出し、セットし直してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける Printer Printer Printer Printer	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	原稿カバーパッドが汚れている。	原稿カバーパッドを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」(p.185) をごらんください
	原稿ガラスが汚れている。	原稿ガラスを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」(p.185) をごらんください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	1つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は左右の定着ユニット解除レバーを必ず普通紙側に戻してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
しみやカスの汚れがある	1つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は左右の定着ユニット解除レバーを必ず普通紙側に戻してください。

症状	原因	処置のしかた
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.70）をごらんください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は定着ユニットのレバーを必ず普通紙側に戻してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル用紙、官製はがき、厚紙、コート紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙種類」を指定してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	電源が装置の仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際に装置にセットされている用紙が合っていない。	本機に正しい用紙をセットしてください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	装置が水平に置かれていない。	装置を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
横方向に線や帯が現れる	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
ラインアートがカラーで印刷されない	カラーマッチングをオフにしていない状態で、ラインアートを 2400 × 600dpi で印刷している。	プリンタドライバの「画像品質」タブで、カラーマッチングをオフに設定する。
		解像度を 1200 × 600 または 600 × 600dpi に変更する。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。本機の情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

ステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ｼﾞｮﾌﾞ ｦ ｷｬﾝｾﾙｼﾏｼﾀ	プリントジョブがキャンセルされています。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電中になり動作していない間は、消費電力が少なくなります。	
＊ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ!＊	本機は次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 本機の設定を変更し再起動した後 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、本機の印刷品質を最適に保つために行われます。	
	ウォームアップ中です。	

エラーメッセージ

ファクスのエラーメッセージについては、「magicolor 2490MF ファクスユーザーズガイド」（Drivers and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

メッセージ	意味	処置のしかた
: ﾖｳｼﾅｼ	トレイ 1 またはトレイ 2 に用紙がありません。	用紙を指定したトレイに入れて下さい。
ﾓｼﾞ　　x1.00　　1 ◖[A]◗ #XXX ﾌｧｸｽ ﾁｭｳｲ	コピーモードで操作中にファクスの通信エラーが起こりました。	ファクスキーを押して、エラーの状態を確認してください。
＊ｾﾂｿﾞｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ＊ XXX ｻｰﾊﾞ	スキャンしてデータを送信する時に、指定したサーバに接続できません。	「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ」と「ﾒｰﾙｾｯﾃｲ」を確認し、再度送信してください。
＊IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾃﾞｷﾏｾﾝ＊ SMTP ｻｰﾊﾞ	DNS サーバから SMTP サーバの IP アドレスを取得できません。	「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ」と「ﾒｰﾙｾｯﾃｲ」を確認し、再度送信してください。
＊ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ＊ SMTP ｻｰﾊﾞ	スキャンしたデータを送信中に、サーバとの接続が中断されました。	「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ」と「ﾒｰﾙｾｯﾃｲ」を確認し、再度送信してください。
＊ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ＊ SMTP ｻｰﾊﾞ	サーバとの接続が切断されました。	「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ」と「ﾒｰﾙｾｯﾃｲ」を確認し、再度送信してください。
ｷｭｳｼｶﾊﾞｰ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ｷｭｳｼｶﾊﾞｰ ｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF カバーが開いています。	ADF カバーを閉じてください。
ｹﾞﾝｺｳｵｻｴ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ｹﾞﾝｺｳｵｻｴ ｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF に原稿がセットされていますが、ADF が開いています。	ADF を閉じてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾞﾗﾑ ↕（交互に表示） ｵﾜﾘ	ドラムカートリッジが寿命になりました。	ドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ	ドラムカートリッジが寿命に近づいています。	新しいドラムカートリッジを用意してください。
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶﾞ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾃﾞｽ	ドラムカートリッジを装着されていません。	ドラムカートリッジを装着してください。
ﾄﾞﾗﾑ ﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ↕（交互に表示） ﾄﾞﾗﾑ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジが寿命です。	ドラムカートリッジを交換してください。 詳しくは「ドラムカートリッジの交換」（p.175）をごらんください。
ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰ ｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	両面カバーが開いています。	両面カバーを閉じてください。
ﾌｧｲﾙ ﾌﾙ ↕（交互に表示） ﾅﾆｶ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	スキャナ中にメモリファイルの容量がいっぱいになりました。	本機の電源をオフにして、数秒後電源をオンにしてください。 データ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度スキャンしてください。
ﾏｴｶﾊﾞｰ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ﾏｴｶﾊﾞｰ ｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットを閉じてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
＊ｼﾞｮﾌﾞ ｦ ｷｬﾝｾﾙｼﾏｼﾀ＊	原稿ガラスでスキャンしている時に、最初の原稿の読み込みが完了してから 1 分間以上、原稿の読込み、またはデータ送信が行われなかった場合は、スキャンしたジョブは自動的にキャンセルされます。	本機の電源をオフにして、数秒後電源をオンにしてください。 複数ページをスキャンするとき（例えば、本など）、最初のページをスキャンしたあと、1 分以内に次のページをスキャンしてください。
ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ（XX）	ID カードコピーが設定されていますが、トレイに A4、レターまたはリーガル以外のサイズの用紙がセットされています。	A4、レターまたはリーガルサイズの用紙をセットしてください。 ID カードコピーは A4、レターまたはリーガル以外の用紙サイズでは使用できません。
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ ↕（交互に表示） ﾀﾀﾞｼｲ ﾖｳｼ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙種類が OHP フィルムに設定されていますが、OHP フィルム以外の用紙がトレイ 1 にセットされています。	トレイ 1 に正しい用紙をセットしてください。
	用紙種類が OHP フィルム以外に設定されていますが、OHP フィルムがトレイ 1 にセットされています。	
ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ ﾃﾞｽ ↕（交互に表示） ﾅﾆｶ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	本機が、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	本機の電源を切り、数秒後に電源を入れてください。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾘｮｳﾒﾝｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｾﾝ	両面コピーが設定されていますが、両面コピーに対応した用紙がセットされていません。	両面コピーが可能な用紙をセットしてください。両面コピーが可能は用紙種類は、普通紙のみです。
＊ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ＊	ネットワークの設定が完了していません。	スキャンしたデータをメールで送信する場合は、あらかじめ「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」でネットワークに関する設定を行ってください。
＊ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ ﾃﾞﾊ ｱﾘﾏｾﾝ＊	ワンタッチダイアルキーまたは短縮ダイアルにメールアドレスが登録されていません。 （グループダイアルにファクス番号、E メールアドレスが登録されている場合に表示されます。）	ワンタッチダイアルキーまたは、短縮ダイアルを使用してスキャンしたデータを送信する場合は、ワンタッチダイアルキーまたは、短縮ダイアルにメールアドレスを登録してください。
＊ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ＊	ワンタッチダイアルキーまたは短縮ダイアルにメールアドレスが登録されていません。	
ｹﾞﾝｺｳ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ｷｭｳｼｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾊｲｼﾄﾚｲ ｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ↕（交互に表示） ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	排紙トレイの用紙がいっぱいになっています。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ↕（交互に表示） ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ（XX）	トレイ 1 またはトレイ 2 の用紙がなくなりました。	指定されたトレイに用紙をセットしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾖｳｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	自動両面ユニット部で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾖｳｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ↕（交互に表示） ﾏｴｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	転写ローラー部で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ｷｭｳｼ ﾐｽ ↕（交互に表示） ﾏｴｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイの給紙部で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ｴﾗｰ ↕（交互に表示） ﾖｳｼ ｦ ｶｸﾆﾝ（XX）	用紙トレイにセットされた用紙のサイズが正しくない。	トレイに正しい用紙をセットしてください。
ｹﾞﾝｺｳ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	ID カードコピーが設定されていますが、ADF に原稿がセットされています。	ADF の原稿を取り除いてください。ID カードコピーは原稿ガラスでのみ使用できます。
ｽｷｬﾅﾕﾆｯﾄ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ｽｷｬﾅﾕﾆｯﾄ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットを閉じてください。
＊ｻｰﾊﾞ ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ＊ SMTP ｻｰﾊﾞ	SMTP サーバのメモリがいっぱいです。	ネットワーク管理者に連絡し、ディスクの空きスペースを確保してください。
ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	2in1 コピー、またはソートが設定されていますが、ADF に原稿がセットされていません。	ADF に原稿をセットしてください。2in1 コピー、ソートは ADF でのみ使用できます。

メッセージ	意味	処置のしかた
X ﾄﾅｰ （交互に表示） ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。 （メッセージは「ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ」の「ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ」で、「ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）」「ｵﾌ」を選択すると表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換」（p.164）を参照してください。
X ﾄﾅｰ （交互に表示） ﾁｶﾞｲﾏｽ	X トナーカートリッジが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。詳細については「トナーカートリッジの交換」（p.164）を参照してください。
X ﾄﾅｰ （交互に表示） ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ	X トナーカートリッジが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4/ レターサイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
X ﾄﾅｰ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾃﾞｽ	X トナーカートリッジが装着されていません。	X トナーカートリッジを装着してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
X ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ ⇕（交互に表示） X ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。 （メッセージは「ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ」の「ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ」で、「ｵﾝ」を選択すると表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換」（p.164）を参照してください。
ﾄﾅｰ ﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ⇕（交互に表示） X ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換」（p.164）を参照してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｴﾗｰ ﾏｼﾝ ﾄﾗﾌﾞﾙ ⇕（交互に表示） ｻｰﾋﾞｽﾏﾝ ﾆ ﾚﾝﾗｸ （XX）	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

11 オプションの取り付け

はじめに

ご注意

本機は、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

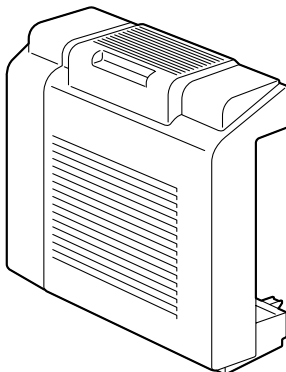
オプション名	説明
自動両面ユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。
トレイ 2	500 枚給紙トレイ

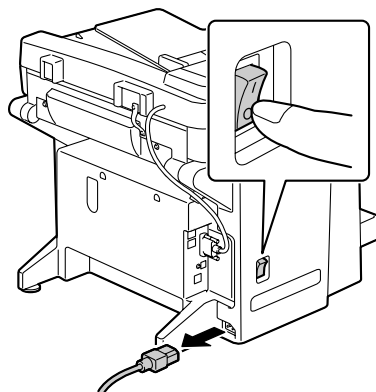
ご注意

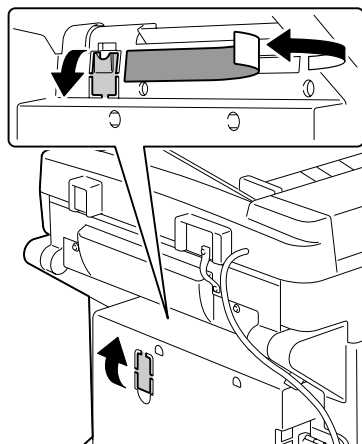
オプションを取り付ける際は、必ず本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

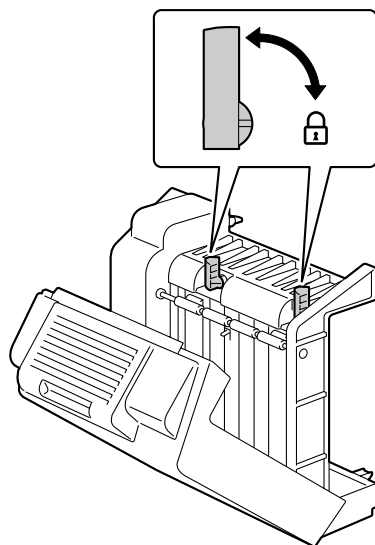
オプションについて詳しくは、弊社ホームページにてご確認ください。

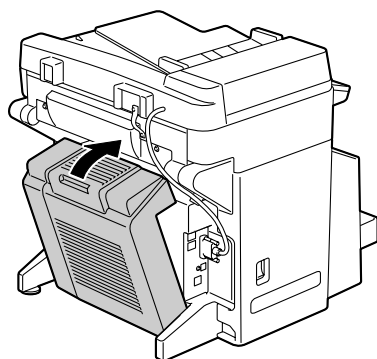
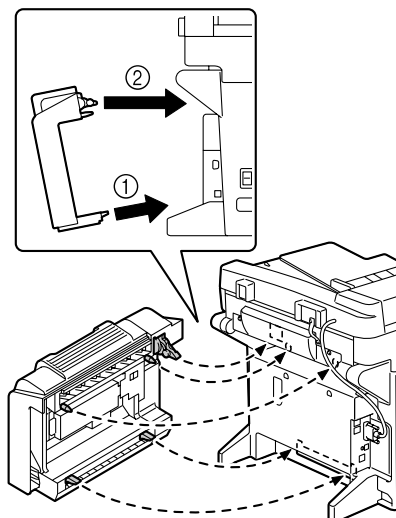
自動両面ユニットの取り付け

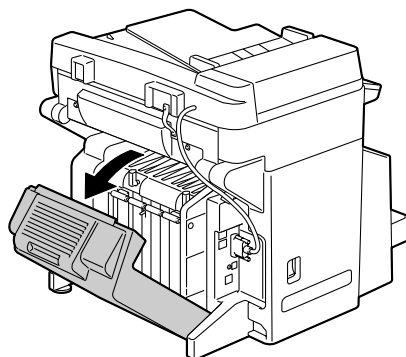
自動両面ユニットを装着すると、両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.98）をごらんください。

自動両面ユニットの取り付け

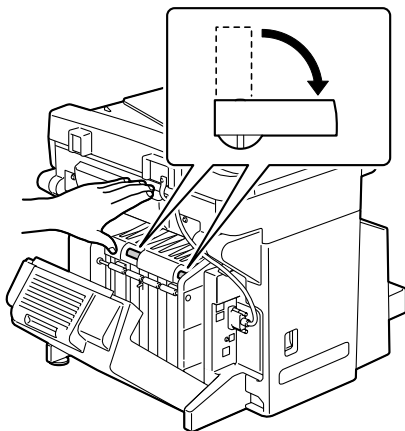
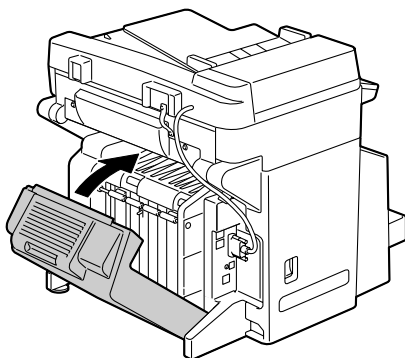
1 本機の電源を切り、電源ケーブルを取り外します。

2 背面についているカバー（2 箇所）を取り外します。

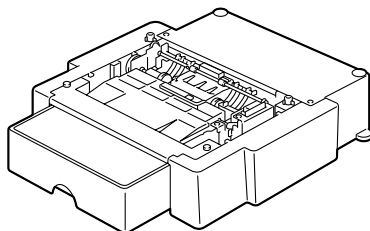
テープも取り外してください。

3 自動両面ユニットを用意します。

取り付ける前に両面カバーを開き、2 箇所のノブが垂直の位置になっていることを確認してください。確認後、カバーを閉じてください。

4 図のように、自動両面ユニットの爪を本体の取り付け用孔に差し込んで、自動両面ユニットを取り付けます。

先にユニット下部の 2 箇所の爪を差し込み、次に上部の爪を差し込んでください。

5 両面カバーを開きます。

自動両面ユニットは、確実に固定されるまで両手で支えてください。

6 自動両面ユニットを本体に押しつけて、2 箇所のノブを水平の位置まで回し、自動両面ユニットを本体に固定します。

ノブが 2 箇所とも確実に固定されていることを確認してください。

7 両面カバーを閉じます。

トレイ 2 の取り付け

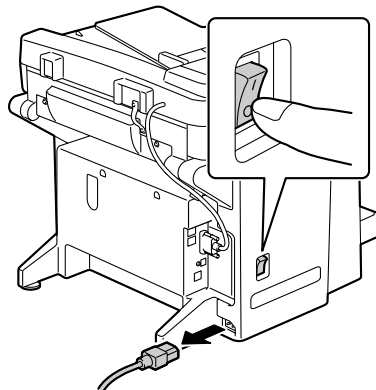
給紙ユニット（トレイ 2）を取り付けることができます。トレイ 2 には A4/レターサイズの用紙を 500 枚までセットできます。

トレイ 2 の取り付けかた

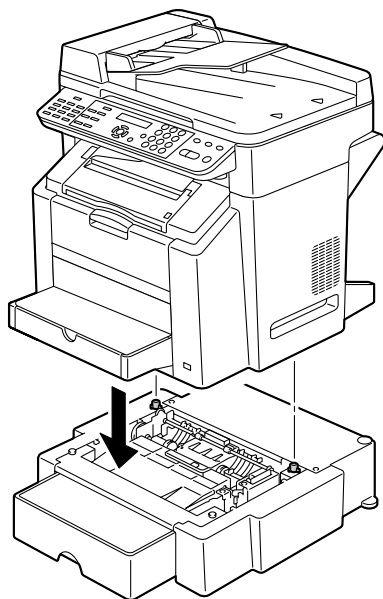
ご注意

本体には消耗品が取り付けられているため、本体を動かすときは、トナーがこぼれないよう本体を水平にして運んでください。

ご注意

トレイ 2 の取り付けは、なるべく本体をセットアップする前に行ってください。用紙、消耗品などが先にセットアップされると、本体は重くなり、トレイ 2 の取り付けがむずかしくなります。

1 本機の電源を切り、全てのケーブルを取り外します。

1 本機を 2 人で持ち、トレイ 2 の位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

トレイ 2 を水平な場所に置いてから、本機をセットしてください。

ご注意

本機は消耗品を含めて約 33 kgの重量があります。本機を移動する場合は、必ず適切な人数で行ってください。

2 プリンタドライバでトレイ 2 を正しく設定します。

プリンタドライバの設定方法については、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」(p.23) をごらんください。

付録 A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ（AIO）
印刷方式	半導体レーザー＋回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	2400 dpi × 600 dpi, 1200 dpi × 600 dpi, 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ： 13.0 秒（普通紙で A4/ レターの場合） フルカラー： 22.0 秒（普通紙で A4/ レターの場合）
ファーストコピー時間（普通紙）	片面 モノクロ： 23.0 秒（普通紙で A4/ レターの場合） 600 dpi × 300 dpi フルカラー： 52.0 秒（普通紙で A4/ レターの場合） 600 dpi × 300 dpi
プリント / コピー速度（普通紙）	片面 モノクロ： 20.0 枚／分（普通紙で A4/ レターの場合） フルカラー： 5.0 枚／分（普通紙で A4/ レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 45 秒
用紙サイズ	トレイ 1（手差しトレイ） 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm トレイ 2（オプション） A4/ レター

用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • リサイクル（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（91 ～ 163 g/m^2） • 官製はがき • レターヘッド • ラベル用紙 • 光沢紙
給紙容量	トレイ 1（手差しトレイ） 普通紙、リサイクル：200 枚 封筒：10 枚 ラベル用紙、官製はがき、厚紙、OHP フィルム、レターヘッド、光沢紙：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、リサイクル：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力 : 1100 W 節電モード時：28 W 以下 電源オフ時：0 W
消費電流	13.0 A 以下
ノイズレベル	印刷時：52 dB 以下 57 dB 以下（ADF 使用時） スタンバイ時：39 dB 以下
外形寸法	高さ：531 mm 幅：528 mm 奥行：475 mm（トレイ 1 を閉めている時）

質量	プリンタ本体：約 33.0 kg 製品に付属のトナーカートリッジ： 0.55 kg（Y、M、C） 製品に付属のトナーカートリッジ： 0.65 kg（K） 交換用トナーカートリッジ 0.60 kg （Y、M、C） 交換用カートリッジ（大容量）: 0.70 kg（Y、M、C、K）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T イーサネット
メモリ	128 MB SDRAM（Main Board）、16 MB SDRAM（NIC Board）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ : 約 1,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ : 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）: 約 4,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
ドラムカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で､A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

定期交換部品	平均の寿命の目安
定着ユニット	約 120,000 ページ
転写ベルト	約 135,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 33,700 ページ（カラー連続印刷） 約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 22,500 ページ（カラー間欠印刷）
転写ローラー （転写ベルトに同梱）	約 120,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1]	[1] *	[A] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
*	*		
#	#		+

* ファクス番号入力の場合に適用されます。ファクス番号は［ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ］-［ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳ］で表示されます。

アドレス入力時

テンキー	[1]	[A]
1	1	.@_-1
2	2	ABC2abc
3	3	DEF3def
4	4	GHI4ghi
5	5	JKL5jkl
6	6	MNO6mno
7	7	PQRS7pqrs
8	8	TUV8tuv
9	9	WXYZ9wxyz
0	0	(space)0
＊		
#	#	+&/*=!?()%[]^`´{}|$

その他

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>[1]</th><th>[A]</th><th>[ア]</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>.,'?!"1-()@/:;_</td><td>ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>ABC2abc</td><td>ｶｷｸｹｺ</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>DEF3def</td><td>ｻｼｽｾｿ</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>GHI4ghi</td><td>ﾀﾁﾂﾃﾄｯ</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>JKL5jkl</td><td>ﾅﾆﾇﾈﾉ</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>MNO6mno</td><td>ﾊﾋﾌﾍﾎ</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>PQRS7pqrs</td><td>ﾏﾐﾑﾒﾓ</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>TUV8tuv</td><td>ﾔﾕﾖｬｭｮ</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>WXYZ9wxyz</td><td>ﾗﾘﾙﾚﾛ</td></tr>
<tr><td>0</td><td></td><td>（スペース）0</td><td>ﾜｦﾝ（スペース）</td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td>*+=#%&<>[]{}|^`</td><td>ﾞﾟ</td></tr>
</table>

入力モードを変更する

＊キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1]：数字入力モード

[A]：アルファベット入力モード

[ｱ]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
 OK=▶                [ｱ]
```

1 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=_
 OK=ｾﾝﾀｸ             [ｱ]
```

2 1 キーを 4 回押します。
「ｴ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴ
 OK=▶                [ｱ]
```

3 ▶ を押します。
カーソルが右へ移動します。

```
ﾅﾏｴ=ｴ_
 OK=ｾﾝﾀｸ             [ｱ]
```

4 1 キーを 2 回押します。
「ｲ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲ
 OK=▶                [ｱ]
```

5 2 キーを 2 回押します。
「ｷ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷ
 OK=▶                [ｱ]
```

6 # キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞ
 OK=▶                [ｱ]
```

7 8 キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮ
 OK=▶                [ｱ]
```

8 1 キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ
 OK=▶                [ｱ]
```

9 0キーを4回押します。
スペースが入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ_
 OK=▶                [ア]
```

10 2キーを3回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク
 OK=▶                [ア]
```

11 #キーを1回押します。
「゛」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛
 OK=▶                [ア]
```

12 9キーを3回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ル
 OK=▶                [ア]
```

13 ＊を2回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ル_
 OK=センタク          [A]
```

14 1キーを8回押します。
「-」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ルー
 OK=▶                [A]
```

15 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ルー_
 OK=センタク          [ア]
```

16 6キーを3回押します。
「ﾌ」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ルーフ
 OK=▶                [ア]
```

17 #キーを2回押します。
「゜」が入力されます。

```
ナマエ=エイギ゛ョウ ク゛ルーフ゜
 OK=▶                [ア]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

- 入力した文字をすべて削除するには、キャンセル /C キーを長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、◀ または ▶ キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、キャンセル /C キーを押します。
- 1 つのキーに複数の文字が割り当てられている場合、画面の下段に "OK= ▶ " が表示されます。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、▶ キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）
- スペースを入力する場合は、0 キーを 3 回押してください。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで＃キーを押します。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

索引

Numerics

I

O

P

T

あ

い

え

お

め

よ

ら

り

れ